滿洲日報
二月十五日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

聯盟遂に和協を放棄　第四項の勸告に移る

殆んど修正を加へず　報告、勸告案採擇　總會は來る廿一日招集

【ジユネーヴ十四日發】勸告案を決定し第四項移行を決すべき十九國委員會は事務局内C室において本日午後三時三十八分開會された

【ジユネーヴ十四日發】十九國委員會は**報告と勸告案の採擇を終り來週火曜日**（二十一日）**總會を招集**することに決して午後六時三十分散會した

【ジユネーヴ十四日發】本日の十九國委員會は報告と勸告を可決してこれを總會に廻附するに決したが、勸告は起草委員會の原案に殆ど修正を加へず**單に一ケ所順序が變更されたのと勸告に基き今後最後に爲さるべき仕事は日本軍を滿鐵附屬地帶へ撤退せしむる事と、第二段に滿洲新政體の組織を企つべき事を特に强調**されたのである

【ジユネーヴ十四日發】本日の委員會は先づドラモンド總長の九日附書翰に對する松岡代表の十四日附回答を審議し、日本代表部に對し第二次の書翰を通達するに決し、直にその案文を起草し日本代表部に送達の手續を執つた、これより先熱河の情勢が問題となり、議題に上り討議の結果、右第二次書翰中に

今後更に情勢を惡化せしむる如きことがあるにおいては和協達成の新努力は更に困難となるべし

この旨を包含せしむるに決した、次いで委員會は九國起草委員會の報告書第四部勸告案の審議に入り極めて些少の修正をなし、更に交渉委員會の構成を左の如く決定した

十九國委員會代表にして交渉委員會參加を希望するもの、但し交渉は多分極東において行はるべきを以て參加國は豫かじめ會議地が極東なるを覺悟することを要す（以下略）

【ジユネーヴ十四日發】十九國委員會は日本の回答を審議した結果、斯かる回答を基礎としては日本妥協案の審議を續行することは不可能なりとし、ドラモンド事務總長をしてその旨書翰の形式を以て午後五時之を松岡代表に通告せしめた、右は總會が第四項手續を完了するまでは第三項による新妥協案が提示されれば之を審議する旨を附しあるも之は單なる儀禮に過ぎず、**事實上妥協は聯盟により拋棄された**譯である

特別總會は廿一日

【ジユネーヴ十四日發】特別總會は二十一日招集、二日休み更に二十四、五兩日續開し終了する豫定である

日本案は審議し難し　事務總長、松岡代表に通告

【ジユネーヴ十四日發】十九國委員會は今日散會後、左の如き主旨の書翰をドラモンド總長をして松岡代表宛傳達せしめた

御回答の如くにては十九國委員會は**日本妥協案につきこれ以上審議し難し**、但し總會が第四項の手續を完了するまでは和協の扉は閉され居らず、日本からの新妥協案を授受する用意あるべし

【ジユネーヴ十四日發】我妥協案商議拒絶の書翰に接した代表部は松岡、長岡、佐藤の三代表集まり、右につき協議したが、**代表部としては別に新妥協案を提出する意見なく單に之を政府に報告するに止める**ことゝなつた、從つて若し東京政府から特に訓令なき限り和協は聯盟の拋棄により茲に全く絶望となつた

委員會コムミユニケ

【ジユネーヴ十四日發】十九國委員會コムミユニケ左の如し

十九國委員會は本日午後會合し先づ二月九日附十九國委員會の書翰に對する日本代表松岡氏の回答を考慮し事務總長が委員會に代り爲すべき回答につき意見の一致を見た、次いで委員會は昨日提議されたる修正草案を檢討し之を採擇した後、和協失敗の場合、第十五條四項に基き總會に勸告すべき報告書の最初の三部を可決した、委員會は次いで勸告案を包含する報告書第四部の第一讀會に入り、一部起草上の變更を加へた後、委員會はこれ亦可決した、委員會は次の火曜日（二十一日）總會を招集するに決した、報告書の全正文は多分今週末印刷を了すると共に聯盟國全部に頒布し同時に無線電信により聯盟無電局より一切の官設無電局に放送せらるゝであらう

松岡代表絶縁的宣言

【東京十五日發至急報】松岡代表は二十五日の總會にて絶縁的宣言をなすと共に直にジユネーヴ出發アメリカ經由歸國の途につくことを請訓し外務省はこれを許可した

【ジユネーヴ十四日發】事務局筋の豫想によれば二十一日の總會は多分議長の經過報告と報告案の吟味位で終る模樣で、此日松岡代表が發言するとせば、第三項の和協交渉が聯盟の義務と信ぜられることを强調し、第四項移行反對を述べる程度と見られる、從つて各國代表の肺腑を抉る歴史的の松岡代表の演説は二十四日に行はるべく二十五日には報告書全部を採擇され本國政府の訓令により松岡代表は聯盟開設十三年間の最後的方法に出ると豫想さる

東洋問題論議の資格無き聯盟　勸告の一方的處置に出た所以　駐滿日本大使館聲明

【新京特電】混沌として歸着する處を知らぬ聯盟の亂脈的情勢を控へ、問題の中心にある新京日本大使館では十四日談話の形式を以て左の如き聲明を發した

一、責任は聯盟にあり

滿洲問題勃發以來我政府は聯盟をして日本の正當なる立場と主張とを認識せしめるため協調的態度を以て今日まで努力を盡して來た、その間聯盟總會、理事會等において、また諸國代表との私的會談において滿洲問題の説明を爲し來り、殊に歴史的及び經濟的の特殊關係を有する滿洲に於て、滿洲舊軍閥により如何に日本の有する條約上その他正當なる權益が蹂躙され來つたかを述べ、今日の事態を惹き起すに至つたのは必然の結果で、机上の議論を以てこれを左右し得ざること、及び滿洲の現狀維持が極東の平和を確保し日支間の紛爭を解決する唯一の方法であると數百萬言を費して教へ來つたのである、然るに聯盟は規約第十五條第四項に依り日本の主張と根本的に相容れざる勸告案を作成するに至つたのは頗る遺憾であり事態を今日に至らしめたのは、全く聯盟の責任である

二、歐洲聯盟の爲の聯盟

滿洲に關し何等の知識も利害關係も有しない歐洲諸强國としては、滿洲問題より聯盟の面子を維持し自國の維持と防衛が急務と思考し、また大國としては日本の主張も、また實際上滿洲の現狀をその儘承認せざるを得ざるものと内心考へながら而も聯盟を外交の中樞とする歐洲の特殊事情にひきずられ、小國を押さへ切れず、今回の如き擧に出でたものであらう、從つて聯盟今回の擧は全く眞の極東平和を維持するといふ誠意に基くのではないのである、從つて自らの擁護のための聯盟の行動と極東平和確立のための日本の行動とは根本的に相違してゐるのである、この點からしても聯盟は極東問題を論議する資格はない

三、何故聯盟は今回の一方的措置に出たか

今回聯盟がその本來の使命たる和協を放棄せんとし、勸告書を作成するの一方的措置に出るに至つたのは、滿洲問題に關し如何とも出來ぬと自認するに至つたことはないかと思考される、勸告書が結局かうした事になつたので勸告書の内容として傳へらるゝものは日本の主張とは根本的に相容れざるもので、日本としては受諾し得るものではない、聯盟脱退は必至の勢ひであり、聯盟も亦日本側の拒否に遭ひ極東問題から手をひく結果とならう、聯盟としても極東問題から手をひくと決めた以上、言ひたい事をいつて了へば可いのではないか、聯盟の勸告書作成は東洋と歐洲の分野を明確にするもので、結果から見れば東洋民族のため寧ろ望ましい事である

四、滿洲問題は滿洲人が既に解決したり

滿洲問題は滿洲人自身が解決する問題であり滿洲國が健全なる發達を遂げ一般住民が平和繁榮を確立し、樂土を建設すれば、それで一切は解消されて了ふのである、從つてこの問題に關する限り聯盟は極東に一任すべきで、滿洲國建國と共に滿洲問題は過去のものとなつたのである

五、聯盟のみが世界の輿論にあらず

聯盟のみが世界の輿論を代表し或は輿論の審判官であると考へるならば、これは大きな誤りである、聯盟はその本質上絶對公平の機關であるべきであるが、事實は前述の如くそうではないのである、歐米有力新聞が滿洲問題に關しては、日本並に滿洲國の立場を擁護し、聯盟の態度を非難してゐるのから見ても、聯盟は必ずしも世界の輿論を代表するものではなく、滿洲の現狀を見た歐米の旅行者は何れも日本の主張の正當な事が滿洲を訪れて初めて判つたといつてゐる有樣である

國際聯盟を脱退したら……その影響如何（中）

日本が假令聯盟から脱退しても列國が今直に共同して對日經濟封鎖に出でないであらうことは明らかである、こゝに一例として、米國が對日經濟封鎖をこらんとする場合を見やう、わが對米貿易は、米國に對しては生絲の輸出、米國からは棉花の輸入を以てその主要部分とする、米國がこの際假令日本生絲の輸入を停止するとは或は可能であらうが、然し米國が日本に對する棉花の輸出を禁止することは、同國内農民の窮乏對策に困窮しきつて居る今日更に農民の窮乏を增大せしめることゝなる、これは米國當局者の最も惧れる處であり、明らかになし能はざる所である。かゝる事例は印度の棉花、濠洲の羊毛に於ても同樣である、支那があれほど滿洲事變、上海事件で日貨排斥に力瘤を入れても尙且つ昨年における我が對支輸出は前年度に比し增加さへ示した現狀は、列國の經濟封鎖の如き戰爭でも勃發しなければいふべくして出來ない相談である、然しこの場合列國が共同して對日戰爭の擧に出づるが如きは既述の如くもとより困難である以上、所謂經濟封鎖の如きは餘り憂慮する必要はない。

或は重工業の原料に乏しきわが國が支那、南洋の鐵鑛石輸入の杜絶する場合においては、この時こそ滿洲國の地下に埋藏せる鑛石を開發する時である、然し列國の經濟封鎖がいふべくして行はれ難きものとしても、日本が國際的協調外に置かれる場合には日本の對外貿易は可成大なる打擊を蒙るであらう、卽ち支那は愈々決死的に排日の擧に出づることは明かであるし、米國の日貨輸入稅率引上、印度の綿絲布稅引上は益々露骨となるであらうからである。

更に最近わが製品の進出目覺しいバルカン諸國においても、國際聯盟の對日硬化において出しや張り小國がこれら地方にあつたゞけ、折角獲得した中歐市場を失ふ虞れが多分にある、尤もかゝる場合に於てはわが邦品の輸出が減退するに應じて輸入も必然的に減退せざるを得ず、從つて我が國際貿易の見地からは左程憂慮すべき程でもないとも考へられる。

三千萬民衆に告ぐ　大日本帝國は正義によつて滿洲國の國基を擁護すべし　武藤軍司令官聲明

【新京特電】最近聯盟における雲行きに對し武藤軍司令官は十五日「三千萬民衆に告ぐ」と題して左の如き聲明書を發した

滿洲建國を告げてまさに二年、舊來の秕政概ね革まり復興の施設日に成り都鄙これを謳歌せざるなく、しかして日滿の國交は益々敦厚を加へ、列國また漸く王道建國の眞義を諒解せんとするの情勢に在り、しかるに彼の聯盟は徒らに視察團報告に拘泥し、紊りに滿洲建國の實現を無視し、再び滿洲三千萬の無辜を驅りて死地に臨ましめんとす、わが大日本帝國は素より事を好むものにあらずと雖も、義としてこれを看過すべからず、情として之を坐視すべからず、且つわが破邪顯正の國是は千歳不動、東洋平和の念願は確乎不拔なり、勇往邁進、萬難を排除して滿洲の國基と有衆を庇護せんとす、滿洲三千萬民衆夫れ業に安んぜよ（寫眞は武藤軍司令官）

勸告案の不法に憤慨　軍部の態度强硬

【東京十五日發】軍部では勸告案が豫想外に不法なので憤慨し第四項移行後は即時脱退を決行すべしと强硬態度で殊に

一、勸告案が滿洲國の獨立の事實を否定し、各國不承認原則を説き

一、リツトン報告第九章の十原則を現實を無視し鵜呑みとし居り

一、日本軍の滿鐵附屬地内への撤退を要求

等我が國として容認し得ざる事項を列擧し東洋の事情を認識しやうとせず、却て惡化させんとしてゐると憤慨し、斯くては聯盟脱退の外無く、それに從つてこれ以上の危機を招く憚れは全然ないとしてゐる

重臣會議召集　勸告の對策決定のため

【東京十四日發】政府は聯盟の勸告を受けた場合は直に我態度を決定のため、緊急臨時閣議を開いて廟議を決すると共に、齋藤首相は西園寺公を訪問報告し、諒解を求める筈で、次いで思召により重臣會議を開く事に決した

【東京十五日發】近く聯盟より提示し來るべき第十五條四項による勸告案に關聯し我國外交の重大方針を決定すべき歴史的重大時機に當面せる政府はその取扱ひ方につき萬遺漏なきを期し種々研究の結果、勸告案を入手するや直に緊急閣議を開き政府の態度方針を決定の上、齋藤首相自ら西園寺公を訪問し諒解を求めると共に、愈々重臣會議開催を奏請し政府の方針を説明し諒解を求むるに決定したことは既報の如くであるが、今回の重臣會議では時節柄宮中、府中の別を特に明らかにするを要するとなし、重臣會議に參列すべき範圍を閑院元帥宮殿下、伏見元帥宮殿下、東鄕元帥、上原元帥、山本權兵衛伯、淸浦奎吾伯、若槻禮次郎男、高橋是淸氏、倉富樞府議長に限り從來の重臣會議と異なり宮中關係の重臣たる牧野内府、一木宮相、鈴木侍從長は御召の範圍より除外するに内定した

公署の人員については舊軍閥時代の遺風として殆ど縣長以下頭ぶればかりあるもその實際の人間は居らぬといふ月給泥棒のカラクリをしてゐる縣が殆ど全部といふ現象に民政廳としてはこれらの點を今後嚴重改革すること

長春縣居住の歐米人數

【新京電話】長春縣居住の歐米人數は最近頗に增加し、その他旅行者敵用者の來留する者は頗る多數に上つてゐるが、領事館の調査による居住歐米人の國別戸數人口左の通りである

英九戸二十一名、米三戸四名、佛二戸五名、露三百八十五戸、一千四百八十六名（寬城子居住者を含む）瑞典二戸五名、丁抹二戸五名、和蘭陀二戸三名、墺匈國一戸一名、波蘭一戸一名、合計三百九十五戸一千五百五名

因に新京在住露人を赤系、白系に分類すれば

赤系二百五十九戸九百八十六名
白系百三十一戸五百十八名

領事會議出席者

【新京電話】二十日より新京において開催の領事會議に出席の爲め矢野參事官及び齋藤、品川、伊藤の三事務官は本省より來京する旨大使館に入電あつた

本社營業局長更迭

佐賀秀雄氏辭任に伴ふ本社營業局長の後任は本村武盛氏に決定、十三日就任した、尙販賣部長は本村氏の兼任である

佐賀氏あす離連

去る十三日自己の都合により本社營業局長を辭任退社した佐賀秀雄氏は家族と共に十六日出帆のはるびん丸にて一旦郷里宮崎縣延岡市に引揚げ更に上京の豫定である

ほんこん丸

十六日午前八時二十分大連港外着豫定

人事

▲鈴木三郎氏（滿鐵社員）十五日午前八時着列車で來連ヤマトホテル投宿
▲友川一太氏（弘榮洋行主）同東ホテル投宿
▲十河信二氏（滿鐵理事）同午前九時發列車で離連
▲猪子一到氏（滿鐵運輸課長）同上
▲木村嘉孝氏（滿洲正義團總務）同上
▲西内貞吉氏（關東廳警務部）同上
▲永井四郎氏（大連民政署）十五日旅順へ往復
▲金井淸治氏（前大連民政署地方課長）十七日午後零時半發列車で赴任

警察官優遇　内務省で具體案研究

【東京十五日發】あらゆる意味の非常時に直面する重大時機に當り國家の治安維持に當る警官は事件毎に多くの犧牲者を出しつゝあるが、國家として之に報ゆる途は僅かに功勞徽章附與及び加俸其他一時的賞與等に過ぎぬので、内務省では此等重責に任ずる警察官及び消防官吏に對し特に優遇案を講ずる必要を認め目下警保局で具體案を研究中であるが、大體終身年金制と遺族保護制を確立せんとするもの如く其實現は大いに期待されて居る

鹽務制度を改善　滿洲國の鹽務會議

【新京電話】鹽務制度の統一鹽務機關の改善を目的とする第一回全滿鹽務會議は二十二日より三日間財政部において營口鹽務正副署長總務科長、吉黑權運正副處長その他財政部關係者出席開催することゝなつたが、同會議に於ては鹽稅增收を目標に鹽務制度の改善、密輸入の取締り並びに鹽業の根本的整備をなし保護獎勵方針を確立し問題視されてゐる工業原料鹽輸出策等につき實際的に意見を徵し鹽務行政の基礎を確立せんとするもので會議諮問事項としては

一、徵稅行政費節約による稅收增加の緊急具體的方案
二、私鹽侵入の徑路及び私鹽發生の原因を詳述し私鹽取締上有効適切なる方案
三、鹽業の整備發達に資すべき保護獎勵の具體的方案
四、官銷制度改善に關する具體的方案、特に購鹽運鹽及び銷鹽方法の改善並びに鹽價及び衡量の統一に關する具體的方案
五、現行の購鹽方法に改正を加ふる等直接にこれを保護しとはその福利を增進すべき具體的方案
六、滿洲國鹽の自給並びに生産力の現狀及び將來における增産見込み、消費力等に關する意見、國外よりの工業原料鹽の需要旺盛なる今日輸出許可を與ふべきや否や輸出許可の場合における國内鹽業及び消費方面の影響並に手續乃至條件
八、奉天省と吉黑兩省との相異れる現行鹽政統一に關する意見
九、鹽務機關の改善については組織制度の刷新、鹽務官吏の指導行政に俟たざるべからざるその具體的方案

縣治令を近く改正

【奉天電話】昨年發令された縣治令は施行上多少改正する必要があるので一時留保され近く正式の發令ある筈である、縣公署の豫算は今後中央政府の國庫より支辨し地方自治に關する經費は地方費をもつて充當する方針である、なほ省

コロムビア、ペルー　兩國愈々開戰　レチシア河口問題で

【ボゴタ（コロムビア）十四日發】レチシア河口領有問題に端を發しコロムビア、ペルーの國交は遂に破裂しレチシアにおいて交戰中

【ワシントン十四日發】コロムビア艦隊司令官コボ提督は十四日米國務省宛に左の如く報告した

コロムビア艦隊上空において飛行機の襲擊あり、ペルー飛行機はブラヂル領水にあるコロムビア艦に爆彈を投下した

蛇角

◇聯盟の所謂國際正義の假面、和協の拋棄で見事に剝げる。
◇今更「和協の扉は閉ざされ居らず」もないものだ。
◇無謀なる和協の破棄、不法なる勸告の實行、續いて日本代表部の引揚げ、且つ脱退
◇斯くて滿洲問題を中心とする國際政局は、いよ〳〵急スピードを以て廻轉を始める。
◇我國民よ、擧國一致の偉力を示すは愈々この秋だ。
◇衆議院眼を白黒しつゝ、非常時豫算を鵜呑み。
◇但し、消化不良の症狀を現すのは、無論衆議院ではない。

『滿蒙の戰慄』休載

満洲國の善政を雄辯に物語る
激増する白系露人の歸化出願者

【新京電話】昨年六月満洲國政府が歸化法令を發布して以來全滿殊に北滿に在る白系露人の歸化出願者は非常なもので本年一月まで歸化を許したもの二千五百二十五人の多きに達してゐる、なほ滿洲國の善政ぶりが漸次知られて來たので昨今にいたつて歸化希望者が増加の傾向にある、這は新國家の健全なる發達を雄辯に物語るものである

農民救濟に千五百萬圓融資
滿洲國財政部で調査

【新京電話】黒龍江省農民救濟並に農耕資金融通問題は滿京陳惜してゐる韓省長の盡力により財政部との間に八百萬圓を中央銀行を通じて貸出さしむることに諒解成立具體方法を協議することゝなつたなほ財政部では更に吉林、奉天兩省振興基金貸付についても調査を進めてゐるが兩省には計七百萬圓程度を貸出すことになる模様で黒龍江省の分を合すれば合計千五百萬圓の巨額に上る見込である

十五日財政部と中央銀行との協議會を開催し最後的決定をなし貸付

國都計畫進み土地拂下げ
三月早々から開始

【新京電話】國都建設計畫も完成し愈々解氷を待つて大々的建築土木事業に着手すべく種々準備を進めてゐる、國都建設局では可及的速かに土地の買收を完了し土地拂下げ並びに貸付準備を整へるため財政部宛一月より六月に至る着工準備金五百萬圓の借入れ方を交渉中であるが遲くも本月中には土地買收を終り三月初め頃より拂下げ貸下げを開始するものと見られてゐる

自動車賣買紛糾
窃盗罪で葛和氏を告訴

市内常盤橋滿洲モータース取締役葛和善雄氏は市内彌生町十番地富田庄七郎氏から窃盗罪の告訴を大連署に提出され目下司法係吉富警部補の取調を受けてゐる

訴狀によると告訴人富田氏は昨年十月廿日山縣通宮井誠一郎といふものから新フォード三十二年型トラック一臺のボデー製作を五百五十圓で引受け東公園町二七番地ミカド・ボデー製作所黒川精二氏の工場で製作した、ところが黒川氏は奥地へ出張したので工場の留守を告訴人富田氏が引受けてゐると十四日午前十時ごろ被告訴人葛和氏とボデー注文者の宮井氏とが内海辯護士を同伴し不法にも前記自動車を奪つて立ち去つたといふのである

不都合な難題
葛和氏語る

右につき葛和善雄氏は語る
問題の自動車は私の商品で一月中旬宮井氏との間に賣買契約が出來て、宮井氏に渡したものですが、宮井氏は某方面の注文を受け、一日も早く製作して先方に渡さねばならぬことゝなつてゐたので、十四日黒川工場にゆき宮井氏は富田氏に對し、ボデー製作代金五百五十圓は黒川氏に二百圓の債權を持つてゐるから、それを差引きボデー代三百五十圓を支拂つて自動車を持つて行きたいと交渉したが、富田氏側ではボデー代全額を支拂へといつて肯かず、當方では某方面へ寸刻も早く納める都合から士に託して自動車を持ち歸り某ボデー代三百五十圓を内海辯護方面へ納めた次第で、告訴人は債務二百圓を猫ばゝせんが爲めに斯る難題を持ちかけることは時節柄團賊的行爲であり、次第によつて私の方から名譽毀損の告訴を出す考へです

奉天神社の改稱陳情
關東長官訪問

【奉天電話】奉天神社を滿洲神社に改稱するため武藤關東長官を訪問した粟野地方事務所長一行代表は十四日夜行で歸奉したが、長官は小磯參謀長とも會見しよく考慮する旨の回答を得たところ、なほ市民大會を開催してまで初志の貫徹に努力することとなり、關東長官及び軍司令部には願書を提出することゝなつた

奉天都市計畫技術會議開催

【奉天電話】奉天市政公署では第四回大奉天都市計畫技術會議を十六日開き金井總務處長も列席の上解氷期からの都市計畫案を決定、解氷期から事業に着手するが運河新開河等の開鑿及び上下水道瓦斯の敷設を主なるものとし大計畫のラインを決定するものとみられてゐる

恩賜の眞綿

【新京電話】陸軍副官藤富大尉は恩賜の眞綿を捧持して新京に到着

旅順市長認可さる
辯護士兼業は條件附
助役は石田氏起用說

問題の後任市長は十五日朝武藤關東長官の決裁により第一候補米岡規雄氏に認可があつた、尚辯護士兼業の件は事務助手を置き市長の公務に差支へなき條件において承認さるもの、如くである

又市規則中の「報酬ある業務……」の一句に對する解釋は一定の收入ある業務と解し定額收入なき官選辯護士は該規則に抵觸せざるものとの解釋である
なほ助役には石田愛文氏起用の說が有力である

反對意見陳情

十五日午前十時竹中、岡野兩市會議員及福永、澤岡氏の四名は關東廳に出頭し日下内務局長不在のため安永地方課長に面會し米岡市長反對の意見を述べた

滿鐵の案内事務打合會議始まる
午前中廿議題を協議

第八回滿鐵案内事務打合會議第一日は十五日午前九時三十分から社員倶樂部で開かれたが鮮鐵、大阪商船、ビューロー、山口滿鐵營業課長二十九名參集、滿鐵の各代表を議長として議事を進め午前中に二十議題を議了、午後零時半一先づ休憩した、午前中の主なる議題の結果左の如し（寫眞は會議場）

一、各運輸機關合同にて宣傳隊を組織し全滿に勸誘したし
主旨は贊成するが具體的方法は經費の關係もあり別途に研究すると思ふ

一、日鮮滿周遊券附屬割引區間に朝鮮線内支線追加したし（可決）
一、學校教職員團體中に教職員に非ざる教育關係者が一行を引率同行する場合教職員と同一の割引適用方特認されたし（否決）
一、學生團體に父兄の同件を認められたし（主客顚倒の恐れあるため否決）
一、鐵道省對滿洲國鐵道各線間連絡運輸に關する件（打合せたし）
一、日鮮滿周遊券所持客滿洲國鐵道利用の場合便宜供與されたし
一、滿洲國主要驛を連絡驛に追加せられたし
以上は滿洲國鐵道が統一されゝば可能のこと故近く實施は可能と思ふ（可決）
一、滿鐵連京急行列車に乘車を希望する團體ある場合承認を得たる後に非ざれば旅行日程決定し得ざるは不便につき改正方要望（現狀通り、急行增結不可能）

十五日武藤軍司令官にこれを傳達した

建國記念懸賞作品審査

【新京電話】建國一周年記念中央委員會において豫て募集中の各種作品は去る十日其の受付を完了した宣傳ポスター三十六種傳單標語七百二十三種作文二十三點詩二十七點俗謡廿七點記念事業に對する意見書十五通の多數應募があり十三日午前十時より審査委員の手でこれが審査に着手したが應募作品多數のためこれを各項毎に分擔審査を行ふこととなり十二時半散會した

柳澤伯奇禍
自動車が衝突

【東京十五日發】貴族院議員伯爵柳澤保惠氏は十四日午後三時貴族院から日本橋方面に所用のため自家用自動車に乘り神田豐島町に差懸つた際前方より疾走し來つた鐵材滿載のトラックと側面衝突をなし伯の自動車は急停車したゝめ書見中の伯は觸みを喰つて胸部を強打し疼痛を訴へるため直に芝愛宕町東京病院に入院しレントゲン診察をなしたところ右肋骨二本骨折したが右の結果は來る二十六日發表の筈である

運動本部を設けて
ダンス排撃に猛進
法政學院で方法協議

「醒めよ國民！今は非常時！」のスローガンを掲げて押しよせたダンス狂時代に猛然反對の狼火を上げた大連教化團體聯盟の第一聲に刺戟された滿洲法政學院の學生および同窓會では着々具體的運動に着手しつゝあつたがいよ〳〵十四日午後五時同校門に「ダンス排撃運動本部」の看板を揭げ敢然反對運動の急先鋒として直接運動を起し切迫した「非常時」に拍車をかけることになつた、その第一着手として十四日午後八時より同校講堂に講師、教員並に生徒、同窓生等約五十名集合して運動に對する具體的協議を行つた結果、運動の範圍を擴張し左の如きスローガンを以て全學生一致排撃に猛進することを決議すると同時に實行委員に同校法經科井上、岡田、黒澤他九氏、學生側代表に井上氏を增員し同校講師曾田正彦氏が總指揮官として全運動を統一する事になつた

一、支持せよ、青年學徒の滿洲淨化運動
二、彈壓せよ、有閑階級の亡國的頽廢
なほ實行運動の具體的方法として
一、ポスター、長旗作製
二、運動自衞團組織
三、ダンス排撃演說會開催（二十三日頃）
因に前記實行委員は十五日數班に分れて市内各教化團體、婦人職合會その他各團體を歷訪して運動の

失業船員對策協議會を開く

「日支船員交替要求」のスローガンのもとに海員組合大連支部主催となつて十五日午後六時より海務協會海員集合所において失業船員對策協議會を開き失業船員救濟に關し種々協議をするが、その席で日支船員交替要求の決議を作成、大汽増田社長、阿波共同その他二三の船會社に對し決議文をつきつける筈であると

カフエーを國際的に荒らす
女給部屋專門の怪盜

綏緑連鎖街の女給部屋荒し大阪感化院脫出のヨタ者佐山政次郎（二）に就て小崗子署刑事係ではなほ餘罪が多分にある見込みで十四日も嚴重なる取調べを行つたところ遂に包み切れず次の如く北滿から上海までを荒し廻つてゐた稀代の怪賊であることを自白した
卽ち佐山は感化院出所後四月渡滿、一途新京に向ひ新京富士町漢陽旅館に根城を構へ日本橋カフエー、三笠カフエー等から正隆銀行、蘭藤品、ヤマトホテル等までを荒し贓品を持つてハルビンに飛んで金に替へて豪遊し更にハルビンでカフエー、キャバレー等で一稼ぎし再び高飛して上海に現れ、ハルビンの贓品を上海でさばき又々上海で荒稼ぎをなし大連に舞ひ戻つて連鎖街を荒ひ廻つてゐたるところを御用になつたものである

危い！七號系電車
朝夕のラッシュ・アワーに
超滿員の運行警告

朝夕のラッシュアワーに老虎灘方面のサラリーマンや學生が七號電車に殺到、常盤橋停留場は芋の子を洗ふが如く揉み合つて先を爭つて電車に飛び乘る、これがため七號系統の電車は鈴なりに客を滿載して運行しつゝあり危險このうへなしといふ注意申報が市内西公園町派出所から大連署保安係に提出された、よつて同署では十五日午前十一時滿電々鐵課運輸係長永井龍造氏を呼出し斯る超滿員の電車運行は聽て交通事故發生の原因をなすものであるから運轉系統を改めるなり、配車增加を行つて乘客の緩和を計るやう警告を發するところあつたが右につき永井係長は語る

朝夕のラッシュアワーといつても僅か三十分位の混雑で後は平常と殆ど變らぬ狀態に立ち歸りこの僅かの時間に隨分配車も增加してゐるのですが、運び切れないのを遺憾に思つてゐます、お客樣も一電車でも早く歸らうと急がれ車掌の注意を聽かれず運轉臺に鈴なりに詰込まれる譯です、殊に滿電としては目下のところ車掌、運轉手共に數なく數日中には約四十名增員の豫定ですからその曉には充分配車の都合もつき乘客の調節がつくことゝ思つてゐます

同大ハ教授が軍隊へ慰問金

【新京電話】京都同志社大學教授ハーレット氏は奉天滿洲醫科大學教授前藤正男氏を通じて在滿將兵に金十圓を寄附したが同氏は匿名を希望しなるも軍司令部にては何等かの方法でこれに酬いたいと考究中である

鄭垂氏逝く

【新京電話】滿洲航空株式會社々長滿洲國務總理鄭孝胥氏長男鄭垂氏は十四日滿鐵醫院に入院したが同夜十一時永眠した、死因は急性猩紅熱といふが氏は滿洲建國に鄭孝胥氏の秘書として非常時に際し不拔の努力を拂つた功勞者である

（寫眞は鄭垂氏）

登久丸の審判

下關海峽において朝鮮郵船立神丸と衝突した州灘汽船東海汽船所有登久丸（船長吉岡幸衛氏）の海事審判は十五日午前十時より海員審判室において岡本委員長、關根、江原兩委員、木村理事官與のもとに開かれた、特に今回の審判には我國海事審判界の權威者として知られてゐる吉田研太郎氏の辯論ある筈で立神丸船長もわざ〳〵來聽するところあつた

次の夕刊大衆小說

東天紅
田中純　作
林一三　繪

目下連載中の直木三十五氏作の『滿蒙の戰慄』は、大好評のうちに近く完結するので、次は田中純氏作の『東天紅』を掲載いたします、插畫は林一三氏に委囑し、本紙夕刊紙上に生彩を添へることにしました、その作、その繪は必ずや讀者の期待に背かぬものと信じます

作者の言葉

今度、滿洲日報のために小說を書き始めるに當つて、僕の特に深く愉快に感ずる點が三つあります。
第一は、前作者直木三十五君が、僕の二十年來の親友であり、その傑作「滿蒙の戰慄」の後を承けて、僕が登壇し得るといふことです。同じく貸家に引越すにしても、前住者の素性が知れてれば、何となく安心して引越せるといふもの。僕は、前作者の備へて置いて呉れた舞臺の上で、思ひ切り大膽に躍れるわけです。
第二は、この新聞の配布地滿洲には、僕の少青年時代の友人が多數居住して、現にその新國家のために活躍して居ることです。僕は、毎朝、これらの舊友に呼びかけることによつて、元氣を新にすることが出來ますし、それらの舊友はまた、僕の名を思ひ出すことによつて、幾らかの慰めを得て呉れるでせう。勿論、僕は、それら友人のためにこの小說を書くわけではありませんが、しかし、最初から、讀者との間に深い親和を感じて着筆し得ると云ふ幸福な機會は、僕の一生の中にもさう度々は來ないことでせう。
第三は、この小說が、これ迄夢想さへしなかつた多數の新しい讀者、殊に、新獨立國滿洲の國民諸君によつて讀まれることを期待し得ることです。欐に依つて結ぶものは、また欐によつて別れるかも知れませんが、文に依る交りは永遠に亘ります。それは、魂と魂とを結びつけるからです。僕は、この作品が滿、日兩姉妹國大衆の結合のために、何ほどかの貢獻をなし得ることを祈りながら、この稿を起すことに無上の喜びを感じてゐます。

【寫眞は田中純氏】

二強盜七年求刑

去る一月四日市内西公園町質屋鼎戸安次郎方へ、越えて七日市内若狹町生花師匠鱸木キサエ方を襲うた二七拳銃強盜出口大男（も）の公判は十五日午前十時大連地方法院の高井檢察官は被告に對し懲役七年を求刑した、判決言渡は來る廿一日

林總裁巡視

林滿鐵總裁は十六日午前十時半滿鐵本社出發山崎理事と帶同し沙河口工場及び工宿舍の視察に赴くが、更に十八日午後はインスペクターカーによつて江崎大連鐵道事務所長同道の下に旅順線の初巡視をなす筈

天然痘を警戒

既報天津より入港の同利號に天然痘患者の發生を見たので豫防の意味で直接關係その他で危險にさらされてゐる水上署員及び關係者に對し十五日衞生試驗所より種苗を取りよせて豫防注射を行つた

戰傷病兵凱旋
二十日朝着連

來る二十日午前七時着列車で約五十名の皇軍の戰傷病兵士が來連凱旋の途に向ふ筈である

醫學集談例會

大連聖愛醫院醫學集談會二月例會は來る十八日午後四時より同院講堂に於て左の如く開催の筈
一、「ヘパトメガリア・グリゴネーチカ」に就て　川島勝治
一、血清學上より見たる日本民族の由來　顯原基
一、圓偏腸落による藥價昂騰に就て　野口捨三
一、血型と黴毒感受性に就て　濱崎善男
一、副腎腫瘍に就て（標本供覽）　城野寛
一、中隔膿の二例　大槻満次郎　顯原基

大連神社新年祭

來る二月十七日の大連神社新年祭には例年の通り大連民政署長警察供進使として參向大連市長初め滿鐵總裁其他氏子役員參列の上午前十時より大祭を執行するが本年の五穀豐穰を祈る祭典で農園經營者の參列者も多く莊嚴なる大祭である

靴工場發火

市内吉野町百番地大塚靴店工場より十五日午前六時十分頃發火し同工場天井約一坪を燒失して同七時十分鎭火した原因は煙突の不完全からで損害五圓

救世軍講演會

日本救世軍傳道部長瀨川中佐は十四日ハルピン丸で着連、十五日（水）は午後七時半西廣場救世軍々營で、又十七日（金）は午後七時半沙河口救世軍々營で救靈講演會を催す筈

栃内氏送別會

前農事會社專務栃内壬五郎氏は來る二十六日當地を引き揚げ東京に轉住するので二十二日正午ヤマトホテルに於て送別會を開催する事となつたので當日參加のこと、出席希望者は民政署庶務課（八一九一四）あて二十日までに申込の事

國難日本刀（244）

高桑義生作　京極佳夕畫

危機日東國（九）

弓之助は依然サンダースンの邸内に潜伏してゐた。楊の援助を受けて、秘密をさぐつてゐた。夜になると、二人はこの物置小屋に會見して、弓之助は楊から、日々の出來事を、事件の推移變化を聞くのだつた。それから闇の活躍がはじまる。

どうして支那人楊旻生が、サンダースンの忠實な下僕である楊が弓之助の味方となつたのか？それは、以下の二人の會話に語られるであらう。

「いよ／＼やる時が來た」

と弓之助はいつた。

「何を、あなた、何をやりますか？」

さすがに、楊の聲はうろたへ氣味である。

「最後の手段……彼に會ふのです　手詰の談判です」

「正體をあらはすのですね」

「今日まで、彼に近寄る機會もなかつたが、十分な證據をつかむまではと、じッと時期を待つてゐたが、もうこの上ぐづ／＼しては居られぬのです」

「何をやりますか？殺すのですか？」

楊の聲は、ふるへた。

「殺しはしない。なるほど彼を葬へば、さしあたつて彼等の計畫を阻止することは出來るが――。秘密に葬ふ、しかし、その行爲が日本人といふ事は、たちまちあらはれる。困難な問題が起る」

「では……」

「正面から彼を說くのです。それに就ては……」

「肯くと思ふか？あなた……」

「斷じて從はしめる」

「？……」

「あなたも決意をして下さい。今夜のうちに、こゝを脫出して、安全な場所にのがれて下さい。あなたはよくわたしを助けてくれた。わたしは心から感謝してゐる。他日かならずこのお禮が出來ることを、わたしは心から祈つてゐる。わたしは今夜、あなたのかはりにサンダースンの室に入る。あなたの假面をかぶつてゐた、にせものゝ正體をあらはして、一日本人として、彼にぶつかる。負けない。かならず彼を征服します」

弓之助の調子は、異常な熱をおびて相手の肺腑にせまつて行く。

楊は、だまつて考へてゐた。

「忘れはしないでせう。あなたやわたし――人種としてはおなじ黄色人種、東洋の民族、東洋の平和を確立するものは、あなたの國とわたしの國、兩國の親善提携のほかはない事を――。アメリカや西洋諸國や、彼等の魔の手は、あなたの國を犯し、わたしの國に伸びてゐる。彼等の野心は、亞細亞から驅逐しなくてはならない。われ／＼は結束して、彼等にあたらなければならない。あなたは、わたしの言葉を忘れはしないはずだ」

「忘れません。あなたの力……わたしはあなたを信じます。十年の迷夢からさめたのは、あなたのおかげです。彼の恩誼を蒙つて、あなたのために、いくらかでも役に立たうといふわたし、けつして疑ふことはありません」

「ウム」

「けれども……彼は容易ならない人間です。恐ろしい敵です。彼には、いつも、何處にでも落し穽がある。あなたにどれほどの力があつても、不意の、思ひ設けぬ危難を、かならず防ぐことは出來ない。今しばらく時期を待つのが得策ではありませんか？」

「いや、生死は、問ふところではない。危機は迫つてゐる。是が非でも、私は彼に會はねばならぬ」

彼――といふのは、いふまでもなく巨頭サンダースンを指すのだつた。

流行歌「涙の渡り鳥」競映

西條八十作詞の流行歌「涙の渡り鳥」は松竹、河合、太平洋シネマ、ヘンリー商會等が映畫化に乘り出し四社競映となつてゐた處寶塚キネマも新進鈴木日出夫監督で秘密裡に完成して十五日より封切と決つたから全國大都市に一齊競映さるゝ譯だが各社のスタッフは左の如くである

▲松竹　野村芳亭監督、岡讓二、竹内良一、澤蘭子、坪内美子主演▲河合　吉村操監督　琴糸路、川上八重子、澤田讓主演▲寶塚　鈴木日出夫監督、木下双葉、毛利峰子、水原洋一主演▲太平洋シネマ　山根幹人監督、中野かほる、吉川英蘭、吉谷久雄主演▲ヘンリー商會　生方賢一郎主演

うわさ話

「陸軍の春」のロケに明日入港の香港丸で來連する藤原義江は多分塚本マネージヤアと一緒だらうと豫想されてゐる▲元來「陸軍の春」の計畫立案者が塚本氏だから滿洲に於る子一行の采配は一切塚本氏が振るものと見られてゐる▲映樂館は明日から三日間「巴里の屋根の下」を再上映、次いで東活映畫の大衆興行をやり▲その間大いに宣傳して愈々問題の映畫「征服の處女」を寬壽郎の「天狗廻狀」後篇と組んで萬全を期して封切▲常盤座は今日からフオックス週間でゲイナーとフアーレルの「デリシアス」とエルサ・ランデー孃の「鐵窓の女」を上映▲次週からはユニバーサル社のトーキー連續猛獸映畫「巨人ターザン」の豫定▲日活館は再上映十日間興行に入つたが、第三回のプロに「大飛行船」を入れることに豫定プロを變更

本社特選 新棋戰（其一）

角落　八段△土居市太郎　四段▲志澤春吉

【圖は四四步迄の局面】土居氏持駒ナシ

△二六步　▲三四步
△二五步　▲三三角
△四八銀　▲三二銀
△五六步　▲五四步
△四六步　▲四四步
△三八金　▲五二金右
△五七銀　▲四三金
△三六步

【土居八段講評】上手直に二筋の步を突き出し敵角を三三へ上らせた目的は、普通の如く四八銀と指して居ては敵に三三銀と繰り出され、而して三二角で八筋の步を手順に交換さるゝ憂へあり、要するに一手の損益の關係で譜の如く直に二五步と指したのである續いて三六步は以下金を二筋に繰り出し、手順に三、四兩筋の步を切り、金を四筋の要所に据ゑ樣との心算である。

【萩原六段解說】元來角落戰は下手は位負けをしない樣に努め而して玉を堅固に圍つて徐ろに攻勢に出るを上乘の策とされてゐる、それで志澤氏は五四步、四四步と位負けしない樣に對抗したのである、土居八段の三八金は攻防に用ひる準備で、この金の運用の如何が大勢に大影響を及ぼすのである、志澤氏の五二金右は此處で四三銀と上り次に三二飛と指す本組の服法もあるが、構圍の堅陣を布く意味で五二金右と指したのである、土居八段の三六步は此處で四七金と上り次に三六金と指す順もあるが、この三六步は次に三七金、二六金と指し三五步と交換して四筋にこの金を活用せんとする作戰である

難症淋病と素人療法の可否

心得可き性病概念と適藥

ドクトル、オブ、フアーマシー　小川惠山

性病の中で淋病がどの位恐り難いものであるかと云ふとは誰でも知つて居る所である、

▲淋病は文明病でない

文明は性病の媒介者としての役割は勤めるけれども他の特種病の樣に必ずしも文明が生み出したものではない。淋病の如きは紀元前千五百年位の時にモーゼが明確に淋病のことを云つて居る、以來三千四百年即ち西暦千八百七十二年（明治八年）にベリール及びノイザーに依つて淋菌を發見せられて其治療に一大改革が起きても歳月は徒らに流れて未だ其療法にはドレ位苦しんで居るか判らない。人類の進化と藥藥とが性生活と不離のものであるならば淋病は梅毒以上に性生活の破壞者であり執拗なる挑戰者である。恰も人類の歷史は淋毒の爭闘史の樣なものである。

▲淋菌の生活力は強い

第一圖は淋菌を示して居るが、淋菌と云ふものは人體の何處でも發育するものではない、目の中とか生殖器の中に於てのみ非常な勢力を持つて發育し活動するけれ共梅毒の菌の樣に血液の中に混つて全身に廻るやうなことはない。然しそれだけ局部には色々の隱れ家を發見して潛入して居て消毒藥で洗つた位では中々死滅しない、淋菌は外氣に觸れると甚だ弱いし試驗管の中では直ぐ殺菌されるけれど人體の中に巢窟を見つけて居ると中々強いものである。

（第一圖）顯微鏡デ見タル淋菌

▲誤まれる溫熱療法

素人は淋菌は四十度の熱で死滅するから局部を溫めたり、我慢して燒けどをするやうな溫泉へ這入つたりする、甚だしいのになると如何はしき溫熱器療法など云つてアルコールランプ又は電池に依る電熱器を使つて局部を溫めて却て病勢を進行させる者がある。之は恐るべき誤解である淋菌は外部では四十度以下の熱でも死滅するが體内の局部に在る時は決して死なぬ事は實驗の結果明瞭となつた。睾丸炎の時は多くの人が四十度の發熱をし又婦人の淋毒性喇叭管炎の場合にも四十度或はソレ以上の熱を出す事があるが決して淋菌は死滅せず却て抵抗力が強くなつて慢性淋毒になるものである。チブスの場合の引例をよく素人が知つた樣に云ふがこれは極少數の例を云ふとで此場合には患者が絕對安靜と禁慾の結果治つたのでチブスの熱の爲でない事は專門家の定說になつて居る

▲素人の洗滌は危險

淋病は淋菌であるから殺菌液を造つて洗滌する事がある。之は婦人の尿道や膣内を洗滌するならば未だ危險が少いが男子の場合は却て病菌を奧深く追込み攝護腺炎や睾丸炎を起す事がある。第二圖は患者が前屈して肛門から攝護腺をマツサージして居る所をからだを半分に割つて見せた所で尿道の前部即ち先の方は書いてないが攝護腺に近い所迄書いてある。之を見ても、先で押へられて居る攝護腺といふ所は海綿のやうな所で其中へ外から淋菌が追込んだが最後中々根絕やしにする事は困難だ。獨乙の伯林の攝護腺搾出の方法で採つた液を顯微鏡で試驗して見たら百七十九人の淋菌所有者が發見したと言つて居る。

（第二圖）膀胱　攝護腺　尿道　肛門ヨリ指ヲ入レテ攝護腺ヲ押シテ膿ヲ出シテ居ル所

▲理想的は殺菌液排出法

素人療法として最も簡單で、且つ秘密に出來る方法としては、服藥の作用に依つて、膀胱即ち俗に云ふ小便袋に溜る尿が強力なる殺菌液となつて、放尿する度毎に內部から洗ひ出す事が出來る、之が私の製造した化學的混合物の分解作用に依る殺菌液排出法である。藥名は**小川氏オブトロール**と云つて極飲み易く何等の臭もなく味もない。然し飲んで居ると膀胱内に於て自然と化學的變化を起し何時の間にか排尿を殺菌藥に變化させ而も普通時より尿の量も多くなつて來る。只此藥の特長と云ふのは今迄の如く只尿を催させる利尿藥でなく全くの**殺菌液製造藥**であると云ふ點で、何人も心配する胃腸を害するとか云ふ樣な副作用がない事である。旣に病氣になつて居る人は一日も早く試みられるがよい、問合せは小川研究所へ直接出される方が便宜であると思ふ。

滿洲日報

委員會採擇の勸告案全文

和協のドアは閉され勸告案は遂に總會へ

最後迄變らぬ『滿洲自治』

【ジユネーヴ十五日發】十四日の十九國委員會で採擇された報告書第四部の勸告案全文左の如し

第一節

(イ)規約第十條によれば聯盟國は聯盟各國の領土保全と現在の政治的獨立を尊重し且つ外部の侵略に對しこれを擁護する事を約す、右侵略の場合又はその脅威若しくは危險ある場合に於て聯盟理事會は本條の義務を履行すべき手段を具申すべしと規定し、不戰條約第二條は締約國は相互間に起る事あるべき一切の紛爭又は紛議は其の性質又は起因の如何を問はず、平和的手段に依るの外之が處理又は解決を求めざる事を約すと規定し居り、更に支那に關する九國條約第一條は支那以外の條約國は左の通り約定す

一、支那の主權、獨立並に其の領土的及行政的保全を尊重する事

二、支那は自ら有力且つ安固なる政府を確立維持するため最も完全にして且つ最も障碍なき機會を之に供與する事

三、支那の領土を通じて一切の國民の商業及び工業に對する機會均等主義を有效に樹立維持する爲め各盡力する事

四、友好國の臣民又は人民の權利を減殺すべき特別の權利又は特權を求むるため支那に於ける情勢を利用する事及び友好國の安寧に害ある行動を是認する事を差控ふる事

と規定してゐる

總會は一九三一年十二月十日理事會議長故ブリアン氏の宣言の諸原則を採擇す

理事國は一九三二年二月十六日日本に對する要請に於て以上の諸原則を再確言し、規約第十條に違反し招來されたる各聯盟一切の領土的保全の侵害並に政治的獨立に關する一切の變更は一切の聯盟國に依り承認さるべきでない旨を宣言した

紛爭解決は上述諸國際條約を基礎とし日支兩國間に永續的諒解確立を目的とし、聯盟調査委員會の以下の諸條件に準據すべき事を要す

一、日支双方の利益と兩立する事

二、蘇聯邦の利益に對する考慮

三、現存多邊的條約との一致

四、滿洲國に於ける日本の利益承認

五、日支兩國間における新條約關係の成立

六、將來に於ける紛爭解決に對する有效なる規定

七、滿洲の自治

八、內部的秩序及び外部的侵略に對する保障

九、日支兩國間に於ける經濟的提携の促進

一〇、支那の改造に關する國際的協力

第二節

第一、滿洲主權は支那に屬するを以て總會は適當期間內に滿洲に支那主權の下に且つ支那の行政的保全と兩立する廣汎なる程度の自治を提供し、法律的條件に應じ且つ日本の特殊的權利及利益、第三國の權利及び利益並に第一節の一般諸原則條件を考慮に入れたる組織を確立すべき事を勸告す

而して各國の決意及び支那中央政府と地方當局との關係は支那政府の宣言が主題となるべく、右宣言は國際條約の效力を有するものとす

第二、滿鐵附屬地外の日本軍駐屯は紛爭處理に當り遵守さるべき法律上の諸原則と相容れざるを以て總會は之等軍隊の撤退を勸告する、以下に勸告さるゝ交渉の最初の目的は右撤退、其の諸條件の段階及び期限を決定するに存すべきものとす

第三、前述の勸告に取扱はれたる諸問題と別個に調査委員會の報告書は極東平和及び日支間の善良なる諒解に影響あるその他一切の問題を拒否し居るを以て總會は兩當事國に對し調査委員會報告中に述べられた上述原則並に諸原則に基き之等諸問題を處理すべき事を報告す

第四、上述勸告を實行するに必要な交渉は各當事國が上述勸告と兩立せざる諸條件を課す事能はざるものとし遂行せざるべからず、故に總會は以下に列擧せられたる諸方法に準據し、兩當事國間に交渉を開始すべき事を勸告す、各當事國は總會に依り勸告せられる解決を他の當事國もれ亦受諾するを唯一の條件とし之を受諾するやを事務總長に通告すべきを要請さるゝものとす交渉は總會に依り委員會の助力下に行はるべきものとす

九國條約調印國並に委員參加の希望を言明する十九國委員會各國委員會の代表は兩當事國が總會の勸告を受諾せる旨事務總長が言明すると同時に指名さるべきものとす

事務總長は又米、蘇兩國に對し右兩當事國の受諾を通告し兩國に委員會委員の任命を要請すべきものとす

兩當事國受諾通告に接したる後一ケ月以內に事務總長は交渉開始のため適當なる一切の處置を講ずべきものとす

交渉開始後聯盟國をして各當事國が勸告に合致したる行動に出でつゝあるか否かを判定する事を得せしむるため

(イ)委員會は交渉の狀態特に上述勸告第一及第二の適用に關する交渉に就き報告すべきものとす且つ何れの場合に於ても第二の勸告に關する交渉開始後三ケ月以內に報告すべきものとす、此の報告は事務總長より聯盟に對し通達さるべきものとす

(ロ)委員會は第二節の解釋に關する一切の問題を提出し得べきものとす、總會は本報告が聯盟規約第十五條第十項に基き採擇せらるゝと同一の條件にて總會の解釋を與ふるものとす

第三節

勸告せらるゝ解決案は一九三一年九月以前に存在したる原狀への單なる復歸とは異なる解決は又滿洲に於ける現政權の維持及び承認をも排除するのである、蓋し右の承認は現在國際諸義務の根本的諸原則並に極東に於ける平和維持、兩國間の善良なる諒解と兩立せざるものなるが故である

本報告の採擇に當り聯盟各國は特に滿洲の現政權に關し上述報告の諸勸告の實行を妨げ若しくは適用を遲延せしむる恐れあり一切の行動を差控ゆべきものなる事は明かである

聯盟各國は法律上たると事實上たるとを問はず右政權を引續き承認せざるものとす

聯盟各國は滿洲の事態に關し一切の單獨行爲を差控へ且つ其の行動を互に共にし更に出來得べくんば聯盟國ならざる關係各國と行動を共にすべき事を意圖するものである

更に九國條約締約國たる聯盟各國は其の一國が本條約中の諸規定の適用を必要とし且つ此の種の適用の討議を望ましきものと思惟する如き事態が發生する場合には何時にても關係各締約國間に充分且つ卒直なる通信をなすべき事に同意し居れるものである

本報告の諸結論に合致せる事態を極東に確立する事を出來得る限り容易ならしむるため事務總長は本報告の寫本を九國條約乃至ケロッグ不戰條約の調印國たる非聯盟各國に通達し總會は之等諸國が本報告に表示せられたる諸見解に贊同し且つ必要なる場合聯盟各國と其の行動並に態度を共にせん事を希望する旨を通告するやう指令さるゝものとす

愈よ聯盟の空氣險惡

【ジユネーヴ十五日發】日本が勸告を斥けた場合、殊に熱河に於ける軍事行動を進めた場合、如何なる事態が聯盟との間に起るべきかに就いては十九國委員會委員中にも殆ど豫斷出來ぬ旨卒直に述べてゐるものがあるが一部小國筋では報告三部の結論中に滿洲は支那の領土であると明瞭に謳ふ以上支那の領土に入つて軍事行動を採るからには之を戰爭と看做し得ようと主張する者少なからずリットン報告が滿洲事變を單なる侵略とか戰爭と目すべきに非ずと述べてゐることを忘れつゝある形でこの處聯盟は全く狂氣じみた興奮に驅られてゐる

湯淺新任宮相の親任式行はる

檢査院長後任河野氏

【東京十五日發】本日の閣議に於て宮相後任は會計檢査院長湯淺倉平氏に決定し齋藤首相は午後三時三十分參內御裁可を仰いだ、なほ會計檢査院長後任は河野第一部長の昇任を見ることゝなり五時二十分湯淺、河野兩氏は相前後して參內親任式を行はせられた【寫眞は湯淺氏】

辭令【東京十五日發】

會計檢査院長從三位勳一等　湯淺倉平
任宮內大臣

依願免宮內大臣　一木喜德郎

檢査院部長從三位勳二等　河野秀男
任會計檢査院長

關屋次官辭表を提出

【東京十五日發】關屋宮內次官は十五日午後六時五分湯淺新宮相親任式終了後湯淺宮相に辭表を提出した

一木前宮相に前官禮遇を賜ふ

【東京十五日發】一木前宮相に特に前官の禮遇を賜ることゝなつた

宮相更迭經緯

【東京十五日發】宮相更迭説は隨分久しく傳へられそれだけ後任候補も種々の人が擧げられ更迭は久しく伏せ札となつてゐた爲立消えとなるのではないかと思はれてゐたが突如本日湯淺倉平氏の親任を見るに至つたのである、一木宮相辭意は昨年九月から始まつたもので辭意表明した時牧野內府は頻りに留任を勸告西園寺公を訪問相談したに拘らず辭意固く茲に後任詮衡に移つたわけである、湯淺氏は人も知る精勵恪勤の官僚で全く政黨色なく謹直なる點全く宮相の適任者なるは萬人の認むる點である、同氏は昨年末多少神經衰弱氣味で就任を固辭してゐたが他に適任者なく適任者あるも就任不能のため遂に同氏に決定を見たものである湯淺氏の後任として會計檢査院長に陞任した河野秀男氏は檢査院の主と言はれる古顔で其の親任は當然とされてゐる

大集團軍制に復し積極的抗日の姿勢

關內司令に張學良自ら任じ熱河軍は張作相統率

【天津十五日發】張學良は北支に於ける抗日支那全軍指揮統一のため昨日臨時大集團軍制を復活し積極的に抗日反滿の作戰をなすに決し陣容改正を斷行した即ち第一集團軍司令には學良自身が當り關內の全軍を統べ第二集團軍司令には[illegible]の各正規軍義勇軍を統監さすに決定張作相は二十日北平發熱河に赴く筈であるが尙學良軍從來の兵制は旅を最高單位としたるも之を師團に改むる事になつた

貴院豫算總會

【東京十五日發】貴族院豫算總會は午後一時四十四分開會、審議經過日取を協議決定した後質疑に入り

野村益三子(研)我が水産政策實現、遠洋漁業保護獎勵策如何、北海道水産物檢査に就き道廳の申請を許可するや又都、市水産課の將來に就き不安なきや

後藤農相　何れも充分考慮する

と答へ野村子更にジャバ事件の經過如何を問ひこれに對し內田外相經過の內容を述べ日、蘭兩國間に誤解が生ぜざるやう解決に努力する旨答へ

野村子　南洋統治政策の大綱如何

永井拓相　南洋水産事業の情勢に就ては八年度豫算に相當計上した

野村子　敎育調査の決定如何、少年保護事業の成績如何、映畫に對する當局の對策如何等につき質し小山法相、鳩山文相から說明ありて質疑を終り三時五十六分散會した

勸告可決を豫定し參加招請狀を發す

監視委員會構成國に

【ジユネーヴ十五日發】二十一日開會の總會に於て十九國委員會採擇の報告草案が可決されゝばその規定する勸告に基き日支兩當事國間の交渉を監視すべき交渉委員會が任命されるわけであるがこれに招請される諸國は十九國委員會に委員を出してゐる各國、九國條約締結各國、ソウエート聯邦と決定してをり其內委員會は二十一日總會開會と同時に解散することゝなるので、それまでに被招請國の參加か不參加かを決定さすことを便宜とするので十九國委員會の各國九國條約締結國たるオランダ、ロシアの二十二ケ國に對し既に十四日夜交渉委員會參加招請狀が發せられたと確聞する

交渉委員會參加國　態度注目さるゝ國々

【ジユネーヴ十五日發】交渉委員會に何國が實際に參加するかは興味あるが昨日の十九國委員會ではドイツ代表が參加意志を表明した以外、何れの國もなさず第十六條問題を質問等して、中立國の資格を懸念のスイス大統領モッタ氏が不參加を言明す、尙此の他發言權持ち、利益を得んとの野心無き小國筋、例へばグアテマラは多分不參加を表明する模樣で十九國委員會から若干減じた九國條約、ワシントン條約の關係國から新に加入するわけで、ロシアの參加は實現しまいとの觀測多く、アメリカ側は口を緘して態度不明である

第二次書翰要旨

【ジユネーブ十四日發】十四日の十九ケ國委員會が松岡代表の回答書翰を審議した後、更に我が代表部に送達した第二次書翰の要旨は左の如くである

十九國委員會は滿洲國に關する貴國政府の態度を指示した二月十四日附貴翰中に含まれた聲明に謝意を表するものである、貴國の通告は日本代表部が紛爭解決の基礎として聯盟調査委員會の報告書第九章に示された十原則及び結論を受諾するにあたりその後の進展せる情勢にこの種の諸原則並に結論を適用するため日本代表部の提議した附言が第七原則、滿洲現政權問題の範圍を修正すべきだとの意圖を有せるものなる事を明瞭にせられた委員會は貴翰中の諸點に充分なる考慮を拂つたが現狀に於ては右提案の討議に入るも何等か有効な結果に導き得べしと思惟せざるを得ないものである、委員會は勿論貴國政府が提出を希望せらるゝ事あるべき如何なる提案をも總會會合の最終日に至るまで極めて愼重に審議する用意を有するものである

第二次書翰は默殺あるのみ

外務當局極度に憤慨

【東京十五日發】十九國委員會の第二次書翰は十五日正午外務省に到達した、右書翰は「日本は滿洲國承認を放棄せざるため和協の望みなし」と斷定し和協失敗の責任を我國に歸すると共に更に此上の讓步を求め且熱河問題に對する警告を含んでゐるので外務當局は左の如き斷乎たる態度を示し何等回答の要なしと極度に憤慨してゐる

一、和協は屢次聲明せる滿洲國承認の放棄不能と現地の事實的發展に考慮を拂つてのみ成就せらるべく聯盟が此點を容認せぬ以上和協の失敗は當然にして其責めは聯盟側に在り

一、八日附の我が新提案は最後的のものでこれ以上滿洲國主權を曖昧化する新提案は不能なり

一、十九國委員會は更に日本が讓步的新提案を爲さねば第四項に移行すべしと威嚇態度を示したが何等恐るゝ要なく好むまゝに第四項に移行すべし

一、熱河問題は滿洲國內政問題にして日本の參加は議定書に基くものなる故不當の處置に非ず今後の和協の努力とは關係なきものなり

といふのである

【東京十五日發】聯盟十九國委員會の第二次對日通牒は十五日正午本省に到着したが外務省ではこれを默殺して別にこれに對する回答の如きは出さないことに決定した

五十七勇士の悲しき凱旋

けふ午前十時はるびん丸で

上海滯在の段祺瑞が有吉公使と會見

注目される蔣代表同席

【上海十四日發】目下當地に在る段祺瑞は十二日吳光新を使として有吉公使に會見を申込んで來たので有吉公使も之に快諾を與へ十四日午前十一時より半時間に亙り段祺瑞とその寓舍で會見した、有吉公使と段祺瑞は初對面の事とて先づその挨拶より始まり現時の日支關係殊に現在最重要の熱河及び聯盟問題に關し雜談的に意見の交換を行つた、此會見には吳光新の外蔣介石の個人的代表且つ黨部の代表とも見るべき陳果夫も同席したので或る意味に於いては日支直接交涉の第一步とも見るべきものとして支那人側では相當注意を拂ひ公債相場の如き之を材料に急騰を示した

反蔣運動の一顯現か

他日の爲の日本接觸

【上海十五日發】昨日の有吉公使段祺瑞の會見は段の申込みに依りなされたものであるが段は何等具體的提言をせずたゞ双方日支親善を說き現狀繼續の主旨を力說したのみで會見を終つた、右會見に就き確聞するに蔣介石に對する安福派の反對行爲と見られ吳光新等が「北支政權を握る者は段祺瑞を措きて外になし」と段を日本と接觸せしめ日本に北支政權把握後の諒解を求むるための會見と見らる

閣議決定事項

【東京十五日發】政府は十五日院內持廻り閣議で左の法律案を決定し衆議院提出の手續きを取つた

一、昭和七年法律六號中改正法律案

一、大正二年法律九號中改正法律案

臨時閣議

【東京十五日發】本日の緊急臨時閣議は午後四時より首相官邸で開會齋藤首相以下各閣僚出席內田外相より十四日の十九國委員會で報告、勸告の決定に至る迄の經過及び案の內容及び總會終了後の代表部引揚げ等に就き詳細報告をなした後一木宮相の辭任と、後任に湯淺倉平氏を奏薦する件を協議、之を決定午後五時二十分齋藤首相は閣議の席を離れて宮相更迭を奏上御裁可を得るため參內し、殘る閣僚は引續き意見を交換し午後五時三十分散會した

參議官會議

勸告決議の際

【東京十五日發】陸軍では聯盟が和協を放棄し總會に於いて勸告案を決議し我が國に提示し來る事になれば我が國としては愈々重大決意を執らざるべからざるに立ち到り斯る場合は將來に於ける我が國防問題に就いても重大時局に直面するので正式に軍事參議官會議を招集し閑院、梨本兩元帥宮殿下始め奉り上原元帥、井上、鈴木、金谷、菱刈、南、渡邊、林、眞崎、本庄各軍事參議官並に荒木陸相等參集して重大決意に關する全陸軍の態度方針を確立する事となり右參議官會議招集に關し目下陸軍省で準備中である

議會風景

【東京十五日發】豫算案が貴族院へ送附されたので無風帶ながら議會の氣壓の中心は貴族院へ移つた形、目星しい議案とては何一つない衆議院は人影がちらりほらり▲自動車衝突で負傷重態を傳へられた柳澤保惠伯大きな繃帶をさげ元氣で議場に入つて來たので邊りの者も驚いて顔を見詰るや柳澤伯仕方ばなしで衝突當時の模樣を話したり胸を押へたり何か大手柄でもしたやう、この元氣とても豫算委員長をやめさうもない▲襟マイクを使つた橋本辰三郎君すつかり良い氣持になつて演說してゐる內にマイクの事をすつかり忘れ降壇しやうとするとマイク許さず、待つたとばかり橋本君を引張る、橋本君恐縮してマイクにお禮をいふやうに頭を下げてやつと降壇▲橋本君の質問、政府將來の財政計畫如何といふに對し藏相將來のことなんか判るものでない、第一今提出してゐる八年度豫算が既に豫算だといひ放ち其上心の底には希望も理想もあるがさういふことをいふのは國家のためでないと、ずばりいつてのけてシヤアく

けふの議會

【東京十五日發】十六日

貴族院　貴院本會議は午前十時開會、日程を變更し劈頭保險業法中改正法律案上程委員附託、午後請願十四件を採擇それより橋本辰二郎(研)松本勝太郎(同)外二名の質問あり尙同時に午前十時より豫算委員會開會松本勝太郎外五名の質疑に入り午後一時半より決算委員會正副主査打合せ會を開く

衆議院　午後一時本會議開會政府提出都市計畫法中改正法律案米穀統制法案外五法案及び貴族院提出製絲法案外十三件上程特別委員附託さし尙決算は鐵道敷設法外二改正法案の委員會開會

前途實に輝しき 滿洲國の財政
建國第一年の難關を突破し 大同元年度歳入増收

【新京】全滿治安の回復と徴税機關の整備確立と共に滿洲國の大同元年度歳入状況は非常な好成績を擧げ累月増加し不日舊政權時代の歳入状況に復活し得るものと觀察され新興滿洲國の財政の基礎も遂次鞏固となり前途も實に輝かしきものがある、元年度過去七ケ月の歳入状況を見るに歳入豫算額九千六百四十五萬一千圓中上半期（七月一日より十二月末迄）收入見込額三千七百四十七萬三千圓に對し實徴集額三千七百七十三萬三千圓を擧げ地方の治安未だ充分恢復せず徴税機關の統制も意の如くならざる建國第一年の難關にありながらもよく二十六萬圓の増收を示してゐる、上半期間の關税鹽税及内國税の收入表及びその状況について見れば左の通りである

▲大同元年度歳入實績表（單位千圓）

月別	租税 關税	鹽税	内國税	吉黑榷運署徴收金	雜收入	水災賑濟彩票收入	合計
七月	二、九二七	三二一	一、二四七	四〇〇	―	―	四、六九五
八月	二、九〇三	四六六	一、二三五	―	―	―	四、七〇四
九月	二、四〇六	四七九	一、二三七	―	一九	―	四、一六九
十月	三、三五五	一、四〇六	一、三〇七	一〇〇	―	一〇〇	六、二六六
十一月	四、〇四八	六〇九	一、三五八	四〇〇	二	一二〇	六、五〇七
十二月	四、二〇〇	三、一〇九	二、三〇九	四〇〇	二	一三〇	一〇、一五〇
小計	二一、三三九	五、四四〇	九、一六一	一、三〇〇	二三	四〇〇	三七、七七三

▲關税　大同元年度に於ける關税收入の豫算額四千八十九萬圓に對し七月より十二月に至る實績は二千百二十二萬九千圓で前年同期收入一千九百九十九萬三千圓に對し百二十三萬五千圓の増收となり即ち元年度上半期に於ては前年同期に比し五分八厘の増收を見たこととなる、諸般の情勢を綜合するに右の増收歩合は今後更に伸張すべく從つて大同元年度收入豫算に對し一割の増收が期待される

▲鹽税　大同元年度鹽税收入の豫算額一千六百八十萬六千圓に對し七月より十二月に至る實績は五百四十二萬圓で前年同期收入七百十八萬二千圓に比して百七十六萬二千圓の減收となるも元年度の上半期の收入見込額たる五百七萬三千圓に對比せば三十四萬七千圓即ち見込額に對し六分八厘の増收を見せてゐるこの増收割合をもつて元年度の收入を推算すれば一千七百九十四萬八十圓の收入となり豫算額に對し百十四萬二千圓の増收を擧げ得やう、なほ鹽税收入は治安状況に左右されるが殊に奉天省に於てはその影響鋭敏に感じてゐる、今や奉天省における治安は略恢復され私鹽取締の勵行と共に鹽税收入も次第に増加を見るべく本年度で半期の鹽税收入は一層増收を期待し得やう

▲内國税　大同元年度内國税收入豫算額二千七百六十二萬四千圓に對し七月より十一月に至る實績は九百三十六萬一千圓で上半期收入見込高たる一千百四十二萬二千圓に比し二百六萬一千圓即ち二割二分の減收となつてゐるがこれは税捐局の統制状況に起因するものと見られる、即ち税捐局統制状況を見るに左の如くである

△税捐局現況調（全國一四二局）

	徴收税金を毎月送金し完全なる統制の下に徴收する局	送金不正確なるも徴集事務の取扱ひ局	消息不明局
九月末	二九	三五	七八
十月末	四六	三八	五八
十一月末	六〇	三四	四八
十二月末	七六	二四	四二

かく徴税金を毎月正確に送金し來り完全統制を受けてゐる税捐局は九月末に廿九局であつたのが十二月末には七十六局で全數百四十二局に對し五十三％に及び全然消息なき局も九月末七十八局が十二月末には四十局に減じてゐることこの税捐局の統制は今後益好となるものと見られるから下半期の成績は最も期待し得べく元年度豫算額は充分擧げ得るものと信ぜられてゐる

▲その他　專賣益金、雜收入等は特筆すべきこともなく吉黑權運署は一方に於て吉黑兩省の治安恢復と共に偶然官權販賣の激増を來したのと他方各機關の統制諸般事務の刷新による…

北五條通以北居住者　十八日午前十時より　新臺子派出所新臺子及亂石山附屬地居住者

因に終了時間は午後二時である

十六日午前十時より　滿鐵館市内北五條通以南及平頂保得勝臺各附屬地居住者

十七日午前十時より　公會堂市内

共同團體表彰

【鐵嶺】日本赤十字社鐵嶺支部では今回同社事業費として私財百圓以上を寄附せる左記五氏に對し公共團體表彰條令により關東長官に對して表彰を申請した結果夫々褒状を授與された

金二百圓開原瓜生雲雄、同黄茂齊、同新臺子孫傑三、金百七十五圓新臺子劉東川、同張文選

他殺か？自殺か？ 内臓悉く凍結し解剖は困難
崔厦明教員の慘死體

【鐵嶺】四十二日目に慘死體となつて發見された元鐵嶺普通學校教員崔厦明氏の遺骸は既報の如く他殺か凍結かの疑問を解く爲め解剖に附する事となり十三日夜は充分に温めて十四日朝衛戍病院解剖室に運び奉天醫大教授二階堂一種執刀の下に午前十一時より解剖に着手したが内臓悉く凍結して完全なる解剖が出來ず綿密を要する問題なるを以て解剖を中止し外部の檢證のみを行ひ更に充分温めて十五日解剖することゝなつたが他殺か凍死か斷定的の發表を見るのは本月二十八日頃になるであらうと

臨時種痘施行

【鐵嶺】當地方事務所では來る十六日より三日間に亘り管内各地の臨時種痘を施行する由日時場所左の如く希望者は指定場所に出頭されたしと

特産出廻りと裝甲自動車活躍
第一回運行好成績

【公主嶺】公主嶺の特産物出廻りと裝甲自動車の活躍は目覺しいものがある、即ち伊通縣に於て舊正月を迎へた裝甲自動車は該地の住民より絶大なる歡呼を浴び意義深き第一回の運行を終はり一月十日揚家城子方面に出動し豫期以上の好成績をあげ滯在中は

治安の維持と搬出馬車を援助月間八回の運行を繼續し東西背後地を樂土平和境たらしめたので特産界は大賑となり出廻り助成に躍進し上旬には一日百臺內外の馬車を算せるも旬央より舊正準備に漸減し下旬に至り中絶したので出廻りを見累計八三、八六三噸となり前年度の出廻り高は八三、〇〇〇噸にして本年度は既に前年度出廻り圏内のものは大半搬入せるものと見今後は揚家城子及懷德子等の遠距離地方のものが期待され

舊正明けの反撥的出廻りが興味を以て見られてをり一月中に於ける發送状況は前月來の貨車繰り逼迫と舊正に於ける社線内持込み減少に漸く順調となり月初め構内在貨の全部を一掃し得たるが特産相場は依然逆鞘を續け

驛出し振は下旬は舊正に當り殆ど休止状態となり一般貨物は激減し從つて大豆蘇子豆粕軍需品等特殊事情の貨物を除き何れも前年に比し減少し大豆は前月來の滯貨を一掃せるため一、四三八噸の増加を來し蘇子は前年匪賊の影響により他驛に出廻りしも本年は大半當地に現れ製油原料として需要旺盛なるため前年八噸に對し本年は七二五噸といふ激増を示し豆粕は油房の活潑に發送の自然増加を來し結局合計に於て前年對比二二四七噸二七の増加である

大石橋道場納會
併せて皆勤者表彰式

【大石橋】大石橋道場は開場以來歴代の地方事務所長及警察署長等は勿論滿鐵方面各箇所長及幹部何れも尚武の精神に富み所屬部員青壯年の教養上常に第一線に動務する吾人の資格として必ず武道の心得を必須とし心身の鍛錬に邁進すべしとして鍛錬されある關係上其の實績大いに見るべきものあり先日奉天に開催されたる全滿劍道大會において他所の追從を許さゞる成績を以て凱歌を奏したる又故なきに非ず當道場においては二週間の寒稽古を終了した、十三日午後五時より武道納會を擧行したが期間中劍道部においては渡川師範を初め稽古、秋畔、三戸柔道部に於ては中塚師範を初め江口、塚村、梁瀬、渡部、小林、寺井の各有段者等が身的に稽古を行ひ後進者の指導に努め顯著なる功績を擧げた尚ほ幼稚園原田先生の考案に係る園兒に對する劍道基本教練に對しては其心身の鍛錬上將又た發育盛りの兒童の姿勢矯正上實に理想的訓育施設にして各方面より賞讃されつゝあり而して柔劍道共基本形に始まり練習試合も花々しく午後七時終了引續き皆勤者賞状賞品の授與式を擧行した

來賓として齋藤警察署長、木之下警部、伊藤家次郎其他各箇所幹部列席し支部長は非常時の現在に處する青壯年の意氣鍛錬の爲め他の一切を顧みず勤務の餘暇益々武道修練に努むべしと訓示し左記の通り賞状賞品を授與した

▲柔道之部　中塚庭次郎、寺井武、小林龍男、江口滿、梁瀬和人、渡部涉、石井國治、藤田鐵三郎、山浦藤次郎、山中勝二、畑喜代七、荻原秀雄、佐々木行雄、鶴幸夫、江之村勳、宮本義雄、鶴賢德、江之村章、川原淸、中村誠一　以上二十名

▲劍道之部　渡部行治、菱川德一、金光新藏、今村榮一、松原保孝、太、田巻正、規矩順藏、西澤芳富、反田略、小西隆重、松廻孝夫　以上十一名

終りて午後七時半より倶樂部日本間に於て高山社會主事及澁谷係員の斡旋に依り懇談會を催し倉橋支部長の挨拶、新居務係長平田淳氏の紹介を爲し斯道に關する懇談に花を咲かせた中にも振つたのは塚村、江口、小林三氏の發案に基く

非常時に際會し我等青壯年は最近流行せんとする浮薄なるダンスを排撃す若しステップの眞似だにする者を發見したる場合は一刀の下に首を叩っ切る事を申合せた事であつた、斯くて午後九時半意氣天を衝くの勇姿そのまゝで散會した

修養向上會

【鐵嶺】修養團鐵嶺支部では來る十七日奉天一燈園三上和志師を招聘し滿鐵クラブに於て午後六時半より修養向上會を催すと子供のためにも三十分位の講演あり多數の來聽を歡迎すると

作業中負傷

【奉天】十三日午後七時頃奉天驛連結方池田達夫（二三）は驛構内南方で作業中誤つて左手をポイントに觸れ左肩部に重傷を負つたので滿鐵大醫院に入院せしめ加療中であるが生命には別條ないと

日赤副社長來鐵

【鐵嶺】全滿日本赤十字社の活動状況並に滿洲派遣の皇軍慰問のため來滿せる日赤副社長中川望氏は來る十九日午後一時三分着列車にて來鐵し當地赤十字支部の状況視察、軍隊慰問の後松花ホテルに一泊し二十日午前十時十二分發列車で北行

多門將軍實戰談

滿洲事變の最初より一年有半、轉戰實に千三十五回、赫々たる武勳を立て、凱旋せる多門將軍が初めて語つた實戰談、『キング三月號』に掲載、眞に痛烈萬人大感動!!

靖安游擊隊暴行

【奉天】十二日午後四時半頃城内鼓樓南胡同住井某方に二十名連れの靖安游擊隊の正服を着したる者が侵入し來り阿片を強要し暴言を吐きながら立ち去つた、同五時頃大北門外通行中であつた宮島町丸軍運送店のトラックを呼び止め同乘を強要し居たる四十名の游擊隊員ありしも憲兵隊員の出張により解散逃走した

玉泉館改造

【鞍山】湯崗子温泉會社では陸軍轉地療養所も愈々新築家屋に移轉したので滿林館の民衆浴場改築の完成を待ち今月下旬から玉泉館の客室並に大廣間の大改造を行ひ春の行樂に充つべく準備を進めて居るが之が完成の曉は鞍山はもとより各方面の家族會を引受け定めて賑はうことであらうと

本溪湖市民有志 時局懇談會開く
十六日市民倶樂部で

【本溪湖】本溪湖市民は本月二日國際聯盟の空氣の險惡なるに際して、壽府に活躍する松岡全權に激勵の感謝の電報を發し、更に齋藤總理及び内田外相に對して激勵の電報を發したが、現下の我國の重大なる時局はいよ〳〵深刻を極め、政局の動搖、經濟界の動搖と共に思想的に且つ社會現象として憂ふべき情勢を展開し、然も一歩眼を轉ずれば國際聯盟の推移、露支の抗日的態度、これ等の情勢を背景として太平洋上に渦卷く米國の太平洋政策等、我國は眞に文字通り内憂外患の姿にある、斯かる機運に際會して、本溪湖に住居する即ち日、滿を通ずる安奉線の中央に位し、北に太子河をへだて、物資の集散地牛心臺方面の農耕地を控へ政治、經濟の觸感を最も鋭敏に享くる當地にあつて、祖國の情勢、經濟界の波動、滿洲國に寄する關心等に對する認識を新にし且つ明確にする必要を痛感して、市民有志は十六日午後六時より市民倶樂部樓上に於て、時局懇談會を開催することに決し、各方面の參加を求めてゐるが、時局柄なれば、定めし盛會を極むべく豫想されてゐる

宮下保線區長離石

【大石橋】大石橋保線區長宮下熊吉氏は滿鐵本社工務課に榮轉することゝなつた

氏は昭和六年八月八日大連事務所より區長として就任以來一年半有餘偶々九月十八日滿洲事變勃發を見たが常に沈勇果敢或は河北線に本線に殊に錦州攻撃に際しては敵彈雨飛の中に身を挺して克く部下を指揮し軍の行動をしてその豫定計畫通り遂行せしめたる功績は誠に甚大なるものがある、其後引續き各所に蜂起し滿鐵線を脅かさんとする兵匪の襲來に際しては克く警備戒し受持管内に事故の一つだに見せざりしは又其隠れたる辛勞思ふべし、赴任早々時局多端の中に社の内外事務の刷新現はれざるなく、殊に統計々畫は氏の特技とする所にして保線の現状調査を敢行しこれを基本として改修計畫完く保線方面工作事務…

瓦房店婦人會の涙ぐましい活躍
昨年中の事業概況

【瓦房店】瓦房店聯合婦人會は滿洲事變以來赤誠籠めて軍警慰問に獻金に傷病兵見舞に弔問に講演會開催等に活躍したが昭和七年中事業の概要は左の通りである

▲吉村主事、松村氏、田村夫人檜垣佛教婦人會代表關東軍奉天遼陽衞戍病院に傷病兵慰問林檎贈呈▲奉天に於て開催の全滿婦人團體聯合會に松村氏、田村夫人代表として出席▲蘆家屯沙崗に海賊襲撃慘禍避難民を慰問▲瓦房店守備隊雜嚢の裁縫に七十六名倶樂部に集り徹宵從事▲古本雜誌を蒐めて○○隊に贈呈▲故谷本上等兵、倉形上等兵、渡邊上等兵名譽の戰死各告別式に參列香料一封を贈つて弔意を表し▲大仁田線路方、中山田家驛長殉職慰靈祭に參列香料一封を贈つて弔ふ▲大連聯合婦人會に松村常任幹事長代表出席▲婦人會全員克己袋配布▲吉村社會主事の關係事業に關する講演會開催、尚同事業に金一百圓寄贈▲瓦房店守備隊へ二百五十袋、瓦房店警察署に七十五袋、御守護袋を贈つて武運長久を祈り守備隊員傷病兵に酒肴を御見舞として贈呈▲飛行機滿洲號に一封獻金▲瓦房店守備隊洮昂線江橋に駐屯中日の丸大國旗一組及びレコード七十三枚を贈呈▲關東軍警備充實費に獻金▲守備隊兵士警察官慰問の爲め高松舞踊團一行招聘▲日滿聯合婦人懇親會を開催して親睦を圖り、湯崗子温泉に療養中の傷病兵慰問、高橋氏、原田氏、細矢令嬢代表御菓子贈呈▲○○隊奉天北大營兵工廠警備中慰問所長、小川區長、吉村主事、滿地、山田兩令嬢を同行慰問、六百七十三册の古本雜誌と林檎御菓子を贈呈▲滿洲國奉天遊擊隊負傷勇士慰問林檎贈呈▲滿鐵社員北滿に出動せる

家族を慰問▲○○騎兵聯隊瓦房店宿營の時軍馬に人參を配給其他皇軍の出動凱旋驛通過には湯茶を饗應、戰死者遺骨通過には靈柩に弔意を表し酷寒肌を刺す夜も氷雪を踏んで驛ホームに整列涙ぐましい活躍を續けてゐる

交通機關も近く解決

【熊岳城】昨冬先づ永年の懸案たりし附屬地電燈點燈問題を解決し近く交通機關として自動車問題を解決せんとする矢先に滿鐵消費組合も開設せられ都會らしき面目を施したこの急テンポに將來或る發展を期しつゝ城内居住者が昨年より今年にかけて増加したが其の素質

行政警備の聯合懇談會

【開原】開原縣外六縣の參事官及び指導官は十四日午後一時より開原憲兵分遣隊講堂に集合し各縣の行政警備状況を報告し縣治に關する重要事項に付檢討し通信連絡及協同討匪等に就ても相當進んで協議を遂げ午後五時飯田○隊長、田中憲兵隊長の指示を受け閉會し續いて協和會の招宴に臨んだが縣治の將來に對し最も意義ある會合であつた、當日出席者の氏名は左の如し

▲開原縣參事官宮内▲同副參事官五島▲同警察指導官山本▲同田中▲鐵嶺縣參事官鎌倉▲同警察指導官佐藤▲昌圖縣警察指導官福田▲西豐縣參事官森山▲同警察指導官兒玉▲清原縣屬中島▲同警察指導官鴫崎▲法庫縣警察指導官高木▲康平縣副參事官山岸▲滿洲國協和會中央事務局高須▲同松川

前田醫長離鐵

【鐵嶺】當地滿鐵醫院外科醫長前田黎氏は今回滿鐵より九州帝大に二ケ年の留學を命ぜられ來月上旬離鐵の筈

吉林電話局に滿人女交換手

【吉林】當地電話局の交換手は滿洲人男子で日滿通話をなしてゐるが事務繁忙と急を要する通話などにはどうしても感情の相違とか又はその他行違ひを生じ爲に一般人の點からず不便を來してこれが改革の要望頻であるので過般龍局長は來吉と共に打合せの結果今回大連より滿人女性の日本語を解する者二名採用し日滿通話の便利と感情の融和を計る事となつた

滿洲人旅館天井墜落
重傷者四名

【鐵嶺】去る十一日午後八時半頃居留地大手町滿洲人旅館東興館方へ百餘名の苦力が宿泊し全部二階に上つたところ建物不完全な二階へ百餘名が一時に上つたので重量に堪へ兼ね一大音響と共に天井が墜落し苦力は悲鳴を擧げて轉落重傷四名輕傷二名を出し一時は大騷ぎであつた

…の方針を確立し能率向上の實を擧げたるは衆知の事績である

氏は離任に際し語る

短時日ではあつたが官市民各位に御世話になりました事變突發以來出張勝ちで市民の方々にも一向裨益する事なく面目ない次第です、錦州攻撃に際し出動の時も軍部より鄭重な御禮の御言葉を頂戴しましたが、之さて皆部員の方々が克く身命を賭して働いて戴いた賜です、今後は乃木町二の三の一に居を定めます

因に氏は出發に際し聯合婦人會に金一封を贈り感謝の意を表した、十三日午前十一時十五分發第十六列車で家族同伴離石したが、驛頭には岩田大隊長を初め木之下警部其他滿鐵各箇所長及箇所勤務員、聯合婦人會、小學生徒其他一般官民が見送つた

…に於ては誠に惜しまれて居る

昌圖地委會招集

【昌圖】開原地方事務所長小川卓馬氏は二日十五日昌圖警察派出所内に招集し昭和八年度豫算を諮問したと

ピンポン優勝戰

【公主嶺】公主嶺體育協會主催春期ピンポン優勝戰は十二日午前十一時滿鐵社員倶樂部に開催各選手の妙技に接戰又接戰觀衆を熱狂せしめ頗る盛況裡に午後四時半閉會した當日の優勝A組一等渡邊、二等渡邊（補）三等齋藤B組一等大井、二等行方、三等腹子C組一等小松八郎、二等牧、三等安田の諸氏にして本社より優勝メタルを寄贈した、因に團體優勝戰は來る二十六日の豫定である

竹井安平氏死去

【鐵嶺】當地松島町竹井安平氏は久しく腎臓病の爲めに靜養中であつたが捗々しからず去月中旬當滿鐵醫院に入院したが十三日容態惡化し遂に同夜十一時五十分長逝した享年六十一、葬儀は十五日午後三時より執行されたが同氏は明治四十二年以來鐵嶺に居住し民會議員商工會議所議員に推され鐵嶺の爲め盡力の多かつた人である

M-23

海と空と（112）

高杉晋一郎作　橋本淸史畫

敵（一九）

「出て來るつて何處から」

逸見が不審の眉をあげると土屋は、がくんとベッドの上に起き直つた。

「何だ、お前知らないのか？」

「知らない」

「冗談ぢやないぜ。朝日奈は、今迄とつ捕まつてたんだぜ」

「何で」

「何故だかそんな事は此方には解らんよ。兎そいつでも理由は向ふだけが知つてるやうなものだからな」

「然し」

「然しぢやないよ。まあいいそんな事は。とにかくお前もぼんやりしてゐるな。ぢやお前近頃組合の方へは行かないんだな……結婚にかまけて。はつは」

「…………」

「まあ、けど、無事に濟むらしいんだ。一緒に捕まつた連中ももう大分歸つて來たんだから。何だか共產黨の再組織つて嫌疑を受けたんださうだ。朝日奈が首魁と見られたんで一番後まで殘つたらしいが、それも明日あたり出て來るだらう。昨日組合での話ぢやそんな風だつたよ」

「さうかい。少しも知らなかつた」

「知らなかつたぢや濟まんな。今日でも行つて來いよ事務所へ」

「うむ」

喋つたお蔭でどうやら眼の覺めたらしい土屋は、足を床へ下して襯衣一つの寒さうな恰好で急いで外套の方へ走つた。

「だが大丈夫なのか、朝日奈君は」

「大丈夫らしい。別にお前共產黨を組織した覺えも無いんだから」

「うむ」

逸見はほつとした。それならよかつた。若し起訴でもされてゐるのを知らず自分が去つてしまつたら、ボールはどうなつたらう。彼は自分の迂濶であることを矢張早に教へられる氣がした。彼は、今自分が投函して來たばかりの裏への手紙を思つて見た。

「一寸待つてろ。顔を洗つて來るから」

外套をひつかけて洗面器を抱へた土屋はさう云つて廊下へ降りて行きかけて、ひよいと逸見の顔を改めて見直した。

「おや。お前いやにやつれたな」

「う、うん」

逸見はつつと窓の方を見た。

「風邪ひいて寢てたんだ。夫でそんな事件も知らなかつたんだよ」

「ふうん、さうかい。お前でも癪氣する事があるのかな」

大して氣にもとめず、そんなこと云つて、土屋は下へ降りて行つた。

逸見はその後で一寸眼が熱くなるのを感じた。然しそんな感傷を今ぶちまけてゐてはならなかつた。彼は帽子を取つて、土屋の云つた机の抽斗を開けて見た。原色のポスターカラーの空瓶の中へ、十圓札がくちやくちやと四枚押し込んであつた。彼はそれを摑み出して自分のポケットへ入れた。

彼は階下へ降りて行つた。

洗面所で土屋は口の邊りを齒磨粉だらけにして楊子を使つてゐた。彼は眼を見張つた。それからぶつと流しへ口の中のものを吐いて云つた。

「もう歸るのか？」

「うん、一寸急ぐんだ。金、借りたよ」

「あゝいゝよ。さうかそいぢやまた來いよ……そして結婚はいつになつたんだい？」

逸見はもう危なかつた。胸から熱い固いものがぐつと咽喉へ押し上げて來るのを感じた。彼はくるつと向ふを向いた。さうしてずんずん扉口へ出て行つた。扉口でもう一度振返つて土屋を見ると、土屋は笑つてゐた。再び齒楊子を口へ突込んで、頰の邊をもぐもぐと動かしながら、片手をあげて失敬をして見せた。

逸見は外へ出た。さうして思ひ

柳壇

『脫線』　高橋月南選

子の汽車が脫線する度騷ぎ立て　本溪湖　郡司島星柳
驚の列車脫線させて花と散り　奉天　久澄　勝馬
人好しといはれて呑めば脫線し　撫順　上田　關朗
脫線へ次の電車を寒う待ち
脫線へふと知り合つた國訛り　大連　小熊　笑可
お說教脫線すると御念佛
女房が鼻につく頃脫線し　奉天　前田　白愁
萬歲の脫線客は腹をより　大連　三井のぼる
急ぐ旅氣をくさらする脫線車
○佳　吟
脫線を責めかれる妻痩せて行き　旅順　森　東岳坊
脫線の底に歪んだ天を見る　大連　宇都宮風翠
脫線が二一天作五に來る迂還　奉天　山元　不動
脫線の留守へ靜な子の寢息　大連　桐　孔二
脫線にちと新しい手を覺え　大連　赤井　一村
脫線へ車掌濟まない顏で來る　撫順　上田　關朗
先驅車は脫線をして本望がり　大連　海老　水母
脫線のそこから異ふ夢になり　山海關　吉田　甲子
脫線の話保險屋ちつと聽き　大連　三谷　咄幹
○選者賞
大連市山縣通一四〇　三谷　一伸
君が代に脫線兵の醉ひが醒め
自　句
友情の熱に脫線もろく泣き
脫線車腹の臟物さらけ出し
仲居等の脫線組へ如才なし

歸順

高橋月南選

しほらしく歸順なんどゝ息を入れ　大連　堤　糸柳
歸順して妻子に遇へば虫の息　大連　金子　武夫
朗らかな歸順部隊は雜兵のみ　大連　森田　峰男
歸順後も馬賊根性だけ殘り　山海關　松尾小女郎
歸順將正裝にかへて見違へる
馬賊から官吏になる近い道　敦化　天郎無
歸順してひま過ぎる日がつゞき
歸順して日本料理の膳につき　大連　佐賀　女
歸順する馬賊も急に可愛くなり　新京　今村　榮治
歸順式新滿洲の旗の色　大連　三谷　一伸
頭目の歸順に雜兵ちと弱り
皇軍へ匪賊改心の手を合せ　鞍山　鈴木　年一
歸順して見れば素直な人であり
歸順して明日から鍬をかつぐ肚　大連　宇都宮風翠
公安といふが歸順の馬賊なり
もう食へぬところで歸順申込み　大連　大沼伊都乃
久方に本名を聞く歸順式
心入れ替つて頭目髭を剃り
歸順して哭れたと老の瞳がうるみ　奉天　白髮　豐美
打つだけは打つて豫定の歸順兵　大連　赤井　一村
歸順して飯にありつく嬉しい日
王道がやつと解つて歸順をし　新京　岡田　初郎
爆擊へ頭目一寸かんがへる
歸順してから皇軍の恩を知り　奉天　清水表念坊
士たん場は歸順する氣で掠奪し　大連　淺田　輝坊
降參と言はず支那兵の有難さ
歸順兵金で買はれて馬合はず
頭目も歸順ときめて髮をそり　大石橋　峰松　增男
頭目の淚將軍をまごつかせ　大連　鈴木　博
歸順して始めて婆婆の日に當り
誓文を書く頭目の手は震ひ　山海關　吉田　甲子
歸順して三度の飯に恙がなし
歸順式エキストラの樣に並んで來
歸順して更生の鍬強く振り　大連　山田　初坊
歸順した彼れも支那での勇士なり　奉天　山元　不動
負けて勝つ匪賊今日から官につき
蕃童も洋服を着る御代の春
歸順して今日高樓の春の夢　大連　森崎　佛心
部下のあるうちは歸順を拒んで見
歸順してやつと味ふ人間味　本溪湖　郡司島星柳
歸順した其の夜安堵の高鼾

第十七回　滿日特選碁戰

先　中川新（三段）
竹中幸太郞（初段）

—【2】—

●二一レの四　○二二ヨの五
●二三レの三　○二四ヨの二
●二五レの六　○二六レの二
●二七タの六　○二八ヌの三
●二九タの七　○三〇レの十二
●三一チの五　○三二カの六
●三三ヌの五　○三四ルの三
●三五ワの五　○三六レの八
●三七タの八　○三八レの九
●三九タの九　○四〇タの十

對局者の感想

白曰く　二十八は一路高く（ヌの四）と打ち黑二十九の時三十五と打つのも有ります間は三十とかゝらうと言ふ趣向です

黑曰く　三十三は（レの十）とハサンで行く方がきびしいやうです

新刊紹介

▲無線電話（二月號）ラヂオ受信機の故障と發見法（金澤放送局）簡單な短波長送信機と受信機の作り方（市川健兒）「受信用小型眞空管試驗器」及試作品に就いて（平塚新次郎）出方回路とラウドスピーカーとの結合法に就いて（村松義永）研究欄の研究（一老ファン）S・G・ペントードと其使用法（南城星秀）交流式スーパーの自作を志す方に（T・S・K）ペントード使用の注意（內田博敏）A・C四球セット（三宅康友）誰にも製作出來る電池式D・X四球受信機（石線善一）ペントードを使用した三球受信機（佐藤正典）定價五十錢東京市日本橋區通一丁目一日本無線電話普及會

▲警察協會雜誌（第三一八號）世界の新形勢と亞細亞（滿川龜太郞）我特殊權益發展過程考察（鈴木義雄）滿洲事變と關東廳警備概況（橋本生）滿洲事變秘史（津田寶城）裁判に表れた關東州の思想事件（井關安治）海外犯罪の展望（岡棠川）等（定價三十錢、發行所關東廳警務局內南滿洲警察協會）

▲陸上競技（二月號）定價二十五錢、發行所東京市神田區南神保町一六番地一成社

けふの放送

大連　JQAK　二月十六日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午後六時　ニュース
▲講話（六時三十分）「國體觀念の明徵と皇道の世界的躍進」（第二回）大連天業青年團長豐浦豐（以下內地中繼、七時）
▲獨唱とピアノ（一）獨唱（イ）別れ（アルヴァレス作曲）（ロ）ジプシイの娘（パイジレロ作曲）（二）ピアノ獨奏（イ）六つのドイツ舞曲（シューバート作曲）（ロ）圓舞曲變イ長調（ブラームス作曲）（ハ）スコットランド舞曲（ベートーヴェン作曲、ダルベア編曲）（三）獨唱（イ）朝の歌（レオンカヴァロ作曲）（ロ）カーネシヨン（ヴァルヴエルデ作曲）（ハ）歌劇椿姬さらばこの世（ヴエルデイ作曲）獨唱伊藤敦子、ピアノ獨奏及伴奏ジエームス・ダン
▲河東節（七時三十分）「邯鄲」淨瑠璃山彥不二子、同壽久子、三味線同米子、同ふく子、同幸子
▲浪花節（七時五十分）「佐倉義民傳」桃雲閣呑風（以下大連放送局より八時三十一分）
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

滿洲日報
二月十五日發行
發行人 鈴木 ／ 編輯人 橋本 ／ 印刷人 村上
大連市 滿洲日報社

聯盟遂に和協を放棄
第四項の勸告に移る

殆んど修正を加へず
報告、勸告案採擇
總會は來る廿一日招集

【ジユネーヴ十四日發】勸告案を決定し第四項移行を決すべき十九國委員會は事務局内C室において本日午後三時三十八分開會された

【ジユネーヴ十四日發】十九國委員會は**報告と勸告案の採擇を終り來週火曜日(二十一日)總會を招集**することに決して午後六時三十分散會した

【ジユネーヴ十四日發】本日の十九國委員會は報告と勸告を可決してこれを總會に廻附するに決したが、勸告は起草委員會の原案に殆ど**修正を加へず單に一ケ所順序が變更されたのと勸告に基き今後最後に爲さるべき仕事は日本軍を滿鐵附屬地帶へ撤退せしむる事と、第二段に滿洲新政體の組織を企つべき事を特に強調**されたのであるさ

【ジユネーヴ十四日發】本日の委員會は先づドラモンド總長の九日附書輸に對する松岡代表の十四日附回答を審議し、日本代表部に對し第二次の書輸を通達するに決し、直にその案文を起草し日本代表部に送達の手續を執つた、これより先熱河の情勢が問題となり、議題に上り討議の結果、右第二次書輸中に今後更に情勢を惡化せしむる如きことがあるにおいては和協達成の新努力は更に困難となるべしとの旨を包含せしむるに決した、次いで委員會は九國起草委員會の報告書第四部勸告案の審議に入り極めて些少の修正をなし、更に交渉委員會の構成を左の如く決定した

十九國委員會代表にして交渉委員會參加を希望するもの、但し交渉は多分極東において行はるべきを以て參加國は豫かじめ會議地が極東なるを覺悟することを要す(以下略)

【ジユネーヴ十四日發】十九國委員會は日本の回答を審議した結果、斯かる回答を基礎としては日本妥協案の審議を續行することは不可能なりとし、ドラモンド事務總長をしてその旨書輸の形式を以て午後五時之を松岡代表に通告せしめた、右は總會が第四項手續を完了するまでは第三項による新妥協案が提示さるれば之を審議するも旨を附しあるも之は單なる儀禮に過ぎず、**事實上妥協は聯盟により拋棄された譯である**

日本案は審議し難し
事務總長、松岡代表に通告

【ジユネーヴ十四日發】十九國委員會は今日散會後、左の如き主旨の書輸をドラモンド總長をして松岡代表宛傳達せしめた

御回答の如くにては十九國委員會は**日本妥協案につきこれ以上審議し難し**、但し總會が第四項の手續を完了するまでは和協の扉は閉され居らず、日本からの新妥協案を授受する用意あるべし

【ジユネーヴ十四日發】我妥協案審議拒絶の書輸に接した代表部は松岡、長岡、佐藤の三代表集まり、右につき協議したが、**代表部としては別に新妥協案を提出する意見なく單に之を政府に報告するに止める**こととなつた、從つて東京政府から特に訓令なき限り和協は聯盟の拋棄により茲に全く絶望となつた

委員會コムミユニケ

【ジユネーヴ十四日發】十九國委員會コムミユニケ左の如し

十九國委員會は本日午後會合し先づ二月九日附十九國委員會の書輸に對する日本代表松岡氏の回答を考慮し事務總長が委員會に代り爲すべき回答につき意見の一致を見た、次いで委員會は昨日提議されたる修正草案を檢討し之を採擇した後、和協失敗の場合、第十五條四項に基き總會に勸告すべき報告書の最初の三部を可決した、委員會は次いで勸告案を包含する報告書第四部の第一議會に入り、一部起草上の變更を加へた後、委員會はこれ亦可決した、委員會は次の火曜日(二十一日)總會を招集するに決した、報告書の全正文は多分今週末印刷を了すると共に聯盟國全部に配布し同時に無線電信により聯盟無電局より一切の官設無電局に放送せらる、であらう

松岡代表絶縁的宣言

【東京十五日發至急報】松岡代表は二十五日の總會にて絶縁的宣言をなすと共に直にジユネーヴ出發アメリカ經由歸國の途につくことを請訓し外務省はこれを許可した

【ジユネーヴ十四日發】事務局筋の豫想によれば二十一日の總會は多分議長の經過報告と報告案の吟味位で終る模樣で、此日松岡代表が發言するとせば、第三項の和協交渉が聯盟の義務と信ぜられることを強調し、第四項移行反對を述べる程度と見られる、從つて各國代表の肺腑を抉る歷史的の松岡代表の演說は二十四日に行はるべく二十五日には報告書全部を採擇さ……

東洋問題論議の資格無き聯盟
勸告の一方的處置に出た所以
駐滿日本大使館聲明

【新京特電】混沌として歸趨する處を知らぬ聯盟の鼠賊的情勢を控へ、問題の中心にある新京日本大使館では十四日談話の形式を以て左の如き聲明を發した

一、責任は聯盟にあり

滿洲問題勃發以來我政府は聯盟をして日本の正當なる立場と主張とを認識せしめるため協調的態度を以て今日まで努力を盡して來た、その間聯盟總會、理事會等において、また諸國代表との私的會談において滿洲問題の說明を爲し來り、殊に歷史的及び經濟的の特殊關係を有する滿洲に於て、滿洲蕉軍閥により如何に日本の有する條約上その他正當なる權益が蹂躙され來つたかを述べ、今日の事態を惹き起すに至つたのは必然の結果で、机上の議論を以てこれを左右し得ざること、及び滿洲の現狀維持が極東の平和を確保し日支間の紛爭を解決する唯一の方法であると數百萬言を費して敎へ來つたのである、然るに聯盟は規約第十五條第四項に依り日本の主張と根本的に相容れざる勸告案を作成するに至つたのは頗る遺憾であり事態を今日に至らしめたのは、全く聯盟の責任である

二、歐洲聯盟の爲の聯盟

滿洲に關し何等の知識も利害關係も有しない歐洲諸强國として は、滿洲問題より聯盟の面子を維持し自國の維持と防衛が急務と思考し、また大國としては日本の主張も、また實際上滿洲の現狀をその儘承認せざるを得ざるものと內心考へながら而も聯盟を外交の中樞とする歐洲の特殊事情にひきずられ、小國を押さへ切れず、今回の如き擧に出でたものであらう、從つて聯盟今回の擧は全く眞の極東平和を維持するといふ誠意に基くのではないのである、從つて自らの擁護のための聯盟の行動と極東平和確立のための日本の行動とは根本的に相違してゐるのである、この點からしても聯盟は極東問題を論議する資格はない

三、何故聯盟は今回の一方的措置に出たか

今回聯盟がその本來の使命たる和協を放棄せんとし……作成するの一方的……至つたのは、滿洲……何に議論するも……出來ぬと自認する……が結局かうした……はないかと思考され……の内容として傳へ……日本の主張とは根……ざるもので、日本……し得るものではない……は必至の勢ひであり……日本側の拒否に遭……ら手をひく結果と……として極東問題……と決めた以上、言は……つて了へば可いの……聯盟の勸告書作成……の分野を明確にする……果から見れば東洋……ろ望ましい事であ……

四、滿洲問題は既に解決

滿洲問題は滿洲人……る問題であり滿洲……

國際聯盟を脫退したら……その影響如何(中)

日本が假令聯盟から脫退しても列國が今直に共同して對日經濟封鎖に出でないであらうことは明らかである、ここに一例として、米國が對日經濟封鎖をなさんとする場合を見やう、わが對米貿易は、米國に對しては生絲の輸出、米國からは棉花の輸入を以てその主要部分とする、米國がこの際假令日本生絲の輸入を停止するとは或は可能であらうが、然し米國が日本に對する棉花の輸出を禁止することは、同國內農民の窮乏對策に困窮しきつて居る今日更に農民の窮乏を增大せしめることとなる、これは米國當局者の最も惧れる處であり、明らかになし能はざる所である。かゝる事例は印度の棉花、濠洲の羊毛に於ても同樣である、支那があればこそ滿洲事變、上海事件で日貨排斥に力瘤を入れても出は前年度に比し增加さへ示した現狀は、列國の經濟封鎖の如き戰爭でも勃發しなければいふべくして出來ない相談である、然しこの場合列國が共同して對日戰爭の擧に出でるが如きは既述の如くもとより困難である以上、所謂經濟封鎖の如きは餘り憂慮する必要はない。或は重工業の原料に乏しきわが國が支那、南洋の鑛鐵石輸入の杜絕する場合においては、この時こそ滿洲國の地下に埋藏せる鑛石を開發する時である、然し列國の經濟封鎖がいふべくして行はれ難きものとしても、日本が國際的協調外に置かれる場合には日本の對外貿易は可成大なる打擊を蒙るであらう、卽ち支那は愈々決死的に排日の擧に出づることは明かであらし、米國の日貨輸入稅率引上、印度の綿絲布稅引上は益々露骨となるであらうからである。更に最近わが製品の進出目覺しいバルカン諸國においても、國際聯盟の對日硬化において出しや張り小國がこれら地方にあつただけ、折角獲得した中歐市場を失ふ虞れが多分にある、尤もかゝる場合に於てはわが邦品の輸出が減退するに應じて輸入も必然的に減退せざるを得ず、從つて我が國際貿易の見地からは左程憂慮すべき程でもないとも考へられる。

特別總會は廿一日

【ジユネーヴ十四日發】特別總會は二十一日招集、二日休み更に二十四、五兩日續開し終了する豫定である

三千萬民衆に告ぐ
大日本帝國は正義によつて滿洲國の國基を擁護すべし
武藤軍司令官聲明

【新京特電】最近聯盟における雲行きに對し武藤軍司令官は十五日「三千萬民衆に告ぐ」と題して左の如き聲明書を發した

滿洲建國を告げてまさに二年、舊來の施政概ね革まり復興の施設日に成り都鄙これを謳歌せざるなく、しかして日滿の國交は益々敦厚を加へ、列國また漸く王道建國の眞義を諒解せんとするの情勢に在り、しかるに彼の聯盟は徒らに視察團報告に拘泥し、妄りに滿洲建國の實現を無視し、再び滿洲三千萬の無辜を驅りて死地に臨ましめんとす、わが大日本帝國は素より事を好むものにあらずと雖も、義としてこれを看過すべからず、情としてこれを坐視すべからず、且つわが破邪顯正の國是は千歲不動、東洋平和の念願は確乎不拔なり、勇往邁進、萬難を排除して滿洲の國基と有衆を庇護せんとす、滿洲三千萬民衆夫れ業に安んぜよ(寫眞は武藤軍司令官)

勸告案の不法に憤慨
軍部の態度强硬

【東京十五日發】軍部では勸告案が豫想外に不法なので憤慨し第四項移行後は卽時脫退を決行すべしと强硬態度で殊に

一、勸告案が滿洲國の獨立の事實を否定し、各國不承認原則を說き

一、リツトン報告第九章の十原則を現實を無視し鵜呑みとし居り

一、日本軍の滿鐵附屬地內への撤退を要求

等我が國として容認し得ざる事項を列舉し東洋の事情を認識しやうとせず、却て惡化せんとしてゐると憤慨し、斯くては聯盟脫退の外無く、それに依つてこれ以上の危機を招く惧れは全然ないとしてゐる

重臣會議召集
勸告の對策決定のため

【東京十四日發】政府は聯盟の勸告を受けた場合は直に我態度を決定のため、緊急臨時閣議を開いて慎重協議を決すると共に西園寺公を訪問める筈で、次いで勸告案に關聯し我が示し來るべき……

警察官優遇
內務省で具體案研究

【東京十五日發】あらゆる意味の非常時に直面する重大時機に當り國家の治安維持に當る警官は事件毎に多くの犧牲者を出しつゝあるが、國家として之に報ゆる途は僅かに功勞徽章附與及び加俸其他一時的賞與等に過ぎぬので、內務省では此等重責に任ずる警察官及び消防官吏に對し特に優遇策を講ずる必要を認め目下警保局で具體案を研究中であるが、大體終身年金制と遺族保護制を確立せんとす

鹽務制度を改善
滿洲國の鹽務會議

三、鹽業の整備發達に資すべき保護獎勵の具體的方策

四、官銷制度改善に關する具體的方策、特に購鹽運鹽及び銷鹽方法の改善並びに鹽價及び衡量の統一に關する具體的方策

五、現行の購鹽方法に改正を加ふる等直接にこれを保護しとはその福利を增進すべき具體的方策

六、滿洲國鹽の自給並びに生產力の現狀及び將來における增產見込み、消費力等に關する意見、國外よりの工業原料鹽の需要旺盛なる今日輸出許可を與ふべきや否や輸出許可の場合における國內鹽業及び消費方面の影響並……

縣治令を近く改正

コロムビア、ペルー兩國愈々開戰
レチシア河口問題で

長春縣居住歐米人數

本社警察局長更迭

佐賀氏あす離連

領事會議出席者

ほんこん丸

滿洲國の善政を雄辯に物語る
激増する白系露人の歸化出願者

【新京電話】昨年六月滿洲國政府が歸化法令を發布して以來全滿殊に北滿に在る白系露人の歸化出願者は非常なもので本年一月まで歸化を許したもの二千五百二十五人の多きに達してゐる、なほ滿洲國の善政ぶりが漸次知られて來たので昨今にいたつて歸化希望者が増加の傾向にある、這は新國家の健全なる發達を雄辯に物語るものである

農民救濟に千五百萬圓融資
滿洲國財政部で調査

【新京電話】黑龍江省農民救濟並に農耕資金融通問題は滿京陳情してゐる韓省長の盡力により財政部との間に八百萬圓を中央銀行を通じて貸出さしむることに諒解成立十五日財政部と中央銀行との協議會を開催し最後的決定をなし貸付具體方法を協議することゝなつたなほ財政部では更に吉林、奉天兩省振興基金貸付についても調査を進めてゐるが兩省には計七百萬圓程度を貸出すことになる模樣で黑龍江省の分を合すれば合計千五百萬圓の巨額に上る見込である

國都計畫進み土地拂下げ
三月早々から開始

【新京電話】國都建設計畫も完成し愈々解氷を待つて大々的建築土木事業に着手すべく種々準備を進めてゐる、國都建設局では可及的速かに土地の買收を完了し土地拂下げ並びに貸付準備を整へるため財政部宛一月より六月に至る着工準備金五百萬圓の借入れ方を交渉中であるが遲くも本月中には土地買收を終り三月初め頃より拂下げ貸下げを開始するものと見られてゐる

自動車賣買紛糾
竊盗罪で葛和氏を告訴

市内常盤橋滿洲モータース取締役葛和書雄氏は市内彌生町十番地喜田庄七郎氏から竊盗罪の告訴を大連署に提出され目下司法係吉富警部補の取調を受けてゐる
訴狀によると告訴人喜田氏は昨年十月廿日山縣通宮井誠一郎といふものから新フォード三十二年型トラック一臺のボデー製作を五百五十圓で引受け東公園町二七番地ミカド・ボデー製作所黒川精二氏の工場で製作したところが黒川氏は奥地へ出張したので工場の留守を告訴人喜田氏が引受けてゐると十四日午前十時ころ被告訴人葛和氏とボデー注文者の宮井氏とが内海辯護士を同伴し不法にも前記自動車を奪つて立ち去つたといふのである

不都合な難題
葛和氏語る

右につき葛和書雄氏は語る
問題の自動車は私の商品で一月中旬宮井氏との間に賣買契約が出來て、宮井氏に渡したものですが、宮井氏は某方面の注文を受け、一日も早く製作して先方に渡さねばならぬことゝなつてゐたので、十四日黒川工場にゆき宮井氏は喜田氏に對し、ボデー製作代金五百五十圓は黒川氏に二百圓の債權を持つてゐるから、それを差引きボデー代三百五十圓を支拂つて自動車を持つて行きたいと交渉したが、喜田氏側ではボデー代全額を支拂へといつて肯かず、當方では某方面へ寸刻も早く納める都合からボデー代三百五十圓を内海辯護士に託して自動車を持ち歸り某方面へ納めた次第で、告訴人は債務二百圓を猫ばゝせんがために斯る難題を持ちかけることは昧節柄國賊的行爲であり、次第によつて私の方から名譽毀損の告訴を出す考へです

奉天神社の改稱陳情
關東長官訪問

【奉天電話】奉天神社を滿洲神社に改稱するため武藤關東長官を訪問した粟野地方事務所長一行代表は十四日夜行で歸奉したが十三日は小磯參謀長とも會見し喚願したところ考慮する旨の回答を得一行は市民大會を開催してまでも飽くまで初志の貫徹に努力する決心で關東長官及び軍司令部には右の請願書を提出することゝなつた

奉天都市計畫技術會議開催

【奉天電話】奉天市政公署では第四回大奉天都市計畫技術會議を十六日開き金井總務廳長も列席、最後の都市計畫案を決定、三月の解氷期から事業に着手するが運河新開河等の開鑿及び上下水道瓦斯の敷設を主なるものとし大計畫のラインを決定するものとみられてゐる

恩賜の眞綿

【新京電話】陸軍副官稲富大尉は恩賜の眞綿を捧持して新京に到着

旅順市長認可さる
辯護士兼業は條件附
助役は石田氏起用說

問題の後任市長は十五日朝武藤關東長官の決裁により第一候補米岡規雄氏に認可があつた、尙辯護士兼業の件は事務助手を置き市長の公務に差支へなき條件において承認さるもの、如くである
又市規則中の「報酬ある業務……」の一句に對する解釋は一定の收入ある業務と解し定額收入なき官選辯護士は該規則に抵觸せざるものとの解釋である
なほ助役には石田愛文氏起用の說が有力である

反對意見陳情

十五日午前十時竹中、岡野兩市會議員及細永、澤兩氏の四名は關東廳に出頭し日下内務局長不在のため安永地方課長に面會し米岡市長反對の意見を述べた

滿鐵の案内事務打合會議始まる
午前中廿議題を協議

第八回滿鐵案内事務打合會議第一日は十五日午前九時三十分から社員倶樂部で開かれたが鮮鐵、大阪商船、ビューロー、滿鐵の各代表二十九名參集、山口滿鐵營業課長を議長として議事を進め午前中に二十議題を議了、午後零時半一先づ休憩した、午前中の主なる議題の結果左の如し(鄭眞は會議場)
一、各運輸機關合同にて宣傳隊を組織し全國に勸誘したし
主旨は贊成するが具體的方法は經費の關係もあり別途に研究する
一、日鮮滿周遊券附屬割引區間に朝鮮線內支線追加したし(可決)
一、學校教職員團體中に教職員に非ざる教育關係者が一行を引率同行する場合教職員と同一の割引適用方特認されたし(否決)
一、學生團體に父兄の同伴を認められたし(主客顚倒の恐れあるため否決)
一、鐵道省對滿洲國鐵道各線間連絡運輸に關する件(打合せたし)
一、日鮮滿周遊券所持客滿洲國鐵道利用の場合便宜供與されたし
一、滿洲國主要驛を連絡驛に追加せられたし
以上は滿洲國鐵道が統一されゝば可能のこと故近く實施は可能と思ふ(可決)
一、滿鐵連京急行列車に乘車を希望する團體ある場合承認を得たる後に非ざれば旅行日程決定し得ざるは不便につき改正方要望(現狀通り、急行增結不可能)

運動本部を設けてダンス排撃に猛進
法政學院で方法協議

「醒めよ國民!今は非常時!」のスローガンを掲げて押しよせたダンス狂時代に猛然反對の狼火を上げた大連教化團體聯盟の第一聲に刺戟された滿洲法政學院の學生および同窓會では着々具體的運動に着手しつゝあつたがいよ〳〵十四日午後五時同校門に「ダンス排撃運動本部」の看板を掲げ敢然反對運動の急先鋒として直接運動を起し切迫した「非常時」に拍車をかけることになつた、その第一着手として十四日午後八時より同校講堂に講師、教員並に生徒、同窓生等約五十名集合して運動に對する具體的協議を行つた結果、運動の範圍を擴張し左の如きスローガンを以て全學生一致排撃に猛進することを決議すると同時に實行委員に同校法經科井上、岡田、黒澤他九氏、學生側代表に井上氏を增員し同校講師曾田正彦氏が總指揮官として全運動を統一する事になつた
一、支持せよ、青年學徒の滿洲淨化運動
二、彈壓せよ、有閑階級の亡國的舞戲
なほ實行運動の具體的方法として
一、ポスター、長旗作製
二、運動自衞團組織
三、ダンス排撃演說會開催(二十三日頃)
因に前記實行委員は十五日數班に分れて市內各教化團體、婦人聯合會その他各團體を歷訪して運動の

カフエーを國際的に荒らす
女給部屋專門の怪盜

歸報連鎖街の女給部屋荒し大阪感化院脫出のヨタ者佐山政次郎(二三)に就て小崗子署刑事係ではなほ餘罪が多分にある見込みで十四日も嚴重なる取調べを行つたところ遂に包み切れず次の如く北滿から上海までを荒し廻つてゐた稀代の怪賊であることを自白した
即ち佐山は感化院出所後四月渡滿、一途新京に向ひ新京富士町漢陽旅館に根城を構へ日本橋カフエー、三笠カフエー等から正隆銀行、關東廳、ヤマトホテル等までを荒し贓品を持つてハルビンに飛んで金に替へて豪遊し更にハルビンでカフエー、キヤバレー等で一稼ぎし再び高飛して上海に現れ、ハルビンの贓品を上海でさばき又々上海で荒稼ぎをなし大連に舞ひ戾つて連鎖街を荒し廻つてゐたところを御用になつたものである

建國記念懸賞作品審査

【新京電話】建國一周年記念中央委員會において募集中の各種作品は去る十日其の受付を完了した宣傳ポスター三十六種標語七百二十三種作文二十三點詩二十七點俗謠廿七點記念事業に對する意見書十五通の多數應募があり十三日午前十時より審査委員の手でこれが審査に着手したが應募作品多數のためこれを各項毎に分擔審査を行ふことゝなり十二時半散會した

十五日武藤軍司令官にこれを傳達した右の結果は來る二十六日發表の筈である

柳澤伯奇禍
自動車が衝突

【東京十五日發】貴族院議員伯爵柳澤保惠氏は十四日午後三時貴族院から日本橋方面に所用のため自家用自動車に乘り神田豊島町に差懸つた際前方より疾走し來つた鐵材滿載のトラックと側面衝突をなし伯の自動車は急停車したゝめ書見中の伯は𠮟みを喰つて胸部を強打し疼痛を訴へるため直に芝愛宕町東京病院に入院しレントゲン診察をなしたところ右肋骨二本骨折しゐるを發見し目下自邸で靜養中加療に行けば四、五十日で全治の見込みである

失業船員對策協議會を開く

「日支船員交替要求」のスローガンのもとに海員組合大連支部主催となつて十五日午後六時より海務協會海員集合所において失業船員對策協議會を開き失業船員救濟に關し種々協議をするが、その席で日支船員交替要求の決議を作成、大汽增田社長、阿波共同その他二三の船會社に對し決議文をつきつける筈であるさ

同大ハ教授が軍隊へ慰問金

【新京電話】京都同志社大學教授ハーレット氏は奉天滿洲醫科大學教授前勝正男氏を通じて在滿將兵に金十圓を寄附したが同氏は匿名を希望しなるも軍司令部にては何等かの方法でこれに酬いたいと考究中である

鄭垂氏逝く

【新京電話】滿洲航空株式會社々長滿洲國務總理鄭孝胥氏長男鄭垂氏は十四日滿鐵醫院に入院したが同夜十一時永眠した、死因は急性猩紅熱といふが氏は滿洲建國に鄭孝胥氏の秘書として非常時に際し不拔の努力を拂つた功勞者である(寫眞は鄭垂氏)

登久丸の審判

下關海峽において朝鮮郵船立神丸と衝突した州崎汽船東海汽船所有登久丸(船長吉岡幸衞氏)の海事審判は十五日午前十時より海員審判室において岡本委員長、關根、江原兩委員、木村理事官の下に開かれた、特に今回の審判には我國海事審判界の權威者として知られてゐる吉田研太郎氏の辯論ある筈で立神丸船長もわざ〳〵來連するところあつた

危い!七號系電車
朝夕のラッシュ・アワーに
超滿員の運行警告

朝夕のラッシュアワーに老虎灘方面のサラリーマンや學生が七號電車に殺到、常盤橋停留場は芋の子を洗ふが如く揉み合つて先を爭つて電車に飛び乘る、これがため七號系統の電車は鈴なりに客を滿載して運行しつゝあり危險このうへなしといふ注意申報が市内西公園町派出所から大連署保安係に提出された、よつて同署では十五日午前十一時滿電々鐵課運輸係長永井廉道氏を呼出し斯る超滿員の電車運行は軈て交通事故發生の原因をなすものであるから運轉系統を改めるなり、配車增加を行つて乘客の緩和を計るやう警告を發するところあつたが右につき永井係長は語る
朝夕のラッシュアワーといつても僅か三十分位の混雜で後は平常と殆ど變らぬ狀態に立ち歸りこの僅かの時間に隨分配車も增加してゐるのですが、運び切れないのを遺憾に思つてゐます、お客樣も一電車でも早く歸らうと急がれ車掌の注意を聽かれずに運轉臺に鈴なりに詰込まれる譯です、殊に滿電としては目下のところ車掌、運轉手共に剩なく數日中には約四十名增員の豫定ですからその曉には充分配車の都合もつき乘客の調節がつくことゝ思つてゐます

次の夕刊大衆小說

東天紅
田中純 作
林一三 繪

目下連載中の直木三十五氏作の『滿蒙の戰慄』は、大好評のうちに近く完結するので、次は田中純氏作の『東天紅』を掲載いたします、插畫は林一三氏に委囑し、本紙夕刊紙上に生彩を添へることにしました、その作、その繪は必ずや讀者の期待に背かぬものと信じます

作者の言葉

今度、滿洲日報のために小說を書き始めるに當つて、僕の特に深く愉快に感ずる點が三つあります。
第一は、前作者直木三十五君が、僕の二十年來の親友であり、その傑作「滿蒙の戰慄」の後を承けて、僕が登壇し得るといふことです。同じく貸家に引越すにしても、前住者の素性が知れてれば、何となく安心して引越せるといふもの。僕は、前作者の備へて置いて呉れた舞臺の上で、思ひ切り大膽に踊れるわけです。
第二は、この新聞の配布地滿洲には、僕の少青年時代の友人が多數居住して、現にその新國家のために活躍して居ることです。僕は、毎朝、これらの舊友に呼びかけることによつて、元氣を新にすることが出來ますし、それらの舊友はまた、僕の名を思ひ出すことによつて、幾らかの慰めを得て呉れるでせう。勿論、僕は、それら友人のためにこの小說を書くわけではありませんが、しかし、最初から、讀者との間に深い親和を感じて着筆し得ると云ふ幸福な機會は、僕の一生の中にもさう度々は來ないことでせう。
第三は、この小說が、これ迄夢想さへしなかつた多數の新しい讀者、殊に、新獨立國滿洲の國民諸君によつて讀まれることを期待し得ることです。縷に依つて結ぶものは、また縷によつて別れるかも知れませんが、文に依る交りは永遠に亘ります。それは、魂と魂とを結びつけるからです。僕は、この作品が滿、日兩姉妹國大衆の結合のために、何ほどかの貢献をなし得ることを祈りながら、この縷を絶すことに無上の喜びを感じてゐるます。

【寫眞は田中純氏】

強盗七年求刑

去る一月四日市内西公園町質屋加戸安次郎方へ、越えて七日市内若狭町生花師匠勝木キサエ方を襲うた二セ拳銃強盗出口次男(二七)の公判は十五日午前十時大連地方法院高木裁判長係開廷されたが、立會の高井檢察官は被告に對し懲役七年を求刑した、判決言渡は來る廿一日

林總裁巡視

林滿鐵總裁は十六日午前十時半滿鐵本社出發山崎理事を帶同し鶏山新華工宿舍の視察に赴くが、更に十八日午後はインスペクターカーによつて江崎大連鐵道事務所長東道の下に旅順線の初巡視をなす筈

天然痘を警戒

既報天津より入港の同利號に天然痘患者の發生を見たので豫防の意味で直接臨檢その他で危險にさらされてゐる水上署員及び關係者に對し十五日衞生試驗所より痘苗を取りよせて豫防注射を行つた

戰傷病兵凱旋
二十日朝着連

來る二十日午前七時着列車で約五十名の皇軍の戰傷病勇士が來連凱旋の途に向ふ筈である

醫學學集談例會

大連聖愛醫院醫學集談會二月例會は來る十八日午後四時より同院講堂に於て左の如く開催の筈
一、「ヘパトメガリア・グリゴネーチカ」に就て　川島 勝治
一、血淸學上より見たる日本民族の由來　顯原 基
一、圓價崩落による藥價昂騰に就て　野口 捨三
一、血型と黴毒感受性に就て　濱崎 善男
一、副腎腫瘍に就て(標本供覽)　城野 寛
大槻滿次郎
一、中隔腫の二例　顯原 基

大連神社新年祭

來る二月十七日の大連神社祈年祭には例年の通り大連民政署長幣帛供進使として參向大連市長初め滿鐵總裁其他氏子役員等參列の上午前十時より大祭式に依り祈年祭典を執行するが本祭は本年の五穀豐穰を祈る祭典で農園經營者の參列者も多く莊嚴なる大祭である

靴工場發火

市內吉野町百番地大塚靴店工場より十五日午前六時十分頃發火し同工場天井約一坪を燒失して同七時十分鎭火した原因は煙突の不完全からで損害五圓

救世軍講演會

日本救世軍傳道部長瀨川中佐は十四日ハルピン丸で着連、十五日(水)は午後七時半西廣場救世軍々營で、又十七日(金)は午後七時半沙河口救世軍々營で救靈講演會を催す筈

栃內氏送別會

前廣軍會社專務栃內壬五郎氏は來る二十六日當地を引き揚げ東京に轉住する事となつたので二十二日正午ヤマトホテルに於て送別會を開催する會費三圓當日持參のこと、出席希望者は民政署殖產課(八一一九一四)あて二十日までに申込の事

天氣豫報　十六日
南東の風(曇)
各地溫度　十五日午前十一時
大連 一、奉天 零下六
旅順 四、新京 同一二
營口 零下二、新義州 同 二

けふの小洋相場(正午)
金百圓は 一二六圓七五錢

家庭

受驗する兒童へ（E）

國語

文全體の想を確かり摑む

自分の力を信じて答を書け

＝讀方の＝　最も大切なことはその文全體といふことです決して一つ一つはなれ／＼の語句も文字もありませんことです、その文に最もふさはしい言葉であり文字であるのですからその邊よく／＼考へて文全體の想をしつかりとつかんでかゝるとよいです、從つて文の中の

1、語句の解釋などどうしてもぴつたりしないものは文中はそのまゝにして後へかういふことだとぬき出して書くとよろしい

2、文字の忘れてゐて思ひ出せない時などはゆつくり前後を數回讀んでみてかういふことでなければならぬと考へていくと思ひ出せるもし又誤りとしても少いでせう（そんなにむつかしいのもなからうが）

＝長い文＝　の研究の時は

1、文面が頭の中で繪になり形に見え音や色までちつと考へながら研究するとよい

2、事柄をはつきりとさる所は最も大切なことをなるべく簡單にとらへるとよい

＝漢字の＝　書取りなどはつとめてはつきりと正しく書くやうに。文となつて出てゐる時はその文にきつぱりとあてはまる文字でなければならない

＝短文の＝　練習には文としての形の備はつてゐるものにしなければなりません

×　×

例へば「手早く」といふのに「手早くした」では文にならない「昨日お父さまが奉天へ行かれた、お手紙を書いてゐたのを忘れてゐましたので大急ぎで停車場へ行つて發車しようとしてゐる父の手に手早く濟しました」といふやうに誤りの文か、正しい文かはよく時を考へて靜かにしらべてみませう、過去か現在かまた後のことかを文の中から考へて

＝組合し＝　て一文とするのは心をおちつけてよく讀んで見て正しい文としてのかたちを整へるやうにすることが大切です、先づかうすればと思ふやうに書き連れてみてだん／＼と考へて正しい文にすることです

＝要する＝　にどんな問題に當つても心のおちつきと自分の力を信じてあせらずさわがず一つ一つ確によく考へて正しくはつきりとよく解るやうにやることが必要です（大連嶺前小學校黑澤忠治）

お嫁入りの晴れのお仕度

斯んな點に氣をつける

近　年眼の利いた方々は東京風に日本髪は日本髪の上手な人に着附は着附の上手な人にといふ樣に幾人もの美容師を御仕度におよびになる方が多くなつたやうでございます、これは美しいお嫁樣の姿を一層美しくするために大變結構なことですがこゝに一つ注意しなければならないのは結髪と化粧と着附の調和といふことです

若　し東京風の高島田に關西式の着附をしましたらお髪の方が寂しすぎる感じがしますし、反對に着附は東京風でもお髪が關西風では甚だ垢拔けのしない花嫁姿になりませう、で御參考までに關東風と關西風の特に異つた點を申上げますと先づお髪では東京のは型からふつくらとお上品にたぼもあまり出しませんが關西のは粋向きにたぼもずつと長く根が低目です髪飾りは東京のは根がけなどもあつさりした色合を用ゐべつ甲の花かうがひ一揃ひを挿すだけですが關西のは根がけに紅白の大きなお七がけ（ぜんまい）をかけ花かうがひをさした上兩鬢の前に銀の簪をさします、お化粧もこれに從つて東京のは何處までも處女の若々しさを現すために

紅　や白粉も生地の補ひ程度に用ゐ額や眉もあまりひどくつくらないのが上品とされてゐますが關西ではお人形さんのやうに白く塗つて頬紅も相當濃く、眉や唇もカツキリと額や襟足まで描くのです。これに準じてお着附だけでなく御式服から違つてまゐります關西では模樣もなるべく華やかにほとんど繪模樣といつた樣な振袖が好まれ下着も裾模樣に紋のついたのを用ゐますが、關東ではごく紅白を重ねるのが普通でかざり上流の家庭でも下着は無地の白二重ときまつてゐて三枚重ねの時は白羽二重を二枚重ねます、そして式の時には半襟も無地の白羽二重で飾り襟など用ゐず

色　直しの時になつてはじめて刺繍ものや紅白を用ゐます、今日東京では餘程の豪家でもない限り補襦を用ゐなくなりましたが關西では中以上の家庭でもよく補襦を用ゐてゐます。既にお召物からしてから違ひますから着附も亦當然違つて、東京風の襟元もキツチリと拔衣紋もあまりひどくなく全體をカツチリと引締めるのに對し關西は拔も大きく派手な半襟ひ切り出して全體をゆつくりと着附けるのがよいとされてゐるのです、お母樣方が一通りこの邊のお心持があつた上で適當な美容師をお招きになれば、まるで胴と頭とがバラ／＼になつたやうやうな醜しいことにならなくてすみませう（エンゼル美容院主松下夏子さんの談）

子達への關心

兒童の興行映畫見物は絶對禁止

保護者は子の犠牲者たれ

○…最近までは家庭で映畫觀賞に兒童をつれて行かれる場合は學校でもよいこととしてゐましたが、家庭人が興味をもつ映畫は殆どすべてが兒童に好影響を與へるよりはむしろ見せたくないもの丶方が多く、また不良少年少女になつた原因を調査して見ると多くは映畫に影響をうけてゐるので大連市各小學校でも中等學校と同樣に兒童の興行映畫觀賞を禁ずるとに決定しました

○…然し兒童から絶對に映畫を離してしまふことはできないし、また無理でもあるので出來るだけ奬學會の教育映畫を各學校で映寫することになつてゐます、（勿論現在でも教育映畫は映寫してゐますが）興行映畫館でも兒童に適したものを映寫する場合は學校より保護者に通知することになつてゐますから學校から通知した場合はつれて行つて下されば結構ですが、絶えず自分たち大人の享樂のために兒童を犠牲にして映畫館通行は保護者として絶對に遠慮して戴きたいのです（大連伏見臺淺野校長談）

編みものと毛糸の分量

初心者の心得

何か編んで見やうといふ時初心の人や久しく編棒を握らなかつた人には一寸所要の毛糸の分量が見當つかないものです、同じやうな型の編物でも毛糸の種類、編む人の手加減、寸法等によつて多少毛糸の分量は違ひますが、大體において次の標準で毛糸を求められたら大した過不足はありますまい。先づスウエーターでは大人用約一ポンド半▲婦人用一ポンド乃至一ポンド五オンス▲子供用半ポンド乃至十二オンス▲子供用の洋服が一ポンドから一ポンド半▲婦人用は上衣スカート共で三ポンド前後▲子供帽子二オンス乃至四オンス▲手袋は子供用で三オンスから大人用で半ポンドまで▲靴下は小兒用二オンス▲子供用五オンス▲大人用四オンス▲婦人用十オンス程度▲婦人用のショールは半ポンド前後で出來ます

申すまでもありませんが一ポンドは十六オンスで日本の約百二十匁に當ります。

ミツタンとポンコ　センソウノマキ

橋本清史案並繪（19）

ユウカンナ　ミツタン　アクシユ

[illegible]ヨーブカナア

デンシンバシラノ、カゲカラ、トツセン、アラワレタ、トリウチボウシノヲトコハ、ミツタンニ、テチ、サ[illegible]トメマ[illegible]

ソシテ、チヨツトヨウジガアルカラ、イツシヨニキテクレト、タノミマシタ。ボンコハ、シンパイデ[illegible]

アチラ、コチラト、ヘンナトコロヲトホリヌケテ、ソノヲトコハミツタンチ、ツレテユキマス、ボ[illegible]

オホキナイケノソバマデ、ヤツテキマシタ。ヲトコハイシガケノウヘニ、ノボルト、イシチ一ツヒロ[illegible]ポント、ナゲコミマシタ。[illegible]、オヤ」ナニチスルノカナ・

ガテウ　モ　ソトヘ　ソトヘ

警察から見た子供

＝子を持つ世の親に與ふ＝（上）

石井金三郎

天與もあらうが子供といふものゝ純眞は恰も植木屋が盆栽を手入する樣に後天的環境の力で如何樣にも作りあげる事が出來る、若しその矯め方に無理があり、不自然があり、情味がなかつたらその天眞爛漫なスク／＼とした純眞性は失はれ、恐るべき慣習は第二の天性を形づくつて恥の子として取返しのつかぬものとなるのである。

……◇……

思ふに家族的事情は色々異るであらうが子供の生活を理解して遣らねばならぬ、一例を擧げて見ると世の中には往々子供に活動寫眞を觀せては惡いといふことを理由に子供に留守居をさせて置いて夫婦連れで出掛けるといふことも屢々聞かされるところであるが、子供の好奇心は大人以上である、從つて觀せられないもの程子供は觀たがるものであるのみならず、兩親が出掛けて留守居をさせられる事は女中とか姉妹も居るであらうが聞くだに可哀想な程淋しさを感ずることであらう、若し子供を思ふものならば兩親も共に家にあつてお伽噺でもするとか、或は童謠を合唱するとか、乃至は時局的常識の話をしてやるとかいふ樣に子供の心理を理解してやることはどれだけ子供を喜ばせることであらう、假にそれが何等淋しさを感じない程度に慣れて居るにしても其處に兩親との間に精神的離隔を生じ、父母の親みから遠ざかつて行くのではなからうか、すべてとはいはぬが子供が肉親を慕はぬ樣になるところに不良兒の發生を見るとは不思議でない、卽ち冷やかな家庭から善良兒の出た例は比較的稀である。

……◇……

今これを單なる交通警察といふ點から見ても子供の公德觀念を通して其の家庭が窺はれる、家庭に於て道路は歩道を歩むに左を、車道を横ぎるには左右と前方を注意して敏速にと指導することは、本人の交通事故より生ずる危害より救ふ手段としても必要であるが、知らず識らず交通道德觀念を育むことゝもなる、又家庭生活に就いて見るも朝夕神佛を禮拜する習慣を養ふことは形式的であつても小さい時から躾て置くことは祖先崇拜の念と國體に關する強い意識を培ふことゝもなり家庭卽ち祖先の家に執着するてふ感情は精神的に子供を純化するものである、此の點滿洲の如き外地に於ては其の荒廢を憂慮せしむるものがある、彼の共産主義者等の所謂宗教は阿片なりと稱し人間界以外に存在する偉大なる造化の力卽ち神佛を否定せんとし何事も物質文明にのみ囚して行くとを考へた時家庭に於ける躾は溫かい親心を以て導くものがなくてはならぬ、其處に犯罪といふもの、發生を豫防し得る絶大な魅力があるのである。

……◇……

不良兒の家庭を調べて見ると何れも申合せた樣に兒童に關する理解と躾が缺けて居る、家庭が紊亂して居るとか、無宗教であるとか冷淡であるとか、一として家庭の溫か味がない、此處大連に在りても陽氣になるに隨ひ子を持つ親の注意をせなくてはならぬことは子供がよく友人から貰つたとか、或は先生から貰つたと稱して友人の物をゴマ化して持歸る場合、學校歸り勤め先乃至は使ひから歸途不良兒に誘惑されて居る場合がある故に家で買つて與へないものを持つて居る時、又は平日の時間よりも遲れて歸つた時などは連絡を取つて十分に詮索をすることが肝心である、しかし決して虐待してはならぬ、その詮索することが子供の爲には一時的不名譽であつても永久に生かす爲には[illegible]にも懇切な指導を忘れてはならぬ。

松山本社長の招待會

本紙家庭欄並に日曜附錄に對して特に多大の好意と指導と援助と便宜を與へられてゐる寄稿家、顧問一般教育關係者の招待會が松山本社長の主催で去る十日午後六時から電氣遊園内登瀛閣に於て開かれましたが記念撮影の後松山社長の謝辭、岡田羽衣校長、唐澤準吉氏小野實雄氏、、石森延男氏、山田健二氏、伊佐逸子氏の挨拶や感想談等があり主客和氣靄々裡に歡を共にし午後九時散會しました當日の列席者は次の諸氏です

辻慶太郎、土井三郎、森本[illegible]助、岩男其二郎、金子甚藏[illegible]澤準吉、三根辰一、村井榮[illegible]細萱庫三、樋口光雄、岡内[illegible]島田道隆、寺島由松、小野[illegible]石森延男、山田健二、伊佐[illegible]濱田さり子、川井榮子、岡[illegible]子、八木橋雄次郎、坂東久[illegible]伊尾外次郎、細川東治郎、[illegible]榮次郎、桐畑綾子の諸氏で、本社側よりは松山社長、細野編輯局長、[illegible]外交部長、佐藤編輯局幹事[illegible]笠原、島田、西村、安武、[illegible]の編輯局員が出席し非常な盛[illegible]

滿日各地版

アンチ・ダンス運動 奉天にも飛火
街頭には「ダンス爆滅」のビラ 氣味惡い事件頻々

【奉天】ダンス熱は何處へ行く？天井知らずにぐん／＼昂揚するダンス熱の氷織柱、ダンスホールの續出、ダンサー群の洪水に奉天はいまやダンス熱の氾濫にむせかへり、ヂヤズとステップの狂亂にたゞれきつた、そのトタン、大連に捲き起つたアンチダンス熱が俄然奉天に飛火し奉天ダンス界に異常な混亂とセンセイシヨンを捲き起した、奉天市内の要所々々には「國家非常時に際しダンスするとは何事か」とか「亡國狂ダンスを爆滅せよ」など、緊張したビラが物々しく貼りまはされ、街行く人々の視線を惹きつけてゐる、なほ十三日夜十時頃ヂヤズとステップがまさに最高調の狂亂を續けてゐた某ダンスホールに「亡國民ダンス狂を〇〇せよ」と記した極端な不穩ビラを投げこんだものがありダンスファンに非常な恐怖を與へ當業者を極度に狼狽せしめた、また同夜市内八幡町に住む某夫人が明星ダンスホールを出て洋車にて歸途についたところ跡をつけて來た怪漢が石を投げつけたが、レツキとした令夫人のダンス狂態に反感をもつたものゝ仕業と見られてゐる

撫順區公費豫算 三十八萬四千七百餘圓
地方委員會で議了

【撫順】昭和八年度撫順區公費豫算附議の地方委員會は十三日午後一時から中央事務所會議室において開會、寺西議長外出席委員十五名炭礦側よりは宮澤庶務課長伊藤地方係主任濱田、安武事務員等出席、宮澤庶務課長より八年度豫算編成の概要に關する說明あり歳入歳出各費目につき安武係事務員の說明を聽取しつゝ逐一審議したが別に取上ぐべき質問もなく一瀉千里で進行し二時間五十分第一讀會を終り本會を閉ぢて座談會に移つた、尙豫算費目內容は左表の通りであるが、總豫算額三十八萬四千七百十七圓で前年度より三萬六百二十四圓の膨脹を見てゐる、而して右は歳入に於ては本社よりの補給金の增加約二萬二千圓、土木費約三萬三千圓、社會事業費約三萬七千圓增され戶數割は減じゐるも手數料諸口收入は概ね右同額の增收を見、歳出に於ては東七條校新規計上による教育費の增加が計上されてゐるためであるが、戶數割は總額六萬千三百三十三圓にして前年より四千百七圓一戶當り約一圓方の減となつてゐる（△印減）

歳入之部

費目	豫算額	前年比較
戶數割	六一,三三三	△四,一〇七
雜種割	三一,一一三	△三,九三四
手數料	三三,三三六	一一,一三九
諸口收入	一三,一七〇	一三,〇一三
補給金	二四六,七七四	三三,一一四
計	三八四,七一七	三〇,六二四

歳出之部

費目	豫算額	前年比較
總係費	四一,九二一	一四四
會議費	五五〇	△一九
土木費	六六,九〇六	三二,一三六
教育費	一三〇,六三一	三一,〇一七
圖書館費	一一,六三〇	四四六
衞生費	六六,三三〇	△三,九三三
警備費	三三,一四五	一,二〇七
公園費	九,七〇九	一,〇二一
社會事業費	三三,四六八	三七,〇〇〇
墓地火葬場費	三,六〇五	△三一
屠畜場費	一,九九一	△一四五
補助費	四四〇	一
諸支出	三一〇	△四五
豫備費	三,〇〇〇	一
經常部計	三八三,四一七	二九,三二四
警備費	一,〇〇〇	一,〇〇〇
墓地火葬場費	三〇〇	三〇〇
臨時部計	一,三〇〇	一,三〇〇
歳出合計	三八四,七一七	三〇,六二四

年が若くて何れも働き盛り
無料宿泊所の宿泊人

【奉天】日本總領事館の橫にルンペンの雨宿りとして居留民會が無料宿泊所の看板を揭げてから約二旬、毎日十七、八名のものが集まつて來るが、そのうち五、六名は日本人で他は朝鮮人である、年齡は二十二歲頃から三十二、三歲の靑年連で、勞働には堪へられる體格の持主ばかり、中にはインテリも二、三まじつてゐるが、どうしてルンペンとなつたかについては矢張り滿洲景氣とゴールドラッシユで元氣に渡滿して來たが、見ると噂とは雲泥の差に今更歸國もできぬ苦しまぎれで何かよいことは？との一縷の望みから滯留してゐる者が大部分である、然し其の日が喰へないといふ程度ではあるも小使錢の二、三圓は懷にしてゐるので先づ其の錢のある間は働くといふより何か就職口を見出さうといふ傾向のものばかりである、これからは益々こうしたものが增加することだらう

鞍中の卒業式
二十日擧行

【鞍山】鞍山中學校の昭和七年度卒業式は來る二十日午前十時から講堂に於て擧行せらるゝが今回卒業生は當初入學九十三名中途中退學、轉校等三十一名あり結局六十二名の卒業であるが、今年卒業生中上級學校入學志望者は左の如し

高等學校六、高商五、奉天醫大三、京城大學豫科三、大連工專五、旅順工大豫科三、齒醫專四、藥專四、高農林二、外語校一、京城醫專一、士官一、神宮皇學一、日露協會一、明大一、日大一、橫濱商專一、鐵教習一、合計四十四名

右上級學校志望以外の卒業生十八名は卒業後直に實社會の實務に就くべく豫想されて居るが毎年一、二名宛增加し來つたのが本年は一時七、八名の增加を見せ上級學校入學許可以前に斯く多數實務に就く者のあることは同校としては最初であると當局は語つて居た

同胞避難者 既に千人に達す
撫順縣下の近況

【撫順】昨春五月避難鮮人の原住地歸還實施後も撫順には一千餘人の避難民が止まり生活に窮してゐたゝめ撫順警察署では鮮人民會と協力して炭礦其他に交涉勞働先を斡旋し漸く今日に及んでゐるが、東邊道に再度匪賊が橫行し始めたのと收穫完了した奧地鮮人は最近再び安全地帶を求めて當撫順に避難し來る者漸く多く既に約千人を數へてゐるが、今回奉天領事館員の實地調査したところに依れば撫順附近の避難鮮人總數五百四十二戶二千九百人に及びうち百五十一戶八百七十三人は前移住地に歸還し得るも他の三百九十一戶二千廿七人は新に移住地斡旋を要すると

伊東大尉赴任

【鞍山】鞍山中學校配屬將校伊東大尉は今回關東軍附を命ぜられ十四日午後一時五十分發急行車にて中學校敎諭並に生徒多數の見送りを受け新京に赴任した

金州南山戰蹟の道案內近く實現
民政署で目下計畫中

【金州】日露役激戰地として有名である金州、南山は鋒を納めて既に卅年、今なほ堡壘、塹壕歷然として轉當時を追憶して感慨新たなるものあるがこの靈地を訪れるもの近年頓に增加し殊に戰略上の參考研究地として兵籍關係者の見學は勿論貴き御身を以て御足跡を殘さるゝことも再三ならぬのに從來戰蹟に對する道しるべの設備充分ならずために登山者間に不平を稱ふるものも續出する有樣でこの點非常に遺憾とする處であつたが民政署においてこれが實現を圖るべく大和田署長指揮の下に着々と計畫を進めてゐるから近く說明付の指導標が所々に現れることゝなるであらう

分水沙河間各驛長會議

【鞍山】滿鐵本線分水沙河間の各驛長業務打合會は十四日午後一時半から鞍山驛貴賓室に於て開催せられ古川奉天鐵道事務所長も出席し種々重要事項を協議したる後柳町橋家に於て午後六時から守備隊上田大隊長を始め幹部を招待し懇親宴を張つた

コソ泥頻出
奉天の警戒網にかゝつた 玄關探し、石炭詐欺

【奉天】近頃頻發する玄關探し、石炭詐欺等の犯人が奉天署の警戒網に引掛つて左の如く逮捕されたが一般市民も一寸の不注意から思はぬ盜難にかかることがよくあるのでこの際特に注意して貰ひたいと

◇

湖北省生れ奉天保安堡居住前科一犯楊延寶（二五）は昨年十二月七日から一月廿日に至る間市內各所で自轉車十三臺を竊取し之を北市場、工業區方面に持ち行き一臺三圓乃至八圓で賣却してゐたが去る十二日靑葉町一番地先で擧動不審者として檢擧され嚴重取調べの結果右の犯行を逐一自白した

◇

十三日午後四時半頃奉天驛三等待合室に於て滿人張典沛（四六）の所持する羅紗蒲團外四點價格廿圓が何者かに竊取されたが屆出により驛取締り警官は附近を搜査中前記竊盜品を洋車につみ逃走せんとする處を逮捕したこ奴は鞍山居住苦力周百名（二九）と稱する啞者であると

◇

靑葉町十五番地先に於て長さ一間の丸太棒をかつぎ逃走する怪しい滿人を十四日午前五時半安田巡查が追跡し格鬪の上逮捕したが彼は南市場居住無職刁玉秀（二三）と稱し竊盜常習犯である

◇

河北省生れ皇姑屯居住荷馬車夫玉國和（三二）は榮軍屯製糖會社附近に惡質の石炭を置き注文を受けて良質の石炭を運搬の途中惡質石炭と半分入れ換へ數回に亘り詐欺を働いてゐたが十三日鐵西貯炭場附近に於て逮捕された目下嚴重取調中であるがこれまでの被害額は實に三十餘噸の多きに達してゐると

◇

十三日奉天三等待合室に於て吉林省大伯家居住李全有（二〇）の懷中より大洋二十六元を掏り取らんとした滿人あり直に現行犯として逮捕されたが彼は山東省生れ林城縣大東邊門外居住無職趙貴林（二六）と稱し掏摸の常習犯である

畏し在鄕軍人に恩賜品を御下賜
各分會に傳達式

【鞍山】滿洲事變勃發以來警備に時局處置に特別の奉公をなした滿洲在住の在鄕軍人に對し、畏くも陛下には厚き御思召を以て恩賜品を御下賜相成り鞍山支部長上田中佐は十四日午前十時本溪湖、蘇家屯、遼陽、鞍山の各分會に對し謹みて傳達する所あり各代表は感激して拜受し夫々傳達式を行つた

一度歸順の劉景文 かくして逃走した
本溪湖で模樣を聞く（一）

【本溪湖】昨年末岫巖の匪賊討伐隊に參加して、頭目劉景文を相手に砲火を交ゆることと數度、赫々たる功名をもたらした本溪湖守備隊の山本中尉及び其の後を更替して治安の維持と政治工作に顯著な治蹟を止どめて凱旋した齋藤中尉とが、久々に顏を合はせ守備隊のベストメムバーは珍しく揃つたので、その實情、苦心等を叩くべく守備隊に訪問した、雪に包まれた神社を右手に拜しながら坂を上れば、陽は既に春の訪れをかすかに匂はせてゐるが雪を渡つて來る風は却々に冷たい、山本中尉も齋藤中尉もそれに野坂守備隊長も折よく居合せて、ストーヴのほとりに先づ山本中尉は、其の精悍な面貌を稍に紅潮させながら當時の模樣を髣髴として偲びつゝ語つた、其の經緯はこうだ。

◇◇

黃海は白く凍つて濱打際はひろく／＼と擴がつてゐた、海岸に近い街道は鴨綠江の河々、大東溝から大洋河口の大孤山、靑堆子、莊河等の都邑をつないで更に大孤山、北上して岫巖にながれてゐる、此の岫巖に我が天野〇團は海城から途中匪賊を掃蕩しつゝ肅々として進軍し、十二月十六日遂に岫巖に入つた、山本中尉の率ゆる〇〇名は隈崎部隊に編入されて此の討匪軍に參加してゐる。

劉景文は果して砲火を布いて皇軍に抗戰するであらうか？或は岫巖城の門を開いて歸順を示すであらうか？此の何れかの途を彼は採るであらうといふことは我將士の期してゐた所であつた然るに彼は此の二途何れも採らず、逸早く逃亡して皇軍が入つた時には、最早その影だになかつた

◇◇

翌日天野〇團は隈崎部隊を殘して大孤山方面に進發した、その時天野〇團長は、隈崎隊長に向つて「劉景文は必ず來る、岫巖城を守るためには一個〇隊と大砲とが絕對に必要である、そのことは早速具申しておくが、充分に氣をつけるがよい」と云ひ殘して出發した。

劉景文は家禮教を信じて、彼が公安局長時代には、役所の庭に祀を祭つてゐた位で且つ頗る迷信家で、何時も八卦見をつれて步いてゐた位であつた、彼は二十日が岫巖奪取に大吉日なので二十日には來襲するといふ報告があつたので、隈崎部隊は防備を嚴にしてゐたが、劉景文は遂に姿を見せなかつた、然るに二十二日の未明、俄然彼は襲擊して來たり、早くも市中に三百名程這入りこみ、山中には七八百屯して形勢をうかゞつてゐた。夜がほの／＼明くる頃彼我の距離は三十米突位接近し、我軍は城壁の上より、敵は附近の家屋に入りこんで、窓や小穴から狙ひ討ちをやつてゐたが、その中勇敢なる我が兵は屋根を傳つて敵の眞上に出て、これに手榴彈を投じ、殊に山本中尉の部下の杉浦上等兵の如きは猿の如く屋根から屋根を飛んで、頑强なる敵に手榴彈を投じて敵を潰滅し、又芹澤上等兵は壁から壁をくり拔いて突貫していつた、こゝには、流石の匪賊もその勇猛振りに怯えてしまつた、一たび浮き足立てば最早支ふる力はなく、匪賊は算を亂して潰走してしまつた。

◇◇

我が軍の負傷は僅か芹澤上等兵一名のみで、敵は逃ぐる奴は全部射殺され、輕機關銃三臺、捕虜九名といふ成績で期せずして凱歌は、凍てついた空氣を搖るがして岫巖城頭に高く揚がつた。（つゞく）

滿洲に來た駄賃 戀人と大金
別府に駈落して御用

【奉天】滿洲に來たお土產に戀人と大金を失敬して歸國し春のやうな暖かい愛の巢を營んでゐる處を御用……大分縣別府市生れ山本勘一（二九）は昨年の春靑雲の志を以て來奉し市內住吉町四番地滿洲國官吏柴田一郎（假名）方に寄寓し就職のため奔走してゐたが適當な職に就くことは不可能であちらこちらをブラ／＼してゐる中橋立町十三番地江川久子（二二）＝假名＝と戀仲となり末は夫婦と契つたが奉天ではとても一緒になれる見込みがないので惡心を起し寄寓してゐる柴田方の金二千四百餘圓を竊ひ久子と手に手を取つて何處にか驅落したので八方に手配搜査中十四日別府に於て逮捕された旨奉天署に入電があつた身柄は直に奉天に護送されて來る筈であるがそれとは知らぬ久子は今更の如く竊盜犯との戀から目醒めて悲嘆の淚を流してゐると

大石橋の伊達農園全燒

【大石橋】十三日午前五時半大石橋鐵西伊達農園母屋より出火、建坪廿坪、トタン葺煉瓦建平屋一棟全燒し一物も取出し得ず現金二千餘圓なも灰燼に歸し衣類家具一切五千餘圓の損害を蒙つたが人畜に死傷なかりしは不幸中の幸ひである、ストーヴ煙筒より屋根板に燃え移りまたゝく間に火の手に包まれたものらしいが、地方事務所のサイレンと共に消防隊の活動は開始され警察に於ては非常招集の上時を移さず三浦署長の指揮下に現場に馳せ付け守備隊よりは早田少尉の指揮にて兵士〇〇名現場の警戒に任じた、憲兵隊江口伍長は下山上等兵帶同共に警備に任じたが農園は驛西方五百米突の地點にして水道の便無く附近河沼結氷したる故消火の道なく消防隊員の辛勞甚だしく然れども午前七時家一棟のみにて鎭火したるが離れ一軒家の事とて一物も持ち出し得なかつたものである

林憲兵大尉

【四平街】當地憲兵分隊長として二ケ年有半の在任中偶々滿洲事變に遭遇し、當地方の治安維持に全力を傾注して赫々たる偉勳と大なる足跡を殘した憲兵大尉林淸氏は既報の如く十三日午前十時五十五分發の三一列車にて單身ハルビン赴任の途に就いたが、驛頭には四平街の恩人の最後の別れを告げんものと早刻より雲集した山添市民協會長、山岸地方事務所長、飯島警察署長、佐藤在鄕軍人分會長等々多數官民有志を首め各階級の人、人、人の渦で埋め盡され數百名に垂んとする近來稀有の人出にて殊に紅卍會員を初め多數の滿人が人目を引いたが定刻汽笛一聲と共に列車が靜かにホームを滑り出すや期せずして市民の贐は下り感謝の熱情を罩めた瞳が氏の偉勳を偲ぶが如く去り行く列車をみつめてゐた

撫順政治工作

【撫順】撫順縣第三期掃匪政治工作班は省公署囑託外事科長、園田縣副參事、立田指導官外陳大隊長以下三十名を以て組織向ふ一週間の豫定で縣下第二區會元堡連刀灣地方を皮切りに順次第三區前田子、下章黨、公家寨子地方、第四區鶯嘴下哈達各地方の工作を實施する筈と

ダンスホール開業

【關原】關原會館は新にダンスホール開業を出願中であつたが二月十五日開業の許可を得たので十五日開業披露のため官民數十名を招待すべく案內狀を發したが遲れ馳せながら關原の村にも踊る時代が來たと村雀は囁き合つて居る

沿線往來

▲林關東廳警務局長 十三日夜歸旅
▲森本同警務課長 同上
▲信田成氏（前東北憲兵司令部偵緝處長）北平より來奉馬路灣居住
▲久下沼關東廳監察官 同上
▲井上關東廳警部 十三日歸旅
▲十三日着任した鞍山守備隊第六大隊附米川大尉は十四日成友大尉東道のもとに鞍山各方面を歷訪して着任の挨拶をなした

會と催し

●醫學會撫順支部例會【撫順】滿洲醫學會撫順支部二月例會は十六日午後三時半より滿鐵病院に於て左の通り開催

一、「ケステルナマグナ」穿刺の臨床的應用と其の技術　韓　岡志
二、「マググロン」の使用例に就て　桂　七郎
三、丹毒に就て　鈴木　修一
四、支那人頭部毛瘡の研究　竹谷　精一
五、「トロパコカイン」腰椎麻醉時に於ける呼吸中樞麻痺死因說の臨床的疑義　下妻堅太郎

各地片々

◇奉天　遼中縣から十四日來奉した某邦人の語るところによると日本人が遼中縣にはいつて來ると片端から警察の手により拘禁するので日本人は非常に困つてゐるといはれてゐるが、原因は阿片密賣人ではないかとの嫌疑で拘引するのであると

◇鞍山　鞍山警察署保安係に現在提出せられて居る料理店、カフエー、ダンスホール、飲食店等の取締營業許可願は約三十件に及び愈々認可が發表せられたら提出するからと內々諒解を求め來つた向を加へると六十件に達して居るが之等は何れも昭和製鋼所事業着手を目當に鞍山に進出するものと觀られて居るが當局では愼重に考慮中であると

◇熊岳城　蓋平城內成和公司笹山卯三郎商店にては城內唯一の西洋諸雜貨其他雜貨品一式の販賣をなし田舍には珍らしき店舗を構へて居るが今回城內の滿洲人間に電氣智識を普及する意味に於て各種各樣の電氣諸器具を陳列し店頭より屋上にかけイルミネーシヨンを點じ月夜を幸ひ各種仕掛け花火數百發を打上げたに城內外は勿論村落よりも約三千に上る觀衆來集非常なる盛況を極めた

◇撫順　撫順署江見巡查は今回の高等科生筆記試驗に及第二十日口頭試驗を受くる由

◇撫順　當地和泉吳服店主和泉辰五郎氏の老父母は恰も本年を以て結婚五十年金婚式を迎へたので同家では十七日午後五時から親戚知己多數を山陽樓に招待自祝の宴を張ると

◇鞍山　鞍山小學校幼稚園に本年度入園適齡兒は二百五十名であるが、定員百二十名に對し十四日までの申込數に於て既に超員してゐるが入園は抽籤により定められる由なれば期限十九日までに至急申込まれたしと

旅順放送

▲新任關東廳海務局理事官澁谷末吉氏は十四日各方面歷訪新任の挨拶を爲した
▲奉天に於ける奉天憲兵隊區署範圍內に於ける憲警會議に出席中の森本警務課長は十四日朝歸任した
▲金井新任保安課長は十七日頃から關東廳にて執務すると
▲關東廳警務課監督官室は同室を金井保安課長に讓り十三日階下財務局長應接室に移つた
▲支那料理店方面の張店制度は數年前改められ現制度の如く僅かな小窓のみを以て今日に至つたがその筋では規則上現在の如きでは尙弊害が伴ふとの見地から大連同樣全部寫眞を以て認識せしめる樣にしたいとの意向で近く當業者と打合せを爲す筈であると
▲千歲町一八大場周三氏方では一日三男治君が出生
▲赤羽町六坂門逸雄氏方では七日長女淳子孃が同上
▲三里橋明石富二氏方では一日二男浩君が同上
▲鯖江町六川原サキ（五六）さんは十一日腦溢血の爲め死亡

社説 滿鐵增資案の決定

滿鐵增資案は、かれて大藏省にて審査中であつたが、會社申請通り認可と決定し、不日議會に關係法律案提出の運びに至る可く、確定を見るも遠からざることゝ思はる。增資は三億六千萬圓で總資本八億圓となるのだが、此事は既に早くから一般に知れ渡つてゐたのだから、今更問題となる可き何物もない。抑も我滿鐵が、帝國の滿蒙政策遂行の使命を帶びて生れた者たるは云ふまでもなく、滿蒙政策の内容が如何なるものであるかは別論として、政府と共力して、その政策遂行の任務を果す可き目的を有する。國策會社だとか、營利會社だとかの議論も時に行はれたが、それは何れを重要視すべきかの問題で、全然、一方が他方を排すべきものではない。帝國の政策を忘るべからざるは勿論で、同時に營利をも等閑に附してはならぬ。それは會社の資本が、官民の折半である事からも、首腦部機關が政府の任命による事、並に株主に對する利益配當の規定がある點から見て當然の事だ。

◇

滿鐵は創立以來、幾多の變遷あるも、時の政府の滿蒙政策を助けて來た事に變りはなく、絶えず滿蒙の研究開發と日滿關係の接着に努力して、その使命を完くして來た。而して一昨年九月十八日柳條溝事件突發して以來、多年蓄積し來つた實力を傾けて國策の遂行に協力した。此處に實力といふのは、資本、人材、調査、現業等其他會社の有形無形の全能力を總稱するものである。事件發生以來の帝國の努力は中央部と一般國民の方面は姑く措き、滿蒙に於ける軍部の活動を根幹と爲すものであるは云ふまでもないが、その兩翼たるものはジユネーヴにおける代表部と、滿洲における滿鐵とであつた。而して滿鐵が此の活躍をあるを得たのは多年蓄積した實力の賜であつた。

◇

滿蒙は獨立して新國家となり全然面目を一新した。日本の滿蒙政策は同時に躍進の一期を劃せねばならぬ時期に達した。日滿の關係は從來よりも密接の度を增し、日滿議定書など交換されて共存共榮の實現に着手された。此時に當りて滿鐵會社が、その生存目的を遂行せんが爲めには、亦面目を一新して滿蒙の新事態に適應せねばならぬ。時に或は、滿鐵の從來の仕事の中政治に屬す可き部分を分離し、規模を縮小すべしとの說がないでもなかつたが、事情は斯くの如きを許さぬ。假令或る政治事務は之れを分離する事あるも、爲めに滿鐵の政策的性質は變更さるべきものでもなく、規模が縮小さるべきものでもない。事務は益々擴大し愈々複雜になるから、その規模は益々擴大されねばならぬ事は自然の趨勢である。長袖善く舞ふの古諺の通り、此事情に應ずるには增資を必要と爲すは當然であつて、今度の增資問題はスラ〳〵と決定した。

◇

只併しながら、長袖善く舞ふとは云ふものゝ、若しそれに相當する舞臺と技術とがなければ、長袖は用を爲さゞるのみならず、却て跳舞を醜惡化する。今度の增資はそれだけ袖が長くなつたので、舞臺も相當に改造された。殘る所の問題は技術だけである。吾人は現登場者の技術が、此の改造された舞臺上に此の長くなつた袖を振り廻すに十分なるを信ずる。增資に依る資金は八年度以降の新規事業の資金に充當さるゝものであるが、吾人は滿鐵今後の新事態に應ずる活躍を刮目して看んと欲する。

奉天の工業用地は滿鐵不買收に決定
思惑買占地主弱る

奉天驛西の工業用地問題は一方は擴張豫定地を買占めた地主側と、他方は土地貸下希望の企業者側との間に種々なる問題を發生し各方面の注意を惹いてゐたが、滿鐵は一切買收せざる方針をとり、驛西土地およびその隣接地を一括して滿洲國側と協力して施設することに決定、滿洲國側で目下土地收用その他の準備を急いでゐるので、近く兩者の打合せを行つて發表することゝなつた、この結果思惑筋は完全に見込違ひを生ずることゝなつたが、滿鐵および滿洲國側では出來るだけ早く將來の經營に關する細目の打合せを終へ、更に滿洲國統制經濟の根本方針に照して滿洲國實業部、關東廳、滿鐵商工課その他とも協議して工業の種目、企業家等の選擇をなして三月中には發表すべく、解氷期匆々工事着手に充分間に合ふ豫定である

移民部の初會議

【新京電話】從來滿洲における内地人移民の事務は拓務省小河書記官外數名の出張員が軍部特に特務部の絶大な援助の下に取扱つて來たが一方既に百萬に垂んとする在滿鮮人の保護、指導及今後更に增加せんとする新移住鮮人の取扱ひの極めて重要なるに鑑み朝鮮總督府では昨冬大使館内に堂本事務官以下數名を派遣し調査研究中であるが、本事業は種々困難なる條件下に置かれ關東軍部援護の下に各關係機關が互に連絡協調を保ちつゝこの實行に當つてゐたが、今後一層圓滑に且つ有效にその目的貫徹を期するため關係官廳において協議の結果、關東軍特務部に拓務省、朝鮮總督府、大使館、總領事館、關東廳及び軍部の職員を打つて一丸とする移民部が編成され梅谷光貞氏を部長とし總務係長に横山大佐、内地人係長に小河書記官、鮮人係長に堂本事務官が夫々任命され十三日午前十一時から新京ヤマトホテルにおいて顏合せを兼ね事務打合せを行つた

鮮農移住は東邊道が最適地
吳副領事の視察談

【奉天電話】奉天總領事館吳副領事は約三週間の豫定を以て龍井村から局子街その他間島一帶を視察し敦化より吉林に出て十五日歸奉したが同地方の鮮人の心境につき語る

事變以來 間島一帶の鮮人居住者は領事館と軍の保護下に治安は完全に維持され約四十萬の居住者は舊軍閥時代の排鮮壓迫から逃れ安心して生活が出來るので非常に喜んでゐる、鮮匪共產黨一味と善良なる鮮人との區別がはつきりして來たのは善良なるものにとつて一番幸福である、共產黨分子は何れも間島北方の山岳地帶に逃げ込み山間に巢窟を造つて生活し時々村落に奇襲して來るが、その時には合圖の旗を立て警備のない間隙に乘じてやつて來るから警備は多少困難である、然し同地方には約四十團體一千二百名よりなる自衛團が組織されてゐるので一般は

昔に比較 して樂土の生活をしてゐる、將來鮮農の移住は間島から自然に敦化方面に流れ込み濱海線の東北部を中心にし北西一帶の農民が移住し、滿洲は水田の耕地として適當であるため南西方面の者が奉天を中心として各地に移住して來るだらう、山あり河ある東邊道が鮮農移住地として最適當のものであることが今回の視察で痛感された、最も先住鮮人の生活安定を先決問題とし新に移民する場合は集團的に行ふことがよいだらうが熱河地方内蒙古は鮮人の移住地としては不適當であると思ふ、各地鮮農が要求してゐることはやはり

金融機關 の設置され幾分生活の安定を得ることと地方匪賊の一掃を一日も早くして欲いといふ點である、東邊道一帶に百萬や百五十萬の移民は大丈夫であるが先づその根本的の樹立にあることは愼重研究を要する問題だ

日支融和し青島紡績界活況
平岡理事から報告

【東京特電十五日發】目下上京中の在華紡績同業會青島支部理事平岡光太郎氏は十四日工業倶樂部に [illegible] されてゐる、これがため綿製品市況は極めて良好で、現在の紡績運轉錘數は四十一萬錘であるが來る五月の關稅引上げ見越方面く工場は競つて增設を行ひ居り近く五十萬錘に達するものと推測さる、販路は山東鐵路沿線と平津地方で今後も有望である

阿片代賣業務
二十日から開始

【新京電話】阿片專賣法に基き指定卸賣人十名と小賣人四百名の決定はいよ〳〵兩三日中に發表されることゝなり二十日を期して代賣業務の一切開始を見る筈である

宇佐美、田邊兩氏歡迎宴

【新京電話】滿儀執政は過般國務院顧問として着任した宇佐美勝夫、參議田邊治通の兩氏を主賓とし各部總長及び各參議を陪賓として十五日午前十一時半執政府に招待歡迎午餐會を開催した

八相 (投書歡迎 十行以内 ペン書は必ず中楷で)

豚の臭さを知れ　黑頭巾生

◇人各々その趣味を異にするものなればダンス黨が國法の禁ぜざる限り日夜男女相擁して踊り狂ふも、それは自由勝手であるが思想未だ定まらざる生若い店員或は一家の主婦までがダンスに熱中する現狀を見ては、悲しむ可き世相を慨嘆ぜざるを得ない

◇ダンス黨なるものに言はしむればそこに理窟づける何物かがあらう、しかし理窟と膏藥はどこにでもくつゝくものにして吾等はそれを聞くの要もない、唯百害あつて一利なきこの有閑階級の享樂主義者が殖えれば殖えるほど風教は紊れ、社會人心に惡影響を及ぼすことは殆んど疑ふ餘地もない。

◇さなきだに近時貞操觀念は低下し、羞恥心は薄らぎ、柔弱に流れ、日本固有の誇るべきあらゆる美風は片つ端から掻き亂され失はれ、日々の見聞は痛心憂慮の種ならざるはなしといふ狀態である、想へ前線に勞苦を重ねて活動しつゝある人々の事を。

◇豚仲間に入れば豚の臭さを知らずでいゝ氣になつて踊り狂うてゐる人々よ、頭を冷靜にして考へてみよ、殊に今は非常時である、非常時は君等に教ゆる何ものかがある筈、そんな柔弱な享樂に耽つてゐる場合ではあるまい、反省せよ、翻然として目ざめよ、而して國家に盡す意氣に燃えよ。

民族精神の擁護　哈市　千芳生

◇ダンス熱の擡頭とホールの增設とは、めつきり眼につく樣になつた。到る處のカフエーに於ても、家鴨の樣に御尻を振つて居るのを見ざるを得ない事を吾人は悲しむものである。

◇何故社交上にダンスを取入れなければならないのだらうか、未だに歐米の文化?に追隨せなければならない理由が何處にあるか、吾々が民族精神の破壞であり、卽ち大和民族の恥辱である。

◇國家非常時の今日、運動が目的だといふなら、何故嘉納式體操でもやらぬか、思ひを國家運動員の上に馳せるならば、女性と雖も薙刀の練習も、射擊の練習も時局に適はしくつて好い。

◇外人と人情、慣習を異にして居る性急な民族だ、異性に對する衝動は、極りなき淫蕩氣分と、さうして種々の犯罪に導いて行くであらう。

◇何故當局は之を是認し默許してゐるのであらうか、國事多端の今日、吾民族精神の頽廢を憂ふると共に屈辱的行爲を排除せんとするものである。

卸賣市場世話料の解釋で一悶着
中央卸賣市場追加豫算案上程
十四日の大連市會

中央卸賣市場經營費追加豫算で紛糾を豫想されてゐた第七十一回大連市會は十四日午後二時四十分より議員三十名の出席を得て開會された、日程に先だち一般市問に入り先づ

田中議員(登壇) (一)三業組合のダンスホールに市は遊興稅を賦課すると聞くが、果して如何(二)物價騰貴の今日市吏員の給料增額の意思なきや(三)關東廳より繼承した中央公園の改造に市は第一生命保險會社より二十一萬圓を借り受けると聞くが市會の協贊を經ずして借り受ける等少し先走りはせぬか(四)天滿屋ホテルは市場卸賣人廢業に關し六千圓の補償金請求訴訟を起してゐると云ふが事實か(五)見本市開催に際し大連と奉天が場所爭ひをしてゐると聞くが市の繁榮を思ふなら市長も關心を持つて大連開催に盡力して貰ひたい(六)岸田ビルの出願にかゝる私設小賣市場の設置に市の反對する理由如何(七)博覽會開催に當り電氣遊園下空地を利用する方法を考究されてゐるや(八)市は產業課を設置すべく八年度豫算に計上してゐると聞く設置の上は滿鐵より滿蒙資源館の移管を受け且つ商品陳列館も設置するやに聞くが市民の負擔を考慮に入れての計畫なりや、以上市理事者に質問す

小川市長 (一)官公吏の給料を物價の騰落により增減する事は困難だ(三)公園改造費二十一萬圓の借入れは内部において考究中たるのみ(四)天滿屋ホテルの六千圓補償金請求訴訟はまだ市の方に何とも通知がない(五)見本市開催に就ては相當關心を持つて善處してゐる(七)電園下空地は夜間の納涼場としたらとの話もあるがまだはつきり決定してゐない(八)市に產業課を設置すべく八年度豫算に計上した事は事實だ、だが滿蒙資源館の移管を受ける事や商品陳列館を新設する事は相當金のかゝる事でもあり當分困難と思ふ

岡野助役 (一)三業組合のダンスホールに遊興稅を賦課してゐる事は事實だがまだ徵收はしてゐない

長濱社會課長 (六)小賣市場が餘計出來たからとて購買力が殖えるものでない、だから小賣市場が澤山出來る事は共倒れとなりこの結果は市民へ高い品物を供給する事となる

なほ引き續き蔦井、上原、高塚各議員より質問あり、市理事者と一問一答の後日程に入り

▲第一號 區長及び區長代理者推薦の件 小川市長から說明あつた後原案通り沙河口北區々長に篠原三郎氏、同區長代理者に吉川梅之助氏を推薦、異議なく可決し更に小野議員の動議により

▲第二號 昭和七年度大連市歲入歲出追加豫算

▲第三號 昭和七年度大連市特別會計中央卸賣市場經營歲入歲出追加豫算の兩議案を一括して上程、市長の原案說明に次いでいよ〳〵問題の第一陣を承つた

有馬議員(登壇) 市長は前七十回市會に於て私の質問に對し市場は市會の決業範圍内で解決したと答辯されたが調査の結果は全然噓の答辯であつた事が判明した、市長は當業者側と補償金問題で交涉の行詰りを來たし實行不可能に陷つた結果その打開策として日本人側には賣上高の二分五個年間、滿洲人側には同樣四分五個年間、各世話料として支給する外奧地への中繼も自由にやつて好いとの條件を附し十一月廿三日になつて漸く實行を見たとの事である、世話料と云ふも補償金と云ふも實質に於て變りはない筈、之れをしも市會の決業範圍内といふは何たる詭辯であるか、純然たる補償金の增額である事は恐らく常識ある者の何人も首肯さるゝ處である、而かもその世話料に何等算出の基礎も示してないのは如何なる理由であるか

小川市長 世話料の支給は補償金の增額でない、決して詭辯ではない、算出の基礎に就いては八年度豫算に於て希望に副ふやう明かにする

有馬議員は更に覺書により賣上げの二分をやるぞといふ意思表示をして置きながら市會の承認を得なかつたらやれませんぞと假令念を押してゐても事實やれなかつた場合當業者は默つて承知するかと一層鋭く追窮す、この時熊谷、桑野各議員盛んに大聲を發して質問の妨害をなし田中議員はまた「重大な問題だ、大いにやれ」と聲援する

高橋議員第二陣を承はつて先づ市會速記錄の配布が遲いと大内市會議長に喰つてかゝり

高橋議員 市長は世話料の約束を卸賣人の立場に於てされたかソレとも仲買人の立場に於てされたか、その事項を書類を以て約束されたらこの議場に持ち出して我々に示して貰ひたい、書類のない約束ならば詳細說明して貰ひたい

小川市長 當業者は最初契約にして呉れとの要求であつたがソレは出來ないと斷つた、將來市の負擔となるべき契約は出來ないからだ、其處で覺書にしたが覺書と云つても法律上問題となるやうに人から尻尾を捉まへられる事はしてない心算だ

引き續き高橋、有馬議員から同問題に關し鋭い質問あり、流石の小川市長も全くタヂ〳〵となる、この時田中議員より本日の質問を打ち切り更に議會に移して質問を續行する動議と小野議員より全然質問を打ち切り本案を第二讀會に移し議長指名九名の特別委員を擧げ審議するとの動議の各提出あり大内議長はこれを起立によつて採決したが小野議員の動議成立し千種、高塚、森川、上原、有馬、松浦、小野、部外一名の九議員特別委員に指名、日程第四、第五號も審議を延期し同六時散會した

特別委員會

市場追加豫算市會特別委員會は高塚議員委員長となり十五日午後三時から市役所會議室に開會の筈

大株市場も遂に立會停止
賣物洪水、場面大混亂

【大阪十五日發】聯盟決裂最惡の事態に陷り日本軍撤退要求、熱河問題の重大化などで規約第十六條への發展から朝來の株式市場は不安人氣となり前引後ジユネーヴの帝國代表引揚げ請訓に對して政府はこれを承認し二十一日の總會には我が國の態度を闡明し愈々引揚げに決したと報じ全く底知れぬ狀態に陷り東京株式市場は遂に臨時休會となつたが大阪市場は一般の希望を排して延刻午後二時二十五分から立會を開始した、大新の立會に入るや賣物洪水の場面は大混亂に陷り殺氣充滿裡に二百圓買、三十圓賣と云ふ立會停止表示の亂手を振つたため遂に已むなく凄慘裡に臨時休會に決したものである

窮民救濟金

【新京電話】黑龍江省内における水災及び匪害に窮乏を告げてゐる窮民の救濟は政府においても考慮對策を講じてゐたが今回五萬圓を支出給與することに決定を見た

滿洲國獨立の必然性 (四)
ジョージ・ブロンソン・リー

滿洲に迫るソウエート勢力

かゝる情勢は當然一大危機を釀した。——滿洲住民は虐政に反抗し革命の烽火を揚げる機會が到來したのである、これはいふ迄もなく必然の勢ひである、更に滿洲における動亂の兆を一層危險に導くものあるは、滿洲と境を接して等しく奴隷制度を實行せる共產黨治下のソウエートロシアが横はる一事である。勞農ロシアにおける農夫及び勞働者は食券或は商業的證券においてのみ商品と交換し得る紙幣を得るため營々として勞役に服してゐる、然し、同國の統率者は自己が一つの理想實現のため行動しつゝあつて、目標へ到達せばより大なる幸福を勞働者に與へ得るとの信念を抱いてゐる、現今においても勤務者の勞役の結果は國家の收入となり、各種の經濟的、文化的施設なるものに投ぜられ政府が不當利得を占むる事は殆ど皆無といつて可い、執政者が私利を營む事にはないのである

故に、北滿の住民は既にソウエート政府の宣傳員によつて、共產主義思想に感染し、革命を煽動されソウエートロシアの勢力圏内に誘致されてゐる、本來滿洲軍閥支配下の奴隷制度とソウエートロシアのそれとの距離は、僅かに一歩に過ぎず、然もソウエート側に多分の強味がある、若しそれ、共產黨が滿洲農民の窮狀に乘じて北滿一帶を手中に收むるならば、直に南滿も其渦中に捲き込まるゝは明かな道理である

日本の存立に對する脅威

如上滿洲の實情及びロシア勢力との關係の背景を觀れば、一九三一年九月十八日夜の事件(柳條溝事件)の因つて來るところは一層明白に認識さるゝのである、日本の滿洲の鐵道、鑛山、工業その他の事業に對する投資額は殆ど十億に及び、正しい秩序、統制の下に投資に伴ふ結果を擧げ、滿洲の繁榮に寄與してゐる

然るに、滿洲軍閥の虐政の結果として住民が窮迫し、數十億の空紙幣濫發のため滿洲住民が全然購買力を失ふや、日本の投資額の價値は激減を來した、卽ち、北支軍閥は兵力を以て日本の勢力を滿洲から驅逐し得なかつたけれども、虐政による滿洲の經濟的破綻によつて日本の地位は危殆に瀕したのである、更に滿洲が共產主義化すれば、日本帝國の存立の要件たる滿洲における經濟的發展は破滅を來すのである

以上の關係を見れば、何故、日本が滿洲住民の滿洲と庫倫方面より迫るロシアの脅威に抵抗せんとする滿洲獨立政府を援助せんとする理由は極めて明白であらう、滿洲にして赤化せんか、日本は自國存立のため支那の國土に於て再び戰はなければならぬ運命にある

九・一八事件當時の切迫せる風雲

日支兩國間の條約違反、鐵道問題の紛爭等により釀された政治的危機以外に、形勢は愈々惡化し來りつゝあつた、事態は一歩一歩爆發點に近づきつゝあつた

若し日本が支那との和協的外交を繼續し九月十八日事件においても日本軍隊の自衛的戰鬪に出づるを抑止せるならば險惡なる事態は一層擴大し收拾し得ざる危機を導いたであらう、昨年(一九三一年)九月における風雲は實に暗澹たるものであつた、南支においては南京、廣東兩軍が對峙して内亂を惹起せんとする形勢であつた、然るに揚子江沿岸(江西省)の共產黨軍は南京軍の攻擊を牽制阻止した、共產黨軍は支那における諸勢力間の勢力均衡者であつた、南方の内亂が共產黨の勝利に歸せば、國民政府に軍資金を要求しつゝあつた張學良は完全に北支の征服者たり得たのである

而して當時滿洲は住民の不平を以て沸騰した、冬季が迫つても農民は生活費を得ない、しかも一方に於て北滿、シベリア、蒙古におけるロシア共產黨は武器、彈藥を密かに支那における同志に輸送せんとする用意を整へてゐた、滿洲には二十五萬の支那軍隊が駐屯したが、一九二九年の實例によると露國の進出及び赤露指揮者による擾亂運動を到底阻止し得ざる狀態にあつた、卽ち滿洲の運命は中部及南方支那の形勢如何によつて決せらるゝ危機に在つた。この際、九月十八日夜日本軍隊の迅速なる行動は、間接に南支に於ける動亂を阻止し、より以上の慘禍を防止し得たのである

當時の形勢からいへば、日本が奉天における事件に關し自衛的行動に出でなかつたならば、共產黨の勢力は廣大なる地域を捲ひ、北滿は恐らく蒙古の轍を踏んだであらう

外國貿易額
本年一月中

【東京十四日發】大藏省發表=朝鮮、臺灣及び南洋を含む本年一月中の外國貿易額左の如し(單位千圓)

輸出	一一〇、六二一
輸入	一八三、七七八
計	二九四、三九九
入超	七三、一五七

服役免除の下士官兵入院料

今次の事變に於ける傷病に依る服役免除の陸軍下士官兵中大正五年勅令第二三六號に依り陸海軍病院に收容した左記該當者の入院料は支出し得ることゝなり右實施の場合は請求書(患者の官等級氏名、服役免除の理由、本籍地、入院日數、病名を具備せる收療狀況)を添附一ケ月毎に取まとめ恤兵部へ差出す事となつた

一、公務基因の傷病(一等症)に依る服役免除者にして公務基因以外の傷病(花柳病を除く)に罹りたる者

二、公務基因以外の傷病(一等症)に依るものにしてその傷病再發し又は他の傷病(花柳病を除く)に罹りたる者

蜂谷總領事着任期

【奉天電話】奉天總領事に任命された蜂谷總領事は十九日午後一時の安奉線で着任の豫定であるが同氏は吉田總領事時代に領事として奉天に在任したことあり、當地には馴染の深き人である

小觀大觀

衆議院議場を映畫にして社會教育の資料にするとは誠に面白い思ひ付きだ▲吾々國民は新聞の記事や寫眞だけでは、吾々の代議士が如何にして國事を議しつゝあるかを十分に知り難い▲但しよそ行の顏付した所でなく、多數の傍聽人が押しかけた日の、最も喜んで居る時の場面が社會教育の爲に最もよい▲鈴木總裁、首相を訪問したのは、國事を憂ふる爲めで、政權などの爲めではないと辯明▲勿論左樣であらう、併しながら國家の爲めにならば政權獲得だつて差支はない▲聯盟の勸告案には、又ぞろ日本軍は滿鐵沿線に引き退けとある▲一昨年の理事會の決議にも屢々出て來たが、日本軍隊が退いた後、治安の維持をどうする積りだ▲リットン卿一行が來た時、惜かつた、日本軍をすべて滿鐵沿線に引揚げて、先生達を自由に內地視察に赴かせるのだつた▲匪賊が碧眼黑眼を見分けるものか、ウンとやつつけられて始めて滿洲の認識を得たらう▲國際傭兵の特別憲兵などで、匪賊の取締が出來るものでない事も分つた筈だつた▲丁超、裁判を受け、服罪して、特赦、頑張つて露領に逃げた李杜、蘇炳文等が、囚人扱ひされてゐるのと好對照。

市況(十五日)

株式　氣迷乍ら當市續落

内地市場は前場一齊崩落に後場帳消整理に休會、當市は氣迷ひながら五品三十錢安、新豆四十錢安、東新二圓六十錢安、滿鐵一圓安と續落に止めた

◇定期後場 [illegible]

◇延取引 [illegible]

特產　大豆低落　奧地筋賣り

後場の定期は大豆は銀高と奧地賣に低落を辿り豆粕豆油は人氣はず閑散弱保合を呈し高粱は僅に軟調を辿つた

◇定期後場(銀建) [illegible]

◇現物後場(銀建) [illegible]

錢鈔　材料薄乍ら鈔票新高値

日米後場半休にて無情報乍ら前續騰の後を承けて人氣益々硬化高値四圓丁度まで躍進した

◇定期後場(單位錢) [illegible]

◇現物後場(單位錢) [illegible]

商品　無材料に當市見送る

大阪三品後場休會に當市は引續き氣迷裡に見送り麻袋も不申

奧地市況

[illegible]

市場電報

神戸特產 / 橫濱生糸 / 神戸期米 / 大阪期米 / 東京期米 [illegible]

海と空と (112)

高杉晋一郎作　橋本淸史畫

敵（一九）

「出て來るつて何處から」
逸見が不審の眉をあげると土屋は、がくんとベッドの上に起き直つた。
「何だ、お前知らないのか？」
「知らない」
「冗談ぢやないぜ。朝日奈は、今迄とつ捕まつてたんだぜ」
「何で」
「何故だかそんな事は此方には解らんよ。凡そいつでも理由は向ふだけが知つてるやうなものだからな」
「然し」
「然しぢやないよ。まあいいそんな事は。とにかくお前もぼんやりしてるな。ぢやお前近頃組合の方へは行かないんだな……結婚にかまけて。はつは」
「…………」
「まあ、けど、無事に濟むらしいんだ。一緒に捕まつた連中ももう大分歸つて來たんだから。何だか共産黨の再組織つて嫌疑を受けたんださうだ。朝日奈が首魁と見られたんで一番後まで殘つたらしい。が、それも明日あたり出て來るだらう。昨日組合での話ぢやそんな風だつたよ」
「さうかい。少しも知らなかつた」
「知らなかつたぢや濟まんな。今日でも行つて來いよ事務所へ」
「うむ」
喋つたお蔭でどうやら眼の覺めたらしい土屋は、足を床へ下して猿又一つの寒さうな恰好で急いで外套の方へ走つた。
「だが大丈夫なのか、朝日奈君は」
「大丈夫らしい。別にお前共産黨を組織した覺えも無いんだから」
「うむ」
逸見はほつとした。それならよかつた。若し起訴でもされてゐるのを知らず自分が去つてしまつたら、ボールはどうなつたらう。彼は自分の迂濶であることを矢鱈早に教へられる氣がした。彼は、今自分が投函して來たばかりの裏への手紙を思つて見た。
「一寸待つてろ。顔を洗つて來るから」
外套をひつかけて洗面器を抱へた土屋はさう云つて廊下へ降りて行きかけて、ひよいと逸見の顔を改めて見直した。
「おや。お前いやにやつれたな」
「う、うん」
逸見はつつと窓の方を見た。
「風邪ひいて寢てたんだ。夫でそんな事件も知らなかつたんだよ」
「ふうん、さうかい。お前でも病氣する事があるのかな」
大して氣にもとめず、そんなこと云つて、土屋は下へ降りて行つた。
逸見はその後で一寸眼が熱くなるのを感じた。然しそんな感情を今ぶちまけてゐてはならなかつた。彼は帽子を取つて、土屋の云つた机の抽斗を開けて見た。原色のポスターカラーの空瓶の中へ、十圓札がぐちや／＼と四枚押し込んであつた。彼はそれを摘み出して自分のポケットへ入れた。
彼は階下へ降りて行つた。
洗面所で土屋は口の邊りを齒磨粉だらけにして楊子を使つてゐた。彼は眼を見張つた。それからぶつと流しへ口の中のものを吐いて云つた。
「もう歸るのか？」
「うん、一寸急ぐんだ。金、借りたよ」
「あゝいゝよ。さうかそいぢやまた來いよ……そして結婚はいつになつたんだい？」
逸見はもう危なかつた。胸から熱い固いものがぐつと咽喉へ押し上げて來るのを感じた。彼はくるつと向ふを向いた。さうしてすん／＼扉口へ出て行つた。扉口でもう一度振返つて土屋を見ると、土屋は笑つてゐた。再び楊子を口へ突込んで、頬の邊をもぐ／＼と動かしながら、片手をあげて失敬をして見せた。
逸見は外へ出た。さうして思ひ切り[illegible]涙を[illegible]外套の襟へ眼を附けて覆ひかくした。

第十七回 滿日特選碁戰

先　中川新（三段）
竹中幸太郎（初段）

【2】

●二一レの四　○二二ヨの五
●二三レの三　○二四ヨの二
●二五レの六　○二六レの二
●二七タの六　○二八ヌの三
●二九タの七　○三〇レの十二
●三一チの五　○三二カの六
●三三ヌの五　○三四ルの三
●三五ワの五　○三六レの八
●三七タの八　○三八レの九
●三九タの九　○四〇タの十

對局者の感想

白曰く　二十八は一路高く（ヌの四）と打ち黒二十九の時三十五と打つのも有ります圖は三十と掛らうと言ふ趣向です
黒曰く　三十三は（レの十）とハサンで行く方がきびしいやうです

柳壇

『脫線』　高橋月南選

本溪湖　郡司島星柳
子の汽車が脫線する度騷ぎ立て
奉天　久澄　勝馬
驚の列車脫線させて花と散り
人好しさいはれて呑めば脫線し
撫順　上田　闘朗
脫線へ次の電車を寒う待ち
脫線へふさ知り合つた國訛り
大連　小熊　笑可
お說教脫線するさ御念佛
女房が鼻につく頃脫線し
奉天　前田　白愁
萬歲の脫線客は腹をより
大連　三井のぼる
急ぐ旅氣をくさらする脫線車
○佳　吟
旅順　森　東岳坊
脫線を責めかれる妻痩せて行き
大連　宇都宮嵐翠
脫線の底に歪んだ天を見る
奉天　山元　不動
脫線が二一天作五に來る迂遠
大連　桐　孔二
脫線の留守へ靜な子の寢息
大連　赤井　一村
脫線にちさ新しい手を覺え
撫順　上田　闘朗
脫線へ車掌濟まない顔で來る
大連　海老　水母
先驅車は脫線をして本望がり
山海關　吉田　甲子
脫線のそこから異ふ夢になり
大連　三谷　喘幹
脫線の話保險屋ちつと聽き
○選者賞
大連市山縣通一四〇　三谷　一伸
君が代に脫線兵の醉ひが醒め
自　句
友情の熱に脫線もろく泣き
脫線車腹の臟物さらけ出し
仲居等の脫線組へ如才なし

歸順　高橋月南選

大連　堤　糸柳
しほらしく歸順なんぞゝ息を入れ
大連　金子　武夫
歸順して妻子に遇へば虫の息
大連　森田　峰男
朗らかな歸順部隊は雜兵のみ
山海關　松尾小女郎
歸順後も馬賊根性だけ殘り
敦化　天郎　無
歸順將正裝にかへて見違へる
馬賊から官吏になる近い道
大連、佐賀　女
歸順してひま過ぎる日がつゞき
歸順して日本料理の膳につき
新京　今村　榮治
歸順する馬賊も急に可愛くなり
大連　三谷　一伸
歸順式新滿洲の旗の色
頭目の歸順に雜兵ちと弱り
鞍山　鈴木　年一
皇軍へ匪賊改心の手を合せ
歸順して見れば素直な人であり
歸順して明日から鍬をかつぐ肚
大連　宇都宮嵐翠
公安さいふが歸順の馬賊なり
もう食へぬさころで歸順申込み
大連　大沼伊都乃
日滿旗かざして祝ふ歸順式
大連　海老　水母
久方に本名を聞く歸順式
心入れ替つて頭目髭を剃り
歸順して吳れたさ老の瞳がうるみ
奉天　白髮　豐美
打つだけは打つて豫定の歸順兵
大連　赤井　一村
歸順して飯にありつく嬉しい日
王道がやつさ解つて歸順なし
新京　岡田　初郎
爆擊へ頭目一寸かんがへる
歸順してから皇軍の恩を知り
奉天　清水表念坊
士たん場は歸順する氣で掠奪し
大連　淺田　輝坊
降參さ言はず支那兵の有難さ
歸順兵金で買はれて馬合はず
大石橋　峰松　増男
頭目も歸順さきめて髪をそり
頭目の淚將軍をまごつかせ
大連　鈴木　博
誓文を書く頭目の手は震ひ
歸順して始めて裟婆の日に當り
山海關　吉田　甲子
歸順して三度の飯に差がなし
歸順式エキストラの樣に並んで來
大連　山田　初坊
歸順して更生の鍬強く振り
歸順した彼れも支那での勇士なり
奉天　山元　不動
貧けて勝つ匪賊今日から官につき
蕃童も洋服を着る御代の春
歸順して今日高樓の春の夢
大連　森崎　佛心
部下のあるうちは歸順を拒んで見
歸順してやつさ味ふ人間味
本溪湖　郡司島星柳
歸順した其の夜安堵の高鼾

新刊紹介

▲無線電話（二月號）ラヂオ受信機の故障と發見法（金澤放送局）簡單な短波長送信機と受信機の作り方（市川健兒）「受信用小型眞空管試驗器」及試作品に就いて（平塚新次郎）出方回路さラウドスピーカーとの結合法に就いて（村松義水）研究雜の研究（一老ファン）S・G・ペントードさ共使用法（南城星秀）交流式スーパーの自作を志す方に（T・S・K）ペントード使用の注意（内田博敏）A・C四球セット（三宅康友）誰にも製作出來る電池式D・X四球受信機（石綿善一）ペントードを使用した三球受信機（佐藤正典）定價五十錢　東京市日本橋區通一丁目一日本無線電話普及會

▲警察協會雜誌（第三一八號）世界の新形勢と亞細亞（滿川龜太郎）我特殊機器發展過程考察（鈴木義雄）滿洲事變と關東廳警備概況（橋本生）滿洲事變秘史（津田寶城）裁判に表れた關東州の思想事件（井關安治）海外犯罪の展望（岡棠川）等（定價三十錢、發行所關東廳警務局內南滿洲警察協會）

▲陸上競技（二月號）定價二十五錢、發行所東京市神田區南神保町一六番地一成社

けふの放送

大連　JQAK　二月十六日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午後六時　ニュース
▲講話（六時三十分）「國體觀念の明徵と皇道の世界的躍進」（第二回）大連天業青年團長豐浦豐
（以下內地中繼、七時）
▲獨唱とピアノ（一）獨唱（イ）別れ（アルヴアレス作曲）（ロ）ジプシイの娘（パイジェロ作曲）（二）ピアノ獨奏（イ）六つのドイツ舞曲（シユーベルト作曲）（ロ）圓舞曲（ハ）變イ長調（ブラームス作曲）（ハ）スコットランド舞曲（ベートーヴエン作曲、ダルベア編曲）（三）獨唱（イ）朝の歌（レオンカヴアロ作曲）（ロ）カーネシヨン（ヴアルヴエルデ作曲）（ハ）歌劇椿姫さらばこの世（ヴエルディ作曲）獨唱伊藤敦子、ピアノ獨奏及伴奏ジエームス・ダン
▲河東節（七時三十分）「邯鄲」淨瑠璃山彥不二子、同登久子、三味線同米子、同ふく子、同幸子
▲浪花節（七時五十分）「佐倉義民傳」桃雲閣呑風
（以下大連放送局より）（八時三十一分）
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

品質の王者
頭髪衛生の權威

頭髪に「若き日本」を表現するメヌマポマードの品質！濃度！粘性！香氣！光澤！一切が新時代の眼に映ゆる新感覺の明朗美です

つけるから洗ふまで技術の獨創味を滿喫せしむるメヌマポマードは純植物性頭髪油の最高權威です

メヌマポマード

メヌマ活用の要領は頭皮に擦り込んで毛根に榮養とマッサージを與へることです　かくして常用すれば癖毛を直しフケ、拔毛を防ぎアイロンに因る切毛折毛を止めるなど眞に妙！

新發賣

携帯便利・取扱重寶

チユーブ入　定價一個五十錢

井田京榮堂

CURIOUS Shop

國難日本刀（244）

高桑義生作　京極佳夕畫

危機日東國（九）

弓之助は依然サンダースンの邸内に潜伏してゐた。楊の援助を受けて、秘密をさぐつてゐた。夜になると、二人はこの物置小屋に會見して、弓之助は楊から、日々の出來事を、事件の推移變化を聞くのだつた。それから鬪の活躍がはじまる。

どうして支那人楊夏生が、サンダースンの忠實な下僕である楊が弓之助の味方となつたのか？それは、以下の二人の會話に語られるであらう。

「いよ〳〵やる時が來た」

と弓之助はいつた。

「何を、あなた、何をやりますか？」

さすがに、楊の聲はうろたへ氣味である。

「最後の手段……彼に會ふのです。手詰の談判です」

「正體をあらはすのですね」

「今日まで、彼に近寄る機會もなかつたが、十分な證據をつかむまではと、じツと時期を待つてゐたが、もうこの上ぐづ〳〵しては居られぬのです」

「何をやりますか？殺すのですか？」

楊の聲は、ふるへた。

「殺しはしない。なるほど彼を襲へば、さしあたつて彼等の計畫を阻止することは出來るが――。秘密に襲ふ、しかし、その行爲が日本人さいふ事は、たちまちあらはれる。困難な問題が起る」

「では……」

「正面から彼を説くのです。それに就ては……」

「肯くと思ふか？あなた……」

「斷じて從はしめる」

「？……」

「あなたも決意をして下さい。今夜のうちに、こゝを脱出して、安全な場所にのがれて下さい。あなたはよくわたしを助けてくれた。わたしは感謝してゐる。他日かならずこのお禮が出來ることを、わたしは心から祈つてゐる。わたしは今夜、あなたのかはりにサンダースンの室に入る。あなたの假面をかぶつてゐた、にせもの、正體をあらはして、一日本人として、彼にぶつかる。負けない。かならず彼を征服します」

弓之助の調子は、異常な熱をおびて相手の肺腑にせまつて行く。

楊は、だまつて考へてゐた。

「忘れはしないでせう。あなたやわたし――人種としてはおなじ黄色人種、東洋の民族、東洋の平和を確立するものは、あなたの國さわたしの國、兩國の親善提携のほかはない事を――。アメリカや西洋諸國や、彼等の魔の手は、あなたの國を犯し、わたしの國に伸びてゐる。彼等の野心は、亞細亞から驅逐しなくてはならない。われ〳〵は結束して、彼等にあたらなければならない。あなたは、わたしの言葉を忘れはしないはずだ」

「忘れません。あなたの力……わたしはあなたを信じます。十年の迷夢からさめたのは、あなたのおかげです。彼の恩誼を賣つて、あなたのために、いくらかでも役に立たうさいふわたし、けつして躊躇ふことはありません」

「ウム」

「けれども……彼は容易ならない人間です。恐ろしい敵です。彼には、いつも、何處にでも落し穽がある。あなたにどれほどの力があつても、不意の、思ひ設けぬ危難を、かならず防ぐことは出來ない。今しばらく時期を待つのが得策ではありませんか？」

「いや、生死は、問ふところではない。危機は迫つてゐる。是が非でも、私は彼に會はねばならぬ」

彼――といふのは、いふまでもなく巨頭サンダースンを指すのだつた。

流行歌「涙の渡り鳥」競映

西條八十作詞の流行歌「涙の渡り鳥」は松竹、河合、太平洋シネマ、ヘンリー商會等が映畫化に乗り出し四社競映となつてゐた處寶塚キネマも新進鈴木日出夫監督で秘密裡に完成して十五日より封切さ決つたから全國大都市に一齊競映さるる譯だが各社のスタッフは左の如くである

▲松竹　野村芳亭監督、岡讓二、竹内良一、澤蘭子、坪内美子主演▲河合　吉村操監督　琴糸路、川上八重子、澤田讓主演▲寶塚　鈴木日出夫監督、木下双葉、毛利峰子、水原洋一主演▲太平洋シネマ　山根幹人監督、中野かほる、吉川英蘭、吉谷久雄主演▲ヘンリー商會　生方賢一郎主演

うわさ話

「陸軍の春」のロケに明日入港の香港丸で來連する藤原義江は多分塚本マネージヤアと一緒だらうと豫想されてゐる▲元來「陸軍の春」の計畫立案者が塚本氏だから滿洲に於る子一行の采配は一切塚本氏が振るものと見られてゐる▲映樂館は明日から三日間「巴里の屋根の下」を再上映、次いで東活映畫の大衆興行をやり▲その間大いに宣傳して愈々問題の映畫「征服の處女」を寛壽郎の「天狗廻狀」後篇と組んで萬全を期して封切▲常盤座は今日からフォックス週間でゲイナーとファーレルの「デリシアス」とエルサ・ランデー嬢の「戀の女」を上映▲次週からはユニバーサル社のトーキー連續猛獸映畫「巨人ターザン」の豫定▲日活館は再上映十日間興行に入つたが、第三回のプロに「大飛行船」を入れることに決定プロを變更

本社特選 新棋戰（其一）

角落　八段△土居市太郎　四段▲志澤春吉

【圖は四四歩迄の局面】土居氏持駒ナシ

△二六歩　▲三四歩
△二五歩　▲三三角
△四八銀　▲三二銀
△五六歩　▲五四歩
△四六歩　▲四四歩
△三八金　▲五二金右
△五七銀　▲四三金
△三六歩

【土居八段講評】上手直に二筋の歩を突き出し敵角を三三へ上らせた目的は、普通の如く四八銀と指して居ては敵に三三銀と繰り出され、而して三一角で八筋の歩を手順に交換さる、嫌へあり、要するに一手の損益の關係で譜の如く直に二五歩と指したのである。續いて三六歩は以下金を二筋に繰り出し、手順に三、四兩筋の歩を切り、金を四筋の要所に据ゑる樣さの心算である。

【萩原六段解説】元來角落戰は下手は位負けをしない樣に努め而して玉を堅固に圍つて徐ろに攻勢に出るのが上乘の策とされてゐるのである。それで志澤氏は五四歩、四四歩と位負けしない樣に對抗したのである。土居八段の三八金は攻防に用ひる準備で、この金の運用の如何が大勢に大影響を及ぼすのである。志澤氏の五二金右は此處で四三銀と上り次に三二飛と指す本組の戰法もあるが、棒圍の堅陣を布く意味で五二金右と指したのである。土居八段の三六歩は此處で四七金と上り次に三六金と指す順もあるが、この三六歩は次に三七金、二六金と指し三五歩と交換して四筋にこの金を活用せんとする作戰である

難症淋病と素人療法の可否

心得可き性病概念と適藥

ドクトル、オブ、ファーマシー　小川惠山

性病の中で淋病がどの位行り難いものであるかと云ふとは誰でも知つて居る所である、

▲淋病は文明病でない

文明は性病の媒介者としての役割は勤めるけれども他の特種病の樣に必ずしも文明が生み出したものではない。淋病の如きは紀元前千五百年位の時にモーゼが明確に淋病のことを云つて居る、以來三千四百年即ち西暦千八百七十二年（明治八年）にベリール及びノイザーに依つて淋菌を發見せられて其治療に一大改革が起きても歳月は徒らに流れて未だ其療法にはドレ位苦しんで居るか判らない、人類の進化と繁榮とが性生活と不離のものであるなら、淋病は梅毒以上に性生活の破壞者であり執拗なる挑戰者である。恰も人類の歴史は淋毒の爭鬪史の樣なものである。

▲淋菌の生活力は強い

第一圖は淋菌を示して居るが、淋菌と云ふものは人體の何處でも繁殖するものではない、目の中とか生殖器の中においてのみ非常な勢力を持つて發育し活動するけれ共梅毒の菌の樣に血液の中に混つて全身に廻るやうなことはない。然しそれだけ局部には色々の隱れ家を發見して潜入して居て消毒藥で洗つた位では中々死滅しない、淋菌は外氣に觸れると甚だ弱いし試驗管の中では直ぐ殺菌されるけれど人體の中に巣窟を見つけて居ると中々強いものである。

（第一圖）顯微鏡デ見タル淋菌

▲誤まれる溫熱療法

素人は淋菌は四十度の熱で死滅するから局部を溫めたり、我慢して焼けどをするやうな溫泉へ這入つたりする、甚だしいのになると如何はしき溫熱器療法など云つてアルコールランプ又は電池に依る熱器を使つて局部を溫めて却て病勢を進行させる者がある。之は恐るべき誤解である淋菌は外部では四十度以下の熱でも死滅するが體内の局部に在る時は決して死なぬ事は實驗の結果明瞭となつた。當時は多くの人が四十度の發熱をし又婦人の淋毒性喇叭管炎の場合にも四十度或はソレ以上の熱を出す事があるが決して淋菌は死滅せず却て抵抗力が強くなつて慢性淋毒になるものである。チブスの場合の引例をよく素人が知つた樣に云ふがこれは極少數の例を云ふので此場合には患者が絶對安靜と禁慾の結果治つたのでチブスの熱の爲でない事は專門家の定說になつて居る

▲素人の洗滌は危險

淋病は黴菌であるから殺菌すればよいと云ふので素人が色々の殺菌液を造つて洗滌する事がある。之は婦人の尿道や膣内を洗滌するなら未だ危險が少いが男子の場合は却て病菌を奥深く追込み攝護腺炎や睾丸炎を起す事がある。第二圖は患者が前屈して肛門から攝護腺をマッサージして居る所であるが、半分に割つて見せた所で尿道の前部即ち先の方は書いてないが攝護腺に近い所を書いてある。之を見ても、指先で押へられて居る攝護腺といふ所は袋小路のやうな所で其中へ外から黴菌を追込んだが最後中々根絶やしにする事は困難だ。獨乙の伯林のドクトル、エルンスト、フランク氏は二百十人の洗滌した患者を此の如く攝護腺排出の方法で採つた液を顯微鏡で試驗して見たら百七十九人の淋菌所有者を發見したと言つて居る。

（第二圖）攝護腺　尿道　膀胱　肛門ヨリ指ヲ入レテ攝護腺ヲ押シテ膿ヲ出シテ居ル所

▲理想的は殺菌液排出法

素人療法として最も簡單で、服藥の作用に依つて、膀胱即ち俗に云ふ小便袋に溜る尿が強力なる殺菌液となつて、放尿する度毎に内部から洗ひ出す事が出來る、之が私の製造した化學的混合物の分解作用に依る殺菌液排出法である。藥名は小川氏オプトロールと云つて極めて飲み易く何等の臭もなく味もない。然し飲んで居ると體内に於て自然と化學的變化を起し何時の間にか排尿を殺菌藥に變化させ而も普通時より尿の量も多くなつて來る。只此藥の特長と云ふのは今迄の如く只尿を催させる利尿藥でなく全くの殺菌液製造藥であると云ふ點で、何人も心配する胃腸を害するとか云ふ樣な副作用がない事である。既に病氣になつて居る人は一日も早く試みられるがよい。問合せは小川研究所へ直接出される方が便宜であると思ふ。